



制作：タカラ写真製版株式会社  
発行日：2017年3月

## 海外留学／海外インターンシップ／国際ボランティア



## Becoming a World Citizen

# Becoming a World Citizen

関西学院大学は、文部科学省  
平成26年度スーパーグローバル大学創生支援事業(SGU)に採択されました。

関西学院大学は、“多文化が共生する国際性豊かなキャンパスの実現”というビジョンを掲げ、スクールモットーである“Mastery for Service”を体現する『世界市民』の育成を目指した教育を行っています。グローバル化した現代社会では、国際的視野と言語運用能力は社会人として求められる重要な資質です。大学在学中に継続的な学びと国際的経験を通してこれらの資質を培い『世界市民』への一歩を踏み出しましょう!国際教育・協力センター(CIEC)は、皆さんが『世界市民』として活躍するために必要な知識や経験を得るための多種多様なプログラムを用意しています。それぞれのプログラムの特色を理解したうえで、各自の目的に合ったプログラムに積極的に参加してください。

## Contents

募集説明会・出願・選考スケジュール	P.2
留学の計画を立てよう	P.4
ポートフォリオを活用しよう	P.7
留学情報はここで入手しよう	P.8
出願手続き手順	P.9

### ① 短期プログラム

1-1 夏季外国語研修(8月～9月)	P.10
1-2 Cross-Cultural College(CCC)	P.25
1-3 短期海外インターンシップ(アメリカ)	P.28
1-4 インドネシア交流セミナー	P.29
1-5 国連セミナー	P.30
1-6 海外フィールドワーク(マレーシア)	P.31

### ② 中期プログラム

2-1 英語中期留学(秋学期)(追加募集)	P.32
2-2 中期海外インターンシップ(オーストラリア)(追加募集)	P.33
2-3 2018年度中期留学(予告)	P.34

### ③ 中長期プログラム

3-1 交換留学	P.37
3-2 その他プログラム(ACUCA、認定留学)	P.49
3-3 国際ボランティア	P.50

### ④ その他

4-1 学部・研究科等で実施する留学プログラム	P.56
4-2 就職活動×留学	P.58
4-3 教職×留学	P.60
4-4 国連・外交プログラム	P.61

### ⑤ 留学の計画と準備

5-1 世界市民へのステップアップ!～おススメの科目紹介～	P.62
5-2 世界に「日本」を伝えよう!	P.66
5-3 外国語能力試験	P.68
5-4 TOEFL®、IELTS対策(無料講座)	P.69
5-5 奨学金	P.70
5-6 トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム	P.71

2016年度派遣実績	P.72
安全と危機管理・健康管理	P.74
学内でできる国際交流	P.76
FAQ	P.77

自分にぴったりのプログラムを探そう!

## 留学期間で探す

短期プログラム	中期プログラム	中長期プログラム
外国語研修 P10-24	英語中期留学 P32,34-35	交換留学 P37-48
Cross-Cultural College(CCC) P25-27	中期海外インターンシップ(オーストラリア) P33,35	認定留学 P49
短期海外インターンシップ(アメリカ) P28	フランス語中期留学 P36	ダブルディグリー留学 ※4月発行ダブルディグリー留学募集要項(社会/経済/商/国際学部)を参照
インドネシア交流セミナー P29	国連ユースボランティア P50-55	
国連セミナー P30	国際社会貢献活動 P50-55	
海外フィールドワーク P31		



## 目的別で探す

言語を学ぶ	専門分野を学ぶ	国際ビジネスを学ぶ
英 語	交換留学 P37-48	インターンシップをする
外国語研修 P11-21	認定留学 P49	CCC Global Internship in Japan P27
英語中期留学 P32,34-35	ダブルディグリー留学 ※4月発行ダブルディグリー留学募集要項(社会/経済/商/国際学部)を参照	短期海外インターンシップ(アメリカ) P28
他言語	開発途上国を知る	中期海外インターンシップ(オーストラリア) P33-35
外国語研修(中国語・朝鮮語) P22-23	インドネシア交流セミナー P29	
フランス語中期留学 P36	国連セミナー P30	セミナー形式で学ぶ
修了証プログラム	海外フィールドワーク P31	CCC Global Career Seminar in Japan P26
Cross-Cultural College(CCC) P25-27	国連ユースボランティア P50-55	
Certificate Program(CP)	国際社会貢献活動 P50-55	

※CIEC提供プログラム以外に、数多くの学部提供プログラムがあります。プログラム一覧はP.56～57を参照してください。



募集説明会・出願・選考スケジュール

NUC 西宮上ヶ原キャンパス  
KSC 神戸三田キャンパス  
NSC 西宮聖和キャンパス

■キャンパスライフABC

※1年生向け

日時：4/6（木）第1部：10:00～11:00  
第2部：13:20～14:20  
第3部：15:20～16:20

場所：NUC B号館201号教室

■留学フェア

日時：4/15（土）10:00～16:00（9:30開場）

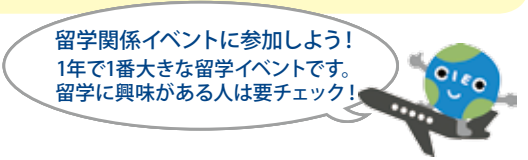
場所：NUC G号館2階

プログラム（短期）

1-1 夏季外国語研修（P.10～24）

出願期間：4/24（月）～4/27（木） 参加者発表：5/2（火） ※選考：申込多数の場合のみ抽選を行います。

会 場		日 時		内 容	
NUC	G号館 202号教室	4/10(月)	12：45～ 13：25 (昼休み)	ガイダンス	外国語研修概要・プログラム選択・出願方法の説明
		4/11(火)		英語研修 カナダ	トロント大学、クイーンズ大学
		4/12(水)		英語研修 アメリカ	カリフォルニア大学デビス校、カリフォルニア大学リバーサイド校、 ニューヨーク州立大学オルバニー校 <b>NEW</b>
		4/13(木)		英語研修 イギリス・アイルランド	オックスフォード大学、スターリング大学、ダブリンシティ大学 <b>NEW</b>
		4/14(金)		英語研修 オーストラリア・マレーシア	マッコーリー大学、クイーンズランド大学 <b>NEW</b> 、マラヤ大学
		4/17(月)		他言語研修 中国・韓国	吉林大学、延世大学
	H号館 201号教室	4/18(火)		ガイダンス	外国語研修概要・プログラム選択・出願方法の説明
		4/19(水)		英語研修 北米	トロント大学、クイーンズ大学、カリフォルニア大学デビス校、 カリフォルニア大学リバーサイド校、ニューヨーク州立大学オルバニー校 <b>NEW</b>
		4/20(木)		英語研修 ヨーロッパ・オセアニア・アジア	オックスフォード大学、スターリング大学、ダブリンシティ大学 <b>NEW</b> 、 マッコーリー大学、クイーンズランド大学 <b>NEW</b> 、マラヤ大学
		4/21(金)		他言語研修 中国・韓国	吉林大学、延世大学
		4/22(土)			
KSC	Ⅲ号館 101号教室	4/10(月)		ガイダンス	外国語研修概要・プログラム選択・出願方法の説明等
		4/11(火)		英語研修 北米	トロント大学、クイーンズ大学、カリフォルニア大学デビス校、 カリフォルニア大学リバーサイド校、ニューヨーク州立大学オルバニー校 <b>NEW</b>
		4/12(水)		英語研修 イギリス・アイルランド	オックスフォード大学、スターリング大学、ダブリンシティ大学 <b>NEW</b>
		4/13(木)		英語研修 オセアニア・アジア	マッコーリー大学、クイーンズランド大学 <b>NEW</b> 、マラヤ大学
		4/14(金)		他言語研修 中国・韓国	吉林大学、延世大学
NSC	5号館 514号教室	4/10(月)		ガイダンス	外国語研修概要・プログラム選択・出願方法の説明等
		4/11(火)		英語研修 北米	トロント大学、クイーンズ大学、カリフォルニア大学デビス校、 カリフォルニア大学リバーサイド校、ニューヨーク州立大学オルバニー校 <b>NEW</b>
		4/12(水)		英語研修 イギリス・アイルランド	オックスフォード大学、スターリング大学、ダブリンシティ大学 <b>NEW</b>
		4/13(木)		英語研修 オセアニア・アジア	マッコーリー大学、クイーンズランド大学 <b>NEW</b> 、マラヤ大学
		4/14(金)		他言語研修 中国・韓国	吉林大学、延世大学



1-2 Cross-Cultural College (CCC) Global Career Seminar in Japan / Global Internship in Japan（P.25～27）

会 場		日 時	出願書類事務室提出期間	選 考	参加者発表
NUC	G号館 223号教室	4/7(金)、11(火)、13(木)、17(月) 12:45-13:25（昼休み）	※留学中の学生は4/6(木)～12(水) にメールにて出願書類を提出し てください。	面接選考 4/22(土)	4/27(木)
KSC	Ⅲ号館 103号教室	4/10(月)、12（水） 12:45-13:25（昼休み）		※留学中の学生には4/12(水)～19(水) にスカイプ面接を実施します。	

1-3 短期海外インターンシップ（P.28）

会 場		日 時	出願書類事務室提出期間	選 考	参加者発表
NUC	G号館 201号教室	4/12（水）、21（金） 12:45-13:25（昼休み）	4/24（月）～26（水）	書類選考結果発表 4/27（木）	5/1（月）
KSC	Ⅲ号館 103号教室	4/13（木）、17（月） 12:45-13:25（昼休み）		面接選考 4/29（土）	

1-4 インドネシア交流セミナー（P.29）／1-5 国連セミナー（P.30）／1-6 海外フィールドワーク（P.31）

会 場		日 時	出願書類事務室提出期間	選 考	参加者発表
NUC	G号館 326号教室	4/7（金）、11（火）、12（水） 12:45-13:25（昼休み）	4/19（水）～4/24（月）	書類選考結果発表 4/28（金）	5/24（水）
KSC	Ⅲ号館 102号教室	4/7（金）、11（火）、12（水） 12:45-13:25（昼休み）		面接選考 5/20（土）	

プログラム（中長期）

2-1、2-2 中期留学（2017年度英語中期留学・中期海外インターンシップ）（P.32～33）

会 場		日 時		内 容	
NUC	第5別館 307号教室	4/7（金）	12：45～ 13：25 (昼休み)	英語中期留学（秋学期） カナダ・アメリカ	追加募集説明会（クイーンズ大学、ゲルフ大学、トロント大学、マウント・アリソン大学、 ネブラスカ大学オマハ校）
	G号館 226号教室	4/10（月）			追加募集説明会（クイーンズ大学、ゲルフ大学、トロント大学、マウント・アリソン大学、 ネブラスカ大学オマハ校）
		4/11（火）		中期海外インターンシップ オーストラリア	追加募集説明会（ニュー・サウス・ウェールズ大学）
KSC	Ⅲ号館 103号教室	4/7（金）		英語中期留学（秋学期） カナダ・アメリカ	追加募集説明会（クイーンズ大学、ゲルフ大学、トロント大学、マウント・アリソン大学、 ネブラスカ大学オマハ校、ニュー・サウス・ウェールズ大学）
NSC	5号館 521号教室	4/10（月）		中期海外インターンシップ オーストラリア	追加募集説明会（クイーンズ大学、ゲルフ大学、トロント大学、マウント・アリソン大学、 ネブラスカ大学オマハ校、ニュー・サウス・ウェールズ大学）

※2018年度中期留学（英語中期留学・中期海外インターンシップ・フランス語中期留学）の募集説明会は2017年10月頃から実施します。

3-1 2018-2019年交換留学（P.37～48）

	募集説明会	出願手続き 説明会 ※出席必須	出願書類 事務室提出期間	第1次選考	第1次選考 結果発表	第2次選考	最終英語スコア・ 留学希望大学 届提出	推薦者発表	推薦者説明会 ※出席必須
第1期募集	NUC 4/11（火）、 14（金） 12:45～13:25 G号館201号 教室  KSC 4/10（月）・ 14（金） 12:45～13:25 Ⅲ号館102号 教室	NUC 4/17（月）、 19（水） 12:45～13:25 G号館201号 教室  KSC 4/19（水） 12:45～13:25 Ⅲ号館102号 教室	5/10（水）～ 5/12（金）	◆英語受験者 面接試験 6/3（土） ◆英語以外の言語の 受験者筆記試験 6/3（土） ◆面接試験 6/5（月）～6/9（金） の間に別途日程調整 ※いずれもNUCで実施	6/16（金）*1  *1 第1次選考 合格者のみ 第2次選考対象。	学部推薦*2 6月下旬～ 7月中旬 （所属学部 事務室）  *2 面接について は学部から通知 があります。	8/31（木）	9/20（水）	10/14（土）
第2期募集	NUC 7/4（火）、 7（金） 12:45～13:25 G号館201号 教室  KSC 7/5（水） 12:45～13:25 Ⅲ号館102号 教室	NUC 7/10（月）、 12（水） 12:45～13:25 G号館201号 教室  KSC 7/12（水） 12:45～13:25 Ⅲ号館102号 教室	9/20（水）～ 9/22（金）	◆英語受験者 面接試験 10/7（土） ◆英語以外の言語の 受験者筆記試験 10/7（土） ◆面接試験 10/10（火）～10/16（月） の間に別途日程調整 ※いずれもNUCで実施	10/23（月）*1  *1 第1次選考 合格者のみ 第2次選考対象。	学部推薦*2 10月下旬～ 11月中旬 （所属学部 事務室）  *2 面接について は学部から通知 があります。	11/30（木）	12/21（木）	2018/ 1/27（土）

3-3 国際ボランティア 国際社会貢献活動（P.50～55）

会 場		日 時	出願書類事務室提出期間	選 考	参加者発表
NUC	G号館202号教室	4/20（木）、21（金） 12:45-13:25（昼休み）	5/24（水）～26（金） ※派遣時に本学に1.5年以上 在籍していること	書類選考結果発表 6/9（金） 面接選考 6/17（土）	6/22（木）
KSC	Ⅲ号館101号教室	4/20（木）、21（金） 12:45-13:25（昼休み）			

※国連ユースボランティアは秋学期に募集します。

プログラム参加に当たっての注意（よく読んでください）

- 健康に関する事項
  - ・各プログラムへの参加は、心身ともに健康状態が良好であることが前提です。
  - ・現在治療中の病気だけでなく、心や身体の健康面で心配なことがあれば、主治医等に留学が可能であることを確認し、指導を受けてください。
  - ・毎年4月に大学で実施している定期健康診断を受けておくこと、留学先に応じた予防接種を受けておくことも必要です。
- 無断でオリエンテーション・事前研修を欠席した場合、参加が取り消されることがあります。
- ビザやパスポートが取得できない場合、プログラムに参加することはできません。
- 研修の参加費にはビザやパスポート取得費用、その他個人的な費用は含まれません。
- 個別に旅程を変更することはできません。
- 参加決定後に参加を取りやめる場合は、取消料金が必要です。取消料金はプログラムによって異なりますので、詳細は参加決定者対象のオリエンテーションなどで確認してください。
- 今後の国際情勢の変化やその他やむを得ない事情によって、本学の判断により、プログラムを中止または変更することがあります。
- 留学期間中の不慮の事故や損害に対して、本学は一切の責任を負いません。
- 本学において修学上のサポートを受けている場合は、留学に関して事前に関連部局に相談してください。

●募集説明会の日程や実施場所は変更になることがあります。その場合は、教学 Web サービス、国際教育・協力センター（CIEC）ウェブサイトでお知らせします。  
●参加者発表は、教学 Web サービス「お知らせ」および NUC/KSC 国際教育・協力センター（CIEC）の掲示板で行います。



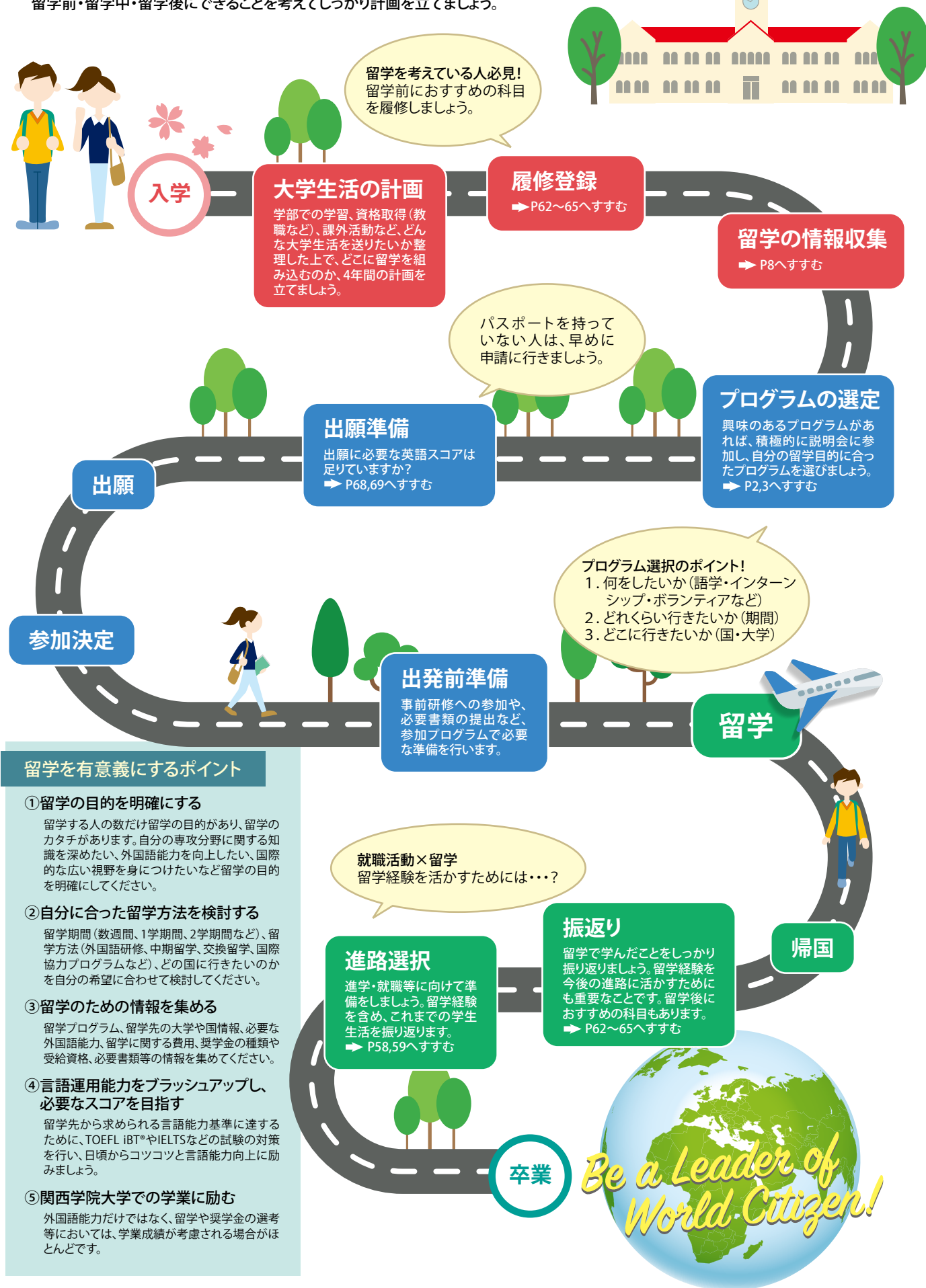
留学計画を立てよう①

国際教育・協力センター（CIEC）提供プログラムのほとんどが、留学に行く約4ヶ月～1年前から出願が始まります。  
4年間の大学生活をどう過ごすかしっかり計画を立てて、早めに留学の準備に取り掛かりましょう！

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
学内スケジュール		春学期授業				定期試験	夏休み		秋学期授業				冬休み	定期試験	春休み	春学期授業				定期試験	夏休み		秋学期授業				冬休み	定期試験	春休み			
TOEFL®、IELTS、TOEIC® 対策講座・試験日	TOEFL®/ 対策	TOEFL® 解説	TOEFL® 解説		TOEFL® 解説			TOEFL® 解説					TOEFL® 解説		TOEFL® 解説		TOEFL® 解説			TOEFL® 解説					TOEFL® 解説							
	IELTS 対策					IELTS 対策	IELTS 対策					IELTS 対策	IELTS 対策					IELTS 対策	IELTS 対策				IELTS 対策	IELTS 対策								
	TOEFL®/ TOEIC® 試験		TOEFL ITP® 試験		TOEFL ITP® 試験	TOEIC® 試験		TOEFL ITP® 試験	TOEFL ITP® 試験	TOEFL ITP® 試験	TOEIC® 試験		TOEFL ITP® 試験		TOEFL ITP® 試験	TOEFL ITP® 試験	TOEIC® 試験	TOEFL ITP® 試験	TOEFL ITP® 試験		TOEFL ITP® 試験	TOEFL ITP® 試験	TOEFL ITP® 試験	TOEIC® 試験	TOEIC® 試験		TOEFL ITP® 試験					
外国語研修		参加決定		事前研修	事前研修	留学		事後研修	募集説明会		出願	参加決定	事前研修	事前研修	留学		事後研修	募集説明会		出願	参加決定	事前研修	事前研修	留学		事後研修						
CCC		選考・参加決定	事前研修（数回） ※プログラムによって回数は異なる				プログラム実施（国内）		事前研修（数回） ※プログラムによって回数は異なる				プログラム実施（カナダ）		事前研修（数回） ※プログラムによって回数は異なる				プログラム実施（国内）		事前研修（数回） ※プログラムによって回数は異なる				プログラム実施（カナダ）							
短期海外インターンシップ		募集説明会	出願	選考	参加決定	マッチング面談	事前研修①	事前研修②	事前研修③	留学		マッチング面談	事前研修①	事前研修②	留学		マッチング面談	事前研修①	事前研修②	事前研修③	留学		マッチング面談	事前研修①	事前研修②	留学						
国際セミナー		選考	参加決定		事前研修（数回） ※プログラムによって回数は異なる				留学		事後研修	事前研修（数回） ※プログラムによって回数は異なる				留学		事後研修	事前研修（数回） ※プログラムによって回数は異なる				留学		事後研修							
海外フィールドワーク		選考	参加決定		事前研修（数回）				留学		募集説明会	出願	選考	参加決定		事前研修（数回）				留学		募集説明会	出願	選考	参加決定		事前研修（数回）				留学	
英語中期留学		春学期					募集説明会						出願	参加決定	事前研修①		事前研修②	事前研修③	留学				事後研修									
		秋学期					募集説明会						出願	参加決定						留学				事後研修	帰国報告会							
中期海外インターンシップ						募集説明会						出願	参加決定						留学				事後研修	帰国報告会								
フランス語中期留学										募集説明会		出願	選考	参加決定		事前研修①	留学				事後研修	帰国報告会										
交換留学		第1期	募集説明会	出願	出願	第一次選考	第一次選考発表 （所属学部で実施）	最終スコア提出	推薦者発表	推薦者説明会	春出発の場合		事前研修①②	事前研修③	渡航説明会		留学（1セメスター：春出発）（派遣先により出発・帰国日は異なる）				留学（1年間：春出発）（派遣先により出発・帰国日は異なる）											
											秋出発の場合						留学（1セメスター：秋出発）（派遣先により出発・帰国日は異なる）				留学（1年間：秋出発）（派遣先により出発・帰国日は異なる）											
		第2期	募集説明会	出願	出願	第一次選考	第一次選考発表	第二次選考	最終スコア提出	推薦者発表	推薦者説明会	秋出発		事前研修①	事前研修②	事前研修③	渡航説明会	留学（1セメスター：秋出発）（派遣先により出発・帰国日は異なる）				留学（1年間：秋出発）（派遣先により出発・帰国日は異なる）										
																		留学（1セメスター：秋出発）（派遣先により出発・帰国日は異なる）				留学（1年間：秋出発）（派遣先により出発・帰国日は異なる）										
国際ボランティア		春学期派遣	募集説明会	出願	選考	学内選考通過者決定						派遣決定	派遣準備				事前研修	派遣				帰国報告会										
		秋学期派遣						募集説明会	出願	選考	学内選考通過者決定						派遣準備	派遣先による審査	派遣決定	派遣				帰国報告会								

# 留学計画を立てよう②

限られた大学生活の中で、留学経験をより良いものにするためにも、  
留学前・留学中・留学後にできることを考えてしっかり計画を立てましょう。



## 留学を有意義にするポイント

- ①留学の目的を明確にする**  
留学する人の数だけ留学の目的があり、留学のカタチがあります。自分の専攻分野に関する知識を深めたい、外国語能力を向上したい、国際的な広い視野を身につけたいなど留学の目的を明確にしてください。
- ②自分に合った留学方法を検討する**  
留学期間(数週間、1学期間、2学期間など)、留学方法(外国語研修、中期留学、交換留学、国際協力プログラムなど)、どの国に行きたいのかを自分の希望に合わせて検討してください。
- ③留学のための情報を集める**  
留学プログラム、留学先の大学や国情報、必要な外国語能力、留学に関する費用、奨学金の種類や受給資格、必要書類等の情報を集めてください。
- ④言語運用能力をブラッシュアップし、必要なスコアを目指す**  
留学先から求められる言語能力基準に達するために、TOEFL iBT®やIELTSなどの試験の対策を行い、日頃からコツコツと言語能力向上に励みましょう。
- ⑤関西学院大学での学業に励む**  
外国語能力だけではなく、留学や奨学金の選考等においては、学業成績が考慮される場合がほとんどです。

# ポートフォリオを活用しよう



## 留学の活動記録をポートフォリオに連携し、自身の活動を蓄積しよう!

各種留学プログラムや留学期間をポートフォリオに記録することが可能です。  
また、留学期間中に国際教育・協力センターに提出する活動報告の一部もポートフォリオに表示します。もちろん、コメント機能で自身で感じたことを入力することができますので、留学生活の振り返りにポートフォリオを活用しましょう。  
さらに、留学参加後にポートフォリオを通じてアンケートに回答していただく予定です。アンケートの回答内容はポートフォリオに記録されるため、その時点で感じたことを振り返るツールとして、皆さんぜひ活用してください。

留学活動もポートフォリオに記録して、自分の成長を振り返ろう!



## ■ポートフォリオとは

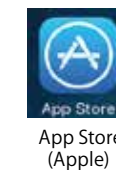
関西学院大学では、ポートフォリオを「学修記録、成果の可視化を行うことにより、学生の『振り返り』を促進し、教育の質保証を行うためのツール」としています。このポートフォリオを「充実した学生生活を送るために、自らの目標に向かって計画性を持って取り組めるように、学習や課外活動の『振り返り』を促進するツール」とし、みなさんがこれからの大学生活での“経験”やその時々“の想い”を整理し活用するために、大いに役立てていただきたいと思います。



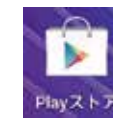
## ■関西学院大学のポートフォリオの特徴

みなさんは、授業を受け専門知識の修得に励んだり、留学、クラブ活動や語学力の向上などに取り組んだり、学外活動としてアルバイトやボランティアを行っていることと思います。こういった活動は、日々の学びの向上だけではなく、その先の就職や大学院進学など、これからのキャリアを考えていく上で必要な経験ばかりです。この財産ともいえる学生生活の経験を蓄積し、役立てられるようにいつでも振り返りが出来るのが、本学のポートフォリオです。ポートフォリオを使って学生生活の振り返りを行うことで、以前よりレベルアップしている自分に気づき、なりたい自分に近づいていることを実感するはずです。本学のポートフォリオでは、パソコンやスマートフォンを利用することで、GPA等のスコア伸長、自身の強みチェック、目標設定とその振り返り、学修行動や成果の把握などにも活用できるようになります。さらに、各部署や授業担当者が上記の活動の記録の一部をみなさんのポートフォリオに登録するなど、バックアップやサポート体制があるのでいつでも気軽に始められます。日々の活動をより実りあるものにでき、将来の就職活動や大学院進学など、自分のこれからのキャリアを考える時に、強力にサポートしてくれる頼もしいツールになります。皆さんのよりよい未来のために、是非、ポートフォリオを役立ててください。

## アプリケーションのダウンロード方法



App Store (Apple)



もしくは Google Play (Android)



検索結果から、「KGPortfolio」アプリをインストール

※「Android」「Google Play」は、Google Inc.の商標または登録商標です。  
※「Apple」は、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。  
※「App Store」はApple Inc.のサービスマークです。



本システムは、スマートフォンの利用を推奨するものですが、学内外のパソコンでも多くの機能は利用することができます。推奨環境等はLUNA活用ハンドブックをご参照ください。  
掲載している機能やデータ連携は2017年3月現在のものです。今後の利用状況を勘案して、機能やデータ連携を予告なく追加・停止する可能性があります。  
みなさんの取り組みを支援するため、権限が与えられた教職員が厳格な管理の下、メニューの各機能の情報を参照することがあります。  
アプリの利用料は無料ですが、ダウンロードや利用時にかかるパケット通信料は利用者負担になります。



# 留学情報はここで入手しよう

## 1 ウェブ

**CIECウェブサイト** [http://www.kwansei.ac.jp/c\\_ciec/](http://www.kwansei.ac.jp/c_ciec/)

- 最新の留学・国際協力・国際交流にかかわるニュースを配信!
- 毎日のイベントカレンダーや、交換留学ができる協定校一覧など、募集要項に載っていない情報も随時更新中!

**Facebook** <https://www.facebook.com/KG.GLOBAL.PORT>

- 国際交流に関するイベントの予告や報告、留学中の学生からのメッセージなど、様々な情報を配信中!

**メルマガジン** 登録はコチラから → <http://www.kwansei.ac.jp/r/ciec-mag/>

- 登録1分! HPや掲示の中でも特に重要かつ最新の情報を毎週配信!
- 留学プログラムや国際交流イベントの情報をGETするには、メルマガに登録しましょう!

登録者数  
2400人以上!  
好評配信中♪

## 2 イベント

### 留学フェア

留学フェアは、関学が提供する各種国際教育・協力プログラムをより身近に感じられるイベントです。募集説明会では聞くことのできない「参加学生の生の声」を聞くことのできるチャンスです。成功する留学のヒントが得られる貴重な機会です。奮ってご参加ください。入退場自由・参加無料。

■日時: 4月15日(土) 10:00~16:00 (9:30開場)

■場所: **NUC** G号館2階



昨年は  
延べ700人が  
来場しました!

### グローバルダイアログ

留学経験のある学生と、これから留学したい学生が語る機会を設け、学習方法の発見やモチベーションアップに繋げることを目的としたイベントです。開催の情報は随時、メルマガやHPから配信します!



## 3 留学に関する相談はこちら

### 国際教育・協力センター(CIEC)

**Center for International Education and Cooperation、通称CIEC(シエック)です。**

■事務室  
西宮上ヶ原キャンパス: G号館1階 / 神戸三田キャンパス: アカデミックコモンズ2階

■CIECの主な業務

#### ①各種海外派遣プログラムの開発

短期・中期・長期を問わず、大学在学中に海外留学を志す学生は年々増加しており、そのニーズも多様化しています。CIECは、在学生のみなさんが留学に対して持っている様々な希望に応えられるよう、より充実した各種海外派遣プログラムの開発に取り組んでいます。

#### ②留学・国際プログラムに関する情報提供

CIECでは、各種留学プログラムについての相談を随時受け付けています。各種プログラムの説明会や留学フェア、報告会を通じ、留学についての魅力を在学生の皆さんにお伝えしています。

#### ③留学前・留学中のサポート

海外に派遣されることが決まったみなさんには、派遣先大学への願書の提出や、VISA(査証)の取得などの留学前に必要とされる事務手続きについてサポートを行っています。派遣にあたっての心構えや海外での生活に必要な情報・注意点などをお知らせするオリエンテーションや事前研修会等を行っています。また、留学や就職に必要なTOEFL®やTOEIC®対策講座や模試を実施しています。

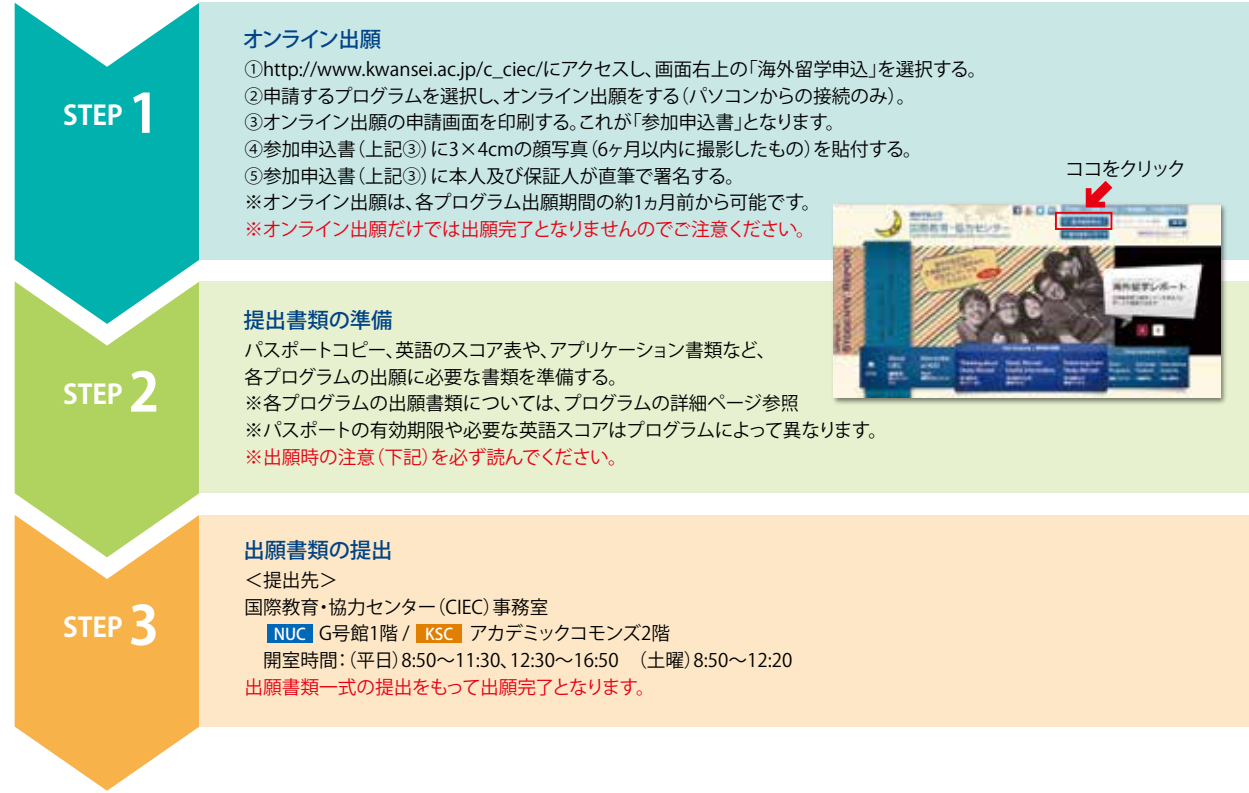
#### ④キャンパスの国際化

本学で学位取得を目指す外国人留学生約600人、1学期または2学期間という短期で海外協定校から受け入れる200人以上の交換留学生に対し、受け入れ事務サポート全般を行っています。また、世界市民育成のためのグローバルスタディーズ科目を提供しています。さらに、外国人留学生対象には日本理解科目を、交換留学生には現代日本プログラムを提供しています。その他、年間を通して、コーヒアワーや留学生WEEKなど国際交流イベントを実施し、キャンパスの国際化を推進しています。

留学・国際プログラムについてご相談があれば、CIECがサポートします!

# 出願手続き手順

すべてのプログラムにおいて、以下の手順で出願手続きをおこないます。



## ● 出願時の注意

### ①プログラムの併願について

原則として、複数の留学プログラムの併願は認められません。  
プログラム選択を迷っている場合は、早めにCIEC事務室まで相談してください。

### ②保証人(保護者)の署名

すべてのプログラムにおいて、参加申込書をはじめとする出願書類に保証人(保護者)の署名が必要です。  
特に保証人と別居している方は、出願期間に余裕をもって出願書類の作成に取り掛かりましょう。

### ③パスポートの準備

すべてのプログラムにおいて、パスポートコピーの提出が必要になります。早めに取得しましょう。

#### ■パスポートを所持していない場合

今すぐに各都道府県の旅券事務所で交付の申請手続きを行ってください。  
パスポートは申請後、受領するのに7日~10日程かかります。以下の外務省のウェブサイトを確認し、早めにパスポート申請の準備を進めましょう。

#### ■パスポートを所持している場合

パスポートの有効期限が切れていないか確認しましょう。留学する際、パスポートの有効期限が一定期間以上残っていることが求められる国もあります。希望する留学先国のパスポート有効期間を確認し、不足する場合は、各都道府県の旅券事務所で更新手続きを行ってください。  
※必要な有効期間は、各国で異なりますので各大使館・総領事館のウェブサイトで確認してください。

● **パスポート申請から受領まで(外務省ウェブサイト)**  
[http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass\\_2.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass_2.html)

● **住民登録していない都道府県で申請する場合は(居所申請)**  
例えば自宅生以外で大学近辺で暮らしている方は、現在、住んでいる兵庫県で居所申請をすることができます。通常のパスポート申請よりも必要書類が多いので、各自治体のウェブサイトで手続方法を確認してください。  
＜参考＞兵庫県での居所申請について(兵庫県旅券事務所ウェブサイト)  
[http://www.hyogo-passport.jp/modules/ryoken/index.php/main/g\\_idokoro.html](http://www.hyogo-passport.jp/modules/ryoken/index.php/main/g_idokoro.html)

有効なパスポートがないと  
渡航できません!



1-1 夏季外国語研修 (8月~9月)

外国語研修は、夏休み・春休みを利用して、協定大学で外国語を集中的に学ぶプログラムで、海外渡航経験のない方から交換留学を目指す方まで幅広く参加可能です。本プログラムは短期留学奨学金の対象プログラムで、申請者には3万円（アジア）もしくは5万円（アジア以外）の奨学金が支給されます。

派遣先の一覧と特徴

◆英語研修

国名	大学名	日本出発日～ 日本到着日※1	募集 人数	滞在方式/ 食事※2	参加費 （目安）	プログラムの特徴	記載 ページ
アイルランド	ダブリン・シティ大学 <b>NEW</b>	8/5（土）～ 9/3（日）	30名	ホーム ステイ （平日） 朝・夕 （土・日・祝） 朝・昼・夕	約51万円	■授業：「General English」の授業はスピーキング、リスニング、ライティング、文法、発音等に重点を置いた、総合的な基礎英語力の習得を目的とした内容。 ■環境：アイルランド最大の都市。博物館や城などの歴史を感じられるスポットも多い。	P.11
イギリス	オックスフォード大学	8/14（月）～ 9/12（火）	50名	学生寮 （平日） 朝・昼・夕 （土・日・祝） 朝・夕	約80万円	■授業：関学生向けの特別研修を受講。スピーキング中心の英語講義と英国文化・歴史を学ぶ講義を受講。 ■環境：ロンドンから約1時間の伝統的な都市。町全体が観光地となっていて多くの店が寮周辺にある。	P.12
	スターリング大学	8/4（金）～ 9/3（日）	30名	学生寮 —— 食事なし	約61万円	■授業：日本人学生向けのプログラムを受講。スピーキングを中心に総合的な英語力向上を目指す内容。 ■環境：かつてのスコットランド王国の首都である歴史情緒のあふれる都市。市内には史跡やモニュメント、城があり、古城のあるキャンパスで授業を受講。	P.13
マレーシア	マラヤ大学	8/5（土）～ 8/27（日）	20名	学生寮 （平日） 朝・昼・夕	約28万円	■授業：最初の2週間は「読む、書く、聞く、話す」の総合的な英語力アップを目指し、3週目は英語の実践とマレーシア文化の理解を目的とした各種実習を準備。 ■環境：大学から市の中心部まで公共交通機関で30分程度で訪れることができる。	P.14
オーストラリア	マッコーリー大学	7/31（月）～ 8/26（土）	30名	ホーム ステイ （平日） 朝・夕 （土・日・祝） 朝・昼・夕	約51万円	■授業：午前中は総合的な英語学習を行い、午後は、オーストラリアにおける多文化主義、グローバリズムに関する英語での関学生向け特別講義などを受講。 ■環境：シドニー中心部から電車で30分程度の緑豊かな郊外。国際化にも積極的に取り組んでおり、7000名近くの留学生在が在学している。	P.15
	クイーンズランド大学 <b>NEW</b>	8/4（金）～ 9/9（土）	30名	ホーム ステイ （平日） 朝・夕 （土・日・祝） 朝・昼・夕	約57万円	■授業：少人数クラスで、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの各分野における総合的な基礎英語力の勉強をする。 ■環境：オーストラリア第3の都市で、神戸市とも姉妹都市の関係にある。観光地にも近く、様々な教育機関があるため、世界各地からの留学生在が集まる。	P.16
カナダ	クイーンズ大学	7/30（日）～ 8/27（日）	40名	学生寮 —— 食事なし	約54万円	■授業：ディスカッションやロールプレイなど実践的な内容が中心。また、教室内外すべてにおいてEnglish Onlyルールが設けられる。 ■環境：トロントから電車で約2時間半、オンタリオ湖の湖畔に位置する都市。夏も過ごしやすい環境で、オンタリオ有数の観光地となっている。	P.17
	トロント大学	7/30（日）～ 8/28（月）	50名	ホーム ステイ —— 朝・夕	約48万円	■授業：スピーキングとリスニングが中心で、放課後にも様々なアクティビティを用意。 ■環境：カナダ最大の多文化・多民族の都市。キャンパスが市内の中心にあり、周辺には多くの文化施設が集う。	P.18
アメリカ	ニューヨーク州立大学 オルバニー校 <b>NEW</b>	8/12（土）～ 9/10（日）	15名	ホーム ステイ （平日） 朝・夕 （土・日・祝） 朝・昼・夕	約63万円	■授業：1～2週目は関学生独自のクラスで、3～4週目は他国の学生（日本の他大学の学生含む）と混合のクラスで基礎英語力の勉強をする。 ■環境：ニューヨーク州の州都で、ニューヨーク市、ボストン市が車で3時間程で行ける距離にある。	P.19
	カリフォルニア大学 デビス校	8/10（木）～ 9/17（日）	30名	ホーム ステイ （平日） 朝・夕 （土・日・祝） 朝・昼・夕	約73万円	■授業：英語とアメリカ文化を学ぶ授業を受講し、最後1週間でボランティア交流プログラムを行う。 ■環境：学園都市。サンフランシスコまで公共交通機関で2時間程度。	P.20
	カリフォルニア大学 リバーサイド校	8/5（土）～ 8/28（月）	30名	学生寮	約60万円	■授業：会話とアメリカ文化を、英語学習と様々なワークショップ等組み合わせで学ぶ。 <b>難易度が低めに設定されているため、初級者・渡航経験の少ない方におすすめ。</b> ■環境：大都会ロサンゼルスからわずか1時間の場所。で、比較的物価も安く、暮らしやすい。	P.21

◆他言語研修

国名	大学名	日本出発日～ 日本到着日※1	募集 人数	滞在方式/ 食事※2	参加費 （目安）	プログラムの特徴	記載 ページ
中国	吉林大学 中国語研修	8/7（月）～ 9/9（土）	30名	学生寮 —— 朝昼晩の 3食付	約29万円	■授業：会話能力向上を中心に、中国語の総合的な習得を目指す。 ■環境：吉林大学のある長春市は吉林省の省都であり、自動車の街、映画の街として知られている。自然豊かで、夏は避暑地、冬はウィンタースポーツが楽しめる。	P.22
韓国	延世大学 朝鮮語研修	8/1（火）～ 8/25（金）	30名	学生寮	約30万円	■授業：他国の学生（日本の大学生を含む）と共に受講。初心者から上級者まで細かくクラス分けされた朝鮮語の授業を午前中に受講。午後には様々な文化体験講座を準備。 ■環境：延世大学のあるソウルは観光地としても人気があり、市内には史跡や国宝が多数点在している。キャンパスはソウルの市街地から程近い場所に位置している。	P.23

※1 日本出発・到着日は、変更されることがあります。

※2 食事の記載がない大学については、参加費に食事は含まれません。

夏季外国語研修 (英語研修)

ダブリン・シティ大学 **NEW**

Dublin City University

【プログラム実施期間】  
2017

8.8-9.1

日本出発日：2017.8.5  
日本到着日：2017.9.3

大学情報				プログラムの特徴・授業について
所在地・地域	大学創立年	設置形態	学生数	ダブリンシティ大学ランゲージサービス（アイルランド政府認定校：ACELS）が実施する研修です。他国の学生（日本の他大学の学生含む）と一緒に「General English」を受講します。 ◆ブレイスメントテストの結果により、英語力別にクラス分けされます。 ◆授業は月曜から金曜まで1日4時間、週20時間です。 ◆スピーキング、リスニング、ライティング、文法、発音等に重点を置いた内容となっています。 ◆プログラム期間中、関学生のみが受講する「Cultural Studies Program」合計9時間の授業があります。この授業では、アイルランドの歴史、経済、法制度、文化等を学んだり、最終週には現地学生やスタッフ向けに日本を紹介する「JAPAN DAY」というイベントを開催します。
 アイルランド ダブリン市	1980年	国立	約16,000名	
<b>プログラム実施機関URL</b> Dublin City University https://www.dcu.ie/ Dublin City University Language Services http://www.english.dcu.ie/ 				<b>都市の特徴</b> ダブリンはアイルランド島東部のリフィー河沿いに広がるアイルランドの首都です。人口の半数以上が25歳以下という都市で、学園都市としても有名です。また、紀元前2000年から現在に至るまでの工芸品が揃う国立考古学博物館・歴史博物館やダブリン城などの歴史を感じられるスポットも多く、観光地としても有名です。  <b>大学の特色</b> ダブリンシティ大学（DCU）はアイルランドの首都ダブリンに位置する、1980年に創立された比較的新しい国立大学です。85エーカーのキャンパスの中に25万冊以上の蔵書を誇る図書館や、アイルランド有数のスポーツ施設があり、最新鋭の設備が整っています。学位取得における実務研修制度や、異なる専攻科目も自由に履修が出来る専攻互換制度などの取り組みから、「アイルランドで最も先進的な大学」として表彰されています。現在では国内トップの総合研究大学として知られています。
<b>募集人数</b> 30名				<b>参加費内訳（概算）</b> 総額：約51万円（1ユーロ＝125円換算） 徴収する費用の内訳（ユーロ＝€） ・現地プログラム費 …………… 約€1,321 ・住宅関係費 …………… 約€930 ・往復渡航費 …………… 約19万円 ・海外旅行傷害保険 …………… 約1万円 ・雑費 …………… 3万円 ※参加費の最終的な精算はプログラム終了後となります。 ※為替相場変動などにより追加徴収又は返金する場合があります。
<b>滞在形式</b>  公共交通機関を使って約1時間圏内でホームステイ。個室で平日は朝・夕2食、土日祝日は朝・昼・夕の3食付。ホストファミリー宅には、日本人を含めた他の留学生在が同じ家庭にステイする場合があります。				<b>アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報</b>  ●平日は毎日14時から無料のアクティビティが提供されます。（例：Film Discussion Class, Irish Dancing, Museum Trips, Conversation Support Class, Career Work Shop 等） ●週末には、有料のエクスカージョンに参加可能です。 【フィールドトリップ例（有料）】 モハーの断崖、グレンダロッホ等
<b>現地の様子</b>  ●大学の周辺環境 首都ダブリンシティまで約5km、バス（8分間隔運行）で約15分の距離です。また、映画館やショッピングセンターは大学から徒歩10分の距離です。 ●キャンパス施設 ・キャンパス内には豊富なメニューを取り揃えたレストランやカフェが複数あります。 ・映画館があり、オペラやコンサートが開催されることもあります。 ・図書館の利用が可能です。 ・スポーツセンター（別途費用が必要）の利用が可能です。 ・日本人スタッフが常駐しています。  				●JAPAN DAY 「Cultural Studies Programme」では最終週にJAPAN DAYという他国の学生や現地学生を招待して日本の文化を紹介するイベントを行います。関学生が主導権を握ってイベント企画を行い、ポスター等の告知も行います。



# オックスフォード大学

The University of Oxford

8.15-9.9

日本出発日:2017.8.14  
日本帰国日:2017.9.12

大学情報

所在国・地域	大学創立年	設置形態	学生数
 イギリス イングランド オックスフォード市	1095年	公立	約22,600名

プログラム実施機関URL

University of Oxford Hertford College

URL: <http://www.hertford.ox.ac.uk/>

Hertford College International Programmes

URL: <http://hip.hertford.ox.ac.uk/>

都市の特徴

オックスフォードはロンドンから電車では北西に向かって約1時間の場所に位置する伝統的な都市です。国際的な街として知られていますが、近年は多くの著名なミュージシャンを輩出する学術都市としても有名になりました。ロンドンから日帰りで行けることができるため、1年を通して大変にぎわっています。

大学の特色

オックスフォード大学は、英語圏で最古の名門総合大学で、38校ものカレッジが集めた大学連合体でもあります。各種の世界大学ランキングで常にトップレベルの大学として評価されています。ハートフォードカレッジはオックスフォード大学の中心にある大学図書館のすぐ前という絶好の場所にあり、"Bridge of Sighs" (ため息の橋)と美しい中庭は特に有名です。また、授業が行われる校舎周辺にはたくさんの店やレストラン・パブがあり充実した留学生生活を過ごせます。

募集人数

50名

滞在形式

学生寮に滞在します(寝室は1人部屋)。トイレ、シャワー、洗濯機(有料)、乾燥機(有料)は共有です。寝室にはベッド、勉強机、クローゼット、洗面台、インターネット回線(Wi-fi)が完備されています。食事は、朝・昼・夕食が参加費に含まれています(ただし、土曜日は朝食のみ、日曜日は朝・夕食のみ)。オックスフォード大学伝統のハイ・テーブル・ディナーに参加する機会もあり、その際にはスーツ(ネクタイ)、ワンピース等のセミ・フォーマル服の着用が求められます。

学生の声

金澤 昂季 経済学部1年(参加時)

●留学の目的

僕は大学在学中に日常会話程度の英語を習得し、卒業後は商社に就職して海外で働きながらビジネス英語を習得したいと思っています。そして父の会社をグローバルに展開し、海外からも仕事を取って来れるような人材になれることを夢見ています。そのために、今回英語が上達するまではいかなくても海外で生活する感覚や、普段から英語を使う感覚を養いたいと思い、このオックスフォード大学のサマースクールに参加しました。

●現地での印象的な出来事

イギリスではスーパーやファストフード店以外のほぼすべての店が夕方5時くらいには閉まり、日本と同じような感覚でショッピングをすることができない点は印象的でした。また、休日にロンドン観光に行きましたが、バスの交通網が発達しており15分おきに長距離バスが出ていて、行き帰りの際にとても便利でした。

●留学で得たもの

留学で学んだのは、自分から話しかけたりなど何かアクションを起こさなければ何も始まらないということや、街中でもできる限り物怖じせず話しかければちゃんと聞いてもらえて色々た

プログラムの特徴・授業について

オックスフォード大学ハートフォードカレッジが本学学生のために企画する約4週間の特別研修です。英語の授業以外にも、英語の歴史・文化を学ぶ講義が準備されています。

◆ブレイスメントテストの結果により、英語力別にクラス分けされます。

◆授業は月曜から金曜まで1日5時間、週20時間です。

◆スピーキングを中心に適切な単語使用、文法、プレゼンテーション手法、リーディング、ライティング、リスニング等を学びます。

◆歴史・文化の理解を深めるために授業の延長でオックスフォード市内・近郊の名所などへのフィールドトリップが企画されています。

◆Residential Advisor (RA) と呼ばれるオックスフォード大学生(または卒業生)が寮に同居し、様々な課外活動を企画してくれるほか、勉学、生活面の指導・助言を行います。

参加費内訳(概算)

総額:約80万円(1イギリスポンド=150円換算)  
徴収する費用の内訳(イギリスポンド=£)  
・現地プログラム費 …………… 約£4,000  
(授業料、寮費、朝・昼・夕食、フィールドトリップ費用含む)  
・往復渡航費 …………… 約16万円  
・海外旅行傷害保険 …………… 約1万円  
・雑費 …………… 約3万円  
※参加費の最終的な精算はプログラム終了後となります。  
※為替相場変動などにより追加徴収又は返金する場合があります。

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

原則として、平日に全員参加のフィールドトリップ(参加費に含む)が計画されており、週末は基本的に自由行動になります。主な訪問先としては次の場所を予定しています(変更の場合もあります)。  
【フィールドトリップ(例)】  
London・Stonehenge and Salisbury・Blenheim Palace・Cotswolds

# スターリング大学

University of Stirling

8.7-9.1

日本出発日:2017.8.4  
日本到着日:2017.9.3

大学情報

所在国・地域	大学創立年	設置形態	学生数
 イギリス スコットランド スターリング市	1967年	公立	約11,600名

プログラム実施機関URL

University of Stirling  
URL: <http://www.stir.ac.uk/>  
International Office  
URL: <http://www.stir.ac.uk/study-abroad-exchanges/>



都市の特徴

かつてのスコットランド王国の首都であることから、市内には歴史を感じさせる史跡やモニュメント、城があります。また、スコットランド地方の大都市グラスゴーとエディンバラの間に位置しており、双方に電車で約1時間でアクセスできる(便利)から、スターリングは多くの通勤者のベッドタウンとなっています。研修が実施される8月は最高気温が20度台前半で非常に過ごしやすい気候です。

大学の特色

スターリング大学は、1960年代の英国高等教育の拡張期に作られた“New University”です。広大な緑に囲まれたキャンパス内には古城や、ボートや釣りを楽しむことができる湖があります。また、スターリング大学はスポーツの名門大学でもあり、キャンパス内にはプログラム参加者も利用できるミニゴルフコースや室内プール、トレーニングジム(一部有料)が完備されています。大学からスターリング市の中心や駅までの約3キロは定期路線バスで結ばれています。

募集人数

30名

滞在形式

キャンパス内の学生寮に滞在し、他の関学生5～10名とキッチン(調理器具・食器完備)を共有します(寝室は個室でシャワー、トイレ、Wi-fiアクセス有り)。食事は参加費に含まれませんので、学内外のスーパーを利用した自炊または食堂での食事となります。



学生の声

中村 美月 教育学部3年(参加時)

●留学の目的

昔から英語が好きで、英語を海外で学んでみたいという思いがありました。教育学部は実習や授業が忙しく、長期留学は諦めていましたが、夏休みにこの短期留学があると知り、参加することを決意しました。英語の生まれた歴史のあるイギリスで、英語や歴史、文化を学びたいと思い、この大学を選びました。

●現地での印象的な出来事

首都エディンバラへ出かけた時のことです。街に現代的なビルなどが一つもなく、全てが昔のままの、本当に美しい街並みでした。私が訪れた時は世界中からたくさんの人が集まるお祭りが開かれており、大道芸人やダンサーなどたくさんの人たてで大にぎわいでした。

●留学で得たもの

スコットランドの英語は訛りが独特で難しかったですが、現地の大学生に会話相手をしてもらったり、街にあるパブに行き、地元の人たちに積極的に話しかけました。地元の人や店員さんはとても優しく、うまく話さなくても真剣に聞き取ろうとしてくれました。その甲斐あって、2週間後ぐらいに、スペインの友達に英語が上手くなったねと言われました。最初は自分にはレベル



プログラムの特徴・授業について

スターリング大学のInternational Officeが企画する約4週間のプログラム「English Language Summer School」に他国の学生(日本の他大学の学生を含む)と一緒に受講します。

◆ブレイスメントテストの結果により、英語力別にクラス分けされます。

◆授業は月曜から金曜まで1日4時間、週20時間です。

◆会話能力の向上に主眼を置きながら、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの総合的な英語力アップを目指します。

◆1クラス最大15名程度の小規模なクラス編成です。

◆現地学生がStudent Helperとして、課外活動を企画してくれるほか、勉学、生活面の指導・助言を行います。



参加費内訳(概算)

総額:約61万円(1イギリスポンド＝150円換算)

徴収する費用の内訳(イギリスポンド＝£)

・現地プログラム費 …………… 約£2,500  
(授業料、寮費、フィールドトリップ費用含む)

・往復渡航費 …………… 約19万円

・海外旅行傷害保険 …………… 約1万円

・雑費 …………… 約3万円

※参加費の最終的な精算はプログラム終了後となります。

※為替相場変動などにより追加徴収又は返金する場合があります。

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

International OfficeやStudent Helperが企画するイギリス・スコットランド文化と触れる様々なフィールドトリップやアクティビティに参加します(これらは参加費に含まれます)。

【フィールドトリップ(例)】1泊2日スコットランド北部「ネス湖」観光、エディンバラ(ハリーポッターツアー含む) 日帰りツアー、グラスゴー日帰りツアー

【アクティビティ(例)】英会話練習会「Conversation Club」、市内訪問、史跡めぐり、ケイリー(スコットランド伝統舞踊)体験、クイズ、Fish and Chips他





# マラヤ大学

University of Malaya

8.7-8.25

日本出発日:2017.8.5  
日本到着日:2017.8.27

大学情報				プログラムの特徴・授業について	
<div> <div> <div></div> <div>マレーシア クアラルンプール市</div> </div> </div>	<div>所在国・地域</div>	<div>大学創立年</div>	<div>設置形態</div>	<div>学生数</div>	<div>マラヤ大学のFaculty of Arts and Social Sciences (人文社会学部、以下「FASS」)が実施する研修です。他国の学生 (日本の他大学の学生含む) と一緒にコースを受講します。</div> <div>◆授業は月曜から金曜まで1日4時間、週20時間です。</div> <div>◆午前は、「読む、書く、聞く、話す」の総合的な英語力アップを目指します。</div> <div>◆午後は、英語の実践とマレーシア文化の理解を目的とした各種実習が予定されています (下記「アクティビティ・フィールドトリップ例」参照)。</div> <div>◆マラヤ大学に在籍する現地学生が相手となり、教室外で補助を行ってくれる Buddy Programがあり、マラヤ大学生と交流を深めることができます。</div>
<div> <div> <div>プログラム実施機関URL</div> <div>University of Malaya</div> <div>http://www.um.edu.my/</div> <div>Faculty of Arts and Social Science</div> <div>http://fass.um.edu.my/</div> </div> </div>	<div> <div></div> </div>				<div> <div></div> </div>
<div>都市の特徴</div> <div>マレーシアの首都、クアラルンプール (略称「KL」) は2つの川が合流する場所にあることからマレー語で「泥川が合流する場所」と名付けられました。ペトロナス・ツイン・タワーやKLタワーに代表されるような高層ビル群や、高速道路、モノレールなどのインフラ開発が急速に進んだことから、現在では東南アジア有数の近代都市となっています。また、マレーシアでは公用語のマレー語以外に、イギリス植民地時代の公用語である英語を準公用語としてマレー系、中華系、インド系等の異なる民族を繋ぐ役割として使用されています。</div>					<div> <div></div> </div>
<div>大学の特色</div> <div>マレーシア最古で唯一の国立大学であり、国内随一の最高学府として知られています。これまで首相を含む著名な政治家を多く輩出してきました。全学生の約20%がマレーシア以外の出身であることから英語での開講授業も多く、学内表示のほとんどがマレー語と英語で併記されています。大学から市の中心部まで公共交通機関で30分程度で訪れることができます。</div>					<div> <div>参加費内訳 (概算)</div> <div> <div>総額:約28万円 (1USD=120円換算)</div> <div>徴収する費用の内訳 (USD=US\$)</div> <div> <div>・現地プログラム費 …………… 約US\$1,500</div> <div>(授業料、寮費、フィールドトリップ費用含む)</div> <div>・往復渡航費 …………… 約7万円</div> <div>・海外旅行傷害保険 …………… 約1万円</div> <div>・雑費 …………… 2万円</div> </div> <div>※参加費の最終的な精算はプログラム終了後となります。</div> <div>※為替相場変動などにより追加徴収又は返金する場合があります。</div> </div> </div>
<div>募集人数</div> <div>20名</div>					<div> <div></div> </div>
<div>滞在形式</div> <div> <div>キャンパス近くの学生寮に滞在し、他の学生 (本学学生以外の可能性あり) 2～4名とキッチン、シャワー、トイレを共有します (寝室は2人部屋)。平日は、朝・昼・夕の3食付、週末の食事は参加費に含まれません。</div> <div> <div></div> <div></div> </div> </div>					<div> <div> <div>アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報</div> <div> <div>FASSが企画するマレーシア文化と触れる様々なフィールドトリップやアクティビティに参加します。なお、下記イベントは全て参加費に含まれます。</div> <div>【アクティビティ例】</div> <div> <div>・日本語専攻学生との交流会</div> <div>・伝統音楽、舞踊体験</div> <div>・孤児院、養護施設ボランティア活動</div> <div>・ホームステイ体験</div> </div> <div>【フィールドトリップ例】</div> <div> <div>・国立博物館、クアラルンプール市内巡り</div> <div>・世界遺産登録都市「マラッカ」日帰り観光</div> <div>・クアラルンプール郊外自然保護区</div> <div>・行政新都市「ブトラジャヤ」訪問</div> </div> </div> </div> </div>

## 学生の声

### 鶴田直樹 商学部2年(参加時)

●留学の目的  
将来海外に出てみたいと思いながらも、英語を勉強する機会がなく悩んでいた時にこのプログラムを見つけた。実際に自分が海外に出て、言語の違う人たちと生活をしたとき、何を感じ、どんな影響を自分に与えるのかとても興味があり、大学生活の間で一度は留学に行きたいと思っていたことが、私がこの研修に参加したきっかけです。  
●現地での印象的な出来事  
このプログラムは日々の生活が本当に楽しいです。3週間ずっと現地の学生と生活を共にするので、毎日英語で会話しながら買い物に行ったり、夕食を食べに行ったり、部屋で雑談をしたりできます。英語でコミュニケーションが取れているという実感を強く感じられます。また、かけがえのない友達を作ることができます。  
●留学で得たもの  
英語のスキルとしては、自分の知っている単語、文法を話すのが早くなったと思います。授業ではプレゼンやグループワークもあるので、英語での発表の流れなどを学べます。3週間生活を共にするので積極的にコミュニケーションをと

り、お互いの思っていることを伝えようとするので、話す力はつくと思います。

●これから留学を考えている人へのアドバイス・メッセージ  
このプログラムの魅力は何といってもBuddy Programだと思います。私も初めは3週間現地の学生と生活することがとても不安でした。しかし、パティは自分の英語を積極的に理解しようとしてくれたし、分かるまで何度も説明してくれました。英語で会話することを楽しいと思わせてくれるプログラムだと思います。英語を学びに行くことももちろん、英語を使って3週間本当に楽しみたいと思っている方はぜひ参加してみてください。

現地でのスケジュール(例)	
【平日】 9:00～13:30 授業 13:30～14:30 昼食 14:30～16:30 ダンス、音楽などの文化を学んだり体験する授業 16:30～17:30 アフタヌーンティ 17:30～ 部屋ごとに夕食、買い物	【土日】 クアラルンプール マラッカ観光 ホームステイ

# マッコーリー大学

Macquarie University

8.2-8.25

日本出発日:2017.7.31  
日本帰国日:2017.8.26

大学情報

所在国・地域	大学創立年	設置形態	学生数
 オーストラリア シドニー近郊	1964年	公立	約40,000名

プログラム実施機関URL

Macquarie University  
https://www.mq.edu.au/  
English Language Centre  
https://www.mq.edu.au/study/  
other-study-options/english-  
language-courses

都市の特徴

シドニー市は、ニュー・サウス・ウェールズ州の州都で、人口約460万人のオーストラリア最大の都市です。南半球を代表する政治、経済、文化の中心であると共に、歴史的建造物に加え、海に臨むオペラハウスやビーチなどを有する国際的な観光都市です。オーストラリア最初の入植地であったシドニー市は現在でも海外からの移住者が多く居住し、多民族・多文化的な街を形成しています。

大学の特色

マッコーリー大学はシドニー中心部から電車で30分程度の緑豊かな郊外にある公立大学です。オーストラリア内では、近年設立された革新的な大学として知られています。国際化にも積極的に取り組んでおり、7,000名近くの留学生が在学しています。

募集人数

30名

滞在形式

公共交通機関を使って約1時間圏内でホームステイ。平日は朝・夕の2食、週末は朝・昼・夕の3食付。原則1人部屋ですが、日本人を含めた他の留学生が同じ家庭にステイする場合もあります(原則関学生同士はなし)。シドニーは多民族・多文化都市であるため、英語ネイティブ以外の家庭に滞在することもあります。



プログラムの特徴・授業について

マッコーリー大学のEnglish Language Centerが提供する約4週間のプログラムを、他国の学生(日本の他大学の学生含む)と一緒に受講します(一部関学生のみの授業あり)。

- ◆ブレイスメントテストの結果により、英語力別にクラス分けされます。
- ◆授業は月曜から金曜まで1日4～6時間、週20時間です。
- ◆午後は、オーストラリアにおける多文化主義、グローバリズムに関する英語での関学生向け特別講義や、学習した英語を実践的に活用するフィールドワークが予定されています。



参加費内訳(概算)

総額:約51万円(1オーストラリアドル=90円換算)  
徴収する費用の内訳(オーストラリアドル=A\$)

- ・現地プログラム費 …………… 約A\$3,553  
(授業料、ホームステイ費、フィールドトリップ費用含む)
- ・往復渡航費 …………… 約15万円
- ・海外旅行傷害保険 …………… 約1万円
- ・雑費 …………… 約3万円

※参加費の最終的な精算はプログラム終了後となります。  
※為替相場変動などにより追加徴収又は返金する場合があります。

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

English Language Center  
が提供する有料・無料の  
フィールドトリップやアク  
ティビティに参加します。





# クイーンズランド大学

The University of Queensland

NEW

【プログラム実施期間】  
2017

8.7-9.8

日本出発日:2017.8.4  
日本到着日:2017.9.9

大学情報				プログラムの特徴・授業について
所在国・地域	大学創立年	設置形態	学生数	<p>クイーンズランド大学のInstitute of Continuing &amp; TESOL Education (ICTE-UQ) が本学学生のために企画する約5週間の特別研修です。</p> <p>◆プレイメントテストの結果により、英語力別にクラス分けされます。</p> <p>◆授業は月曜から金曜まで1日4時間、週20時間です。</p> <p>◆1クラス18名を上限とした小規模なクラスとなります。</p> <p>◆リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの各分野における総合的な基礎英語力の勉強をし、コミュニケーションスキルを磨きます。</p>
 オーストラリア クイーンズランド州ブリスベン市	1909年	公立	約50,000名	
<p><b>プログラム実施機関URL</b></p> <p>The University of Queensland http://www.uq.edu.au/ Institute of Continuing &amp; TESOL Education http://www.icte.uq.edu.au/</p>				
<p><b>都市の特徴</b></p> <p>クイーンズランド州は“サンシャイン・ステート”とも呼ばれ、1年を通して温暖な気候の地域です。州都のブリスベン市はオーストラリア第3の都市で、神戸市とも姉妹都市の関係にあります。ゴールドコースト等の観光地にも近いことや、様々な教育機関があるため、世界各地からの留学生が集っています。</p>				
<p><b>大学の特徴</b></p> <p>クイーンズランド州ブリスベンにメインキャンパスを持つ、州内で初めて設立された総合大学です。研究と教育の実績から国内で最も高く評価されている8大学"Group of Eight"の1校です。メインキャンパスはブリスベンから約7キロに位置する緑豊かな美しいキャンパスで、毎年1万人を超える留学生が学んでいます。</p>				<p>参加費内訳(概算)</p> <p>総額:約57万円(1オーストラリアドル=90円換算)</p> <p>徴収する費用の内訳(オーストラリアドル=AS)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地プログラム費 …………… 約AS3,175</li> <li>・住居関連費用 …………… 約AS1,250</li> <li>・往復渡航費 …………… 約13万円</li> <li>・海外旅行傷害保険 …………… 約1万円</li> <li>・雑費 …………… 約3万円</li> </ul> <p>※電子入国許可(ETA)の申請が必要です(別途AS20)。参加希望者は早めにパスポートを取得しておいて下さい。</p> <p>※参加費の最終的な精算はプログラム終了後となります。</p> <p>※為替相場変動などにより追加徴収又は返金する場合があります。</p>
<p><b>募集人数</b></p> <p>30名</p>				<p><b>アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●Activities Office があり、授業後や週末の様々なアクティビティを紹介してくれます。</li> <li>●毎月のアクティビティカレンダーがあり、Conversation Club や、スポーツ、ボードゲーム、料理教室など無料のアクティビティに参加可能です。</li> </ul> <p>【フィールドトリップ例(有料)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ノースストラブブロック島、ゴールドコースト、ローンパイン・コアラ・サンクチュアリの日帰り旅行</li> <li>●バイロンベイの週末旅行など</li> </ul>
<p><b>滞在形式</b></p> <p>公共交通機関を使って約1時間圏内でホームステイ。平日は朝・夕の2食付、土日祝は朝・昼・夕の3食付。原則1人部屋ですが、日本人を含めた他の留学生が同じ家庭にステイする場合もあります(原則関学生同士はなし)。オーストラリアは多民族国家であるため、英語ネイティブ以外の家庭に滞在することもあります。</p>				

## 現地の様子

### ●キャンパス施設



### ●アクティビティの様子



# クイーンズ大学

Queen's University

【プログラム実施期間】  
2017

8.1-8.24

日本出発日:2017.7.30  
日本帰国日:2017.8.27

大学情報				プログラムの特徴・授業について
所在国・地域	大学創立年	設置形態	学生数	<p>クイーンズ大学のSchool of Englishが実施する「Canadian English Experience」プログラムを、他国の学生(日本の他大学の学生を含む)と共に受講します。</p> <p>◆プレイメントテストの結果により、英語力別にクラス分けされます。</p> <p>◆授業は月曜から金曜まで1日約4時間、週18時間です。</p> <p>◆ロールプレイ、ペア &amp; グループディスカッション、プレゼンテーションなどを通じて読む、書く、聞く、話すの4技能のスキルアップを目指します。</p> <p>◆滞在中は教室内外の全てにおいて英語以外の言語の使用が禁止されます。</p> <p>◆モニターと呼ばれる現地学生が様々な課外活動を企画し、勉強面だけでなく生活面のサポート・助言もしてくれます。</p>
 カナダ オンタリオ州 キングストン市	1841年	公立	約22,460名	
<p><b>プログラム実施機関URL</b></p> <p>Queen's University URL: http://www.queensu.ca/ School of English, Queen's University URL: http://www.queensu.ca/qsoe/</p>				
<p><b>都市の特徴</b></p> <p>キングストン市は、トロントから電車で東に向かって2時間半、オンタリオ湖から流れ出すセントローレンス川の始点に位置し、古くから軍事、水上交通の要所として栄えてきました。同市は300年の歴史を有し、かつてはカナダの首都でもありました。セントローレンス川を下った流域はサウザンドアイランズと呼ばれ、2kmもの川幅に大小合わせて1000以上もの島々が点在するオンタリオ有数の観光地です。</p>				
<p><b>大学の特徴</b></p> <p>クイーンズ大学は、オンタリオ湖畔に広く美しいキャンパスがあります。同大学は、トロント大学、マギル大学、プリティッシュ・コロンビア大学と共にカナダを代表する優秀な大学です。また、関西学院第4代院長C.J.L.ベーツ博士の母校でもあります。歴史的にも本学と深いつながりを持つ大学です。</p>				<p>参加費内訳(概算)</p> <p>総額:約54万円(1カナダドル=90円換算)</p> <p>徴収する費用の内訳(カナダドル=C\$)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業料 …………… 約C\$ 2,671</li> <li>・住居関連費用 …………… 約C\$ 1,125</li> <li>・往復渡航費 …………… 約16万円</li> <li>・海外旅行傷害保険 …………… 約1万円</li> <li>・雑費 …………… 約3万円</li> </ul> <p>※教科書代として、約C\$ 50を現地で別途支払う必要があります。</p> <p>※食費として、最低別途C\$ 500を見込んでください。</p> <p>※電子入国許可(eTA)の申請が必要です。(別途C\$ 7をクレジットカードで支払い)。参加希望者は早めにパスポートを取得しておいてください。</p> <p>※参加費の最終的な精算はプログラム終了後となります。</p> <p>※為替相場変動などにより追加徴収又は返金する場合があります。</p>
<p><b>募集人数</b></p> <p>40名</p>				
<p><b>滞在形式</b></p> <p>クイーンズ大学の寮に宿泊します。部屋は原則として1人部屋です。部屋にはベッド、机、椅子、洋服タンス、インターネット回線が完備されています。また、共同ラウンジ、シャワー、バス、トイレ、簡単な台所、洗濯機(有料)、乾燥機(有料)があります。食事は参加費に含まれませんので、各自好きな場所で自由にとるようになります。</p>				
<p><b>学生の声</b></p> <p><b>柏木 宥人</b> 社会学部2年(参加時)</p> <p>●留学の目的 もともと英語が好きで勉強しており、この留学を通してスピーキング能力とリスニング能力を向上させたいと考え、自分の英語はどこまで通用するのかを知りたかったため、留学を決意しました。また、日本とは異なる海外の文化にも前々から触れてみたいと思っていました。</p> <p>●現地での印象的な出来事 全てが初めての体験なのでとても新鮮です。誰かと話すときは英語でないと通じないので、とてもいい環境です。辛かったことは道に迷ったとき、街の人に聞</p>				<p>いてみるのですが、話すスピードも早いので聞き取りに苦労しました。</p> <p>●留学で得たもの 外国語能力はもちろん、コミュニケーション能力も上がりました。街に出て人に話しかけるのは最初は躊躇しましたが街の人はとてもフランクな方が多く、あちらから話しかけられることも少なくありません。慣れてくると、後半には気軽に話しかけることができるようになりました。</p> <p>●これから留学を考えている人へのアドバイス・メッセージ まだ留学に行ったことがないけれど興味があるという方は、まず説明会に行って過去の先輩の話を聞いてみてください。そのあとしっかり考えて、自分の決意を固めて欲しいです。行って後悔することは絶対ないです。まずは説明会を聞いてみてください。</p>
<p><b>現地でのスケジュール(例)</b></p> <p>平日は午前8時半から3時まで講義があり、その後アクティビティがあれば参加し、なかった場合は街に出て、観光やジムに行ったりしていました。夕食も各自で作ったり食べに行ったりしていました。休日はオタワやトロントなどプログラムで予定されていたフィールドトリップに参加しました。</p>				



# トロント大学

University of Toronto

【プログラム実施期間】  
2017

7.31-8.25

日本出発日:2017.7.30  
日本到着日:2017.8.28

大学情報

所在国・地域	大学創立年	設置形態	学生数
 カナダ オンタリオ州 トロント市	1827年	公立	約80,900名

プログラム実施機関URL

University of Toronto

http://www.utoronto.ca/School of Continuing Studies,

University of Toronto

http://english.learn.utoronto.ca/



都市の特徴

トロントは人口250万人のカナダ最大の都市。カナダの金融、マスメディアや出版の中心、博物館や美術館、劇場等多くの文化施設が集い、トロント大学はその中心に位置しています。「人種のモザイク」と称され、世界各地からの移民が多国籍コミュニティを形成しています。地下鉄やバス、ストリートカーなどの公共交通機関が発達しています。

大学の特徴

多数のノーベル賞受賞者を輩出し、カナダを代表する名門の総合大学です。大学図書館は北米第3位にランクされており、貴重な研究資料が数多く保管されています。世界的に有名な王立オンタリオ美術館やトロント交響楽団などの文化施設は、かつてトロント大学によって創設されました。トロント大学には関学の海外オフィスがあり、本学とも関係が深いです。

募集人数

50名

滞在形式

公共交通機関を使って約1時間圏内でホームステイ。朝・夕2食付。原則1人部屋ですが、日本人を含めた他の留学生が同じ家庭にステイする場合もあります。カナダは多民族国家であるため、英語ネイティブ以外の家庭に滞在することもあります。

プログラムの特徴・授業について

トロント大学のSchool of Continuing Studiesが実施する研修です。他国の学生（日本の他大学の学生含む）と一緒に「English Plus」を受講します。

- ◆ブレイスメントテストの結果により、英語力別にクラス分けされます。
- ◆授業は月曜から金曜まで1日4時間、週20時間です。
- ◆1クラス18名を上限とした小規模なクラスとなります。
- ◆オプションプログラムとして毎週ネイティブスピーカーを囲んでディスカッション等を行うConversation Caféが開催されます。
- ◆個別に長所・短所についてフィードバックがあります。



参加費内訳 (概算)

総額:約48万円 (1カナダドル=90円換算)  
徴収する費用の内訳(カナダドル=C\$)

- ・授業料(テキスト代含む) … 約C\$1,978.25
- ・住居関連費用 …………… 約C\$1,225
- ・往復渡航費 …………… 約15万円
- ・海外旅行傷害保険 …………… 約1万円
- ・雑費 …………… 3万円

※電子入国許可 (eTA) の申請が必要です (別途C\$7をクレジットカードで支払い)。参加希望者は早めにパスポートを取得しておいて下さい。

※参加費の最終的な精算はプログラム終了後となります。

※為替相場変動などにより追加徴収又は返金する場合があります。

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

トロント市内観光やナイアガラの滝へのフィールドトリップなどが予定されています (費用は参加費に含まれます)。また、毎週様々なアクティビティ (有料のものを含む) が企画されており、希望者は参加することができます。



## 学生の声

### 藤 綱 康 太 朗

経済学部2年(参加時)

#### ●留学の目的

以前から海外に留学したいと考えていて、海外で生活することで英語を学ぶだけでなく外国の文化に触れ、広い視野を身に付けたいと思いました。そして、留学で得た経験をこれからの自分の将来に役立てたいと考えています。

#### ●現地での印象的な出来事

アクティビティの中で、ナイアガラの滝に行きました。実際にしてみると、写真で見えるよりも比べ物にならないくらいの迫力に圧倒されました。また、ホスト先で知り合った外国の留学生と友達になることができました。このように、ホストファミリーと仲良く生活することができ、生活の中でも海外の文化を学ぶことができました。

#### ●留学で得たもの

英語でのコミュニケーション能力の向上が図ることができました。実際に帰国後のTOEICでは、大幅な得点アップに繋がったと感じています。更に、留学を通じて、新たな友達を作ることができました。また、積極性や度胸なども身に付けることができました。



#### ●これから留学を考えている人へのアドバイス・メッセージ

留学中は、失敗を恐れずに、自分から積極的に現地の人に話しかけていくことをオススメします。1ヶ月という短い時間を無駄にすることなく充実させてください!留学は、英語力が向上するだけでなく、留学先で出会ったかけがえのない友人たちと共に生活することによって、自分の人生の中でも数少ない貴重な経験になると思うのでは非、参加していただきたいです!



現地でのスケジュール(例)			
【平日】 7:00~8:00 9:00~13:00 13:00~18:00	起床・朝食 授業 友達と宿題・アクティビティに参加・観光	【休日】 7:30~8:30 9:00~18:00  18:00~	起床・朝食 アクティビティに参加(ナイアガラの滝、メジャーリーグ観戦、シルクドソレイユ鑑賞等)・トロント観光 ホストファミリーとディナー

# ニューヨーク州立大学オルバニー校

University at Albany, The State University of New York

【プログラム実施期間】  
2017

8.14-9.8

日本出発日:2017.8.12  
日本到着日:2017.9.10

大学情報

所在国・地域	大学創立年	設置形態	学生数
 アメリカ合衆国 ニューヨーク州 オルバニー市	1844年	州立	約17,400名

プログラム実施機関URL

University at Albany, The State University of New York

http://www.albany.edu/international-admissions/

都市の特徴

オルバニー市はニューヨーク州の州都であり、州の東部、ハドソン川中流域に位置します。また、ニューヨーク市、ボストン市が車で3時間程で行ける距離で、ショッピングや食事を楽しむことができます。その他、州議事堂や博物館、教会、美術館などもあり、自然や歴史を楽しめる街です。

大学の特徴

ニューヨーク州立大学オルバニー校は、同州立大学システムの4大学のうちの1校です。公立の研究大学で125以上の研究分野を誇ります。また、90か国以上の学生が在籍しており、200以上の学生クラブや組織、アスリートチームが存在します。このような活気に満ちた環境で、アメリカのキャンパス体験を楽しみながら様々な学生と共に学ぶことができるキャンパスコミュニティが広がっています。



募集人数

15名

滞在形式

公共交通機関を使って約1時間圏内でホームステイ。平日は朝・夕の2食付、土日祝は朝・昼・夕の3食付。原則1人部屋ですが、日本人を含めた他の留学生が同じ家庭にステイする場合もあります。アメリカは多民族国家であるため、英語ネイティブ以外の家庭に滞在することもあります。

プログラムの特徴・授業について

ニューヨーク州立大学オルバニー校のCenter for International Education and Global Strategyが実施する研修です。他国の学生（日本の他大学の学生含む）と一緒に「Intensive English Language Program」を受講します。

- ◆ブレイスメントテストの結果により、英語力別にクラス分けされます。
- ◆授業は月曜から金曜まで1日3.5時間、週17.5時間です。
- ◆1クラス18名を上限とした小規模なクラスとなります。
- ◆リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの各分野における総合的な基礎英語力の勉強をします。
- ◆1〜2週目は関学生独自のクラスで、3〜4週目は他国の学生（日本の他大学の学生含む）と混合のクラスで受講します。



参加費内訳 (概算)

総額：約63万円 (1USDollar=120円換算)

徴収する費用の内訳 (USDollar=US\$)

- ・現地プログラム費 …………… 約US\$2,286  
(授業料、施設利用料、テキスト代含む)
- ・住居関連費用 …………… 約US\$960
- ・往復渡航費 …………… 約20万円
- ・海外旅行傷害保険 …………… 約1万円
- ・雑費 …………… 3万円

※電子渡航認証システム (ESTA) の申請が必 (別途US\$14) です。参加希望者は早めにパスポートを取得しておいてください。

※参加費の最終的な精算はプログラム終了後となります。

※為替相場変動などにより追加徴収又は返金する場合があります。

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

Reading Theater, Conversation Culb, スポーツなどのアクティビティに参加することができます。また、フィールドトリップへも参加することができます。

【フィールドトリップ例 (有料)】

ニューヨーク、ボストン、ナイアガラの滝等



## 現地の様子

#### ●キャンパス施設





# カリフォルニア大学デビス校

University of California, Davis

【プログラム実施期間】  
2017

8.11-9.15

日本出発日:2017.8.10  
日本到着日:2017.9.17

大学情報				プログラムの特徴・授業について
所在国・地域	大学創立年	設置形態	学生数	カリフォルニア大学デビス校のエクステンションプログラムが実施する研修です。他国の学生（日本の他大学の学生含む）と一緒に"Communication and Culture Program"を受講します。 ◆プレイスメントテストの結果により、英語力別にクラス分けされます。 ◆授業は月曜から金曜まで1日3.5時間、週17.5時間です。 ◆授業はアメリカ文化の理解と英語によるコミュニケーション能力向上に焦点を当てた内容となっています。 ◆英語研修後に1週間のボランティア交流プログラム（講義、プレゼンテーション含む）に参加します。ボランティア派遣先は現地で実施するアンケートを基に決定します（過去派遣例：家建設ボランティア、現地高校 他） ◆UCDの学生がConversation Partnerとなり語学学習をサポートします。
 アメリカ合衆国 カリフォルニア州 デビス市	1905年	州立	約35,000名	
<b>プログラム実施機関URL</b> University of California, Davis http://www.ucdavis.edu/ UC Davis Extension http://cie.ucdavis.edu/english-programs				
<b>都市の特徴</b> デビス市はカリフォルニアの州都サクラメントの西に位置する小さく親しみやすい学園都市で、人々は大変気さくでフレンドリーです。美しさでは全米屈指の都市とされるサンフランシスコにスキーやスノーボードで世界的に有名なレイクタホからそれぞれ約2時間の距離にあります。				
<b>大学の特徴</b> カリフォルニア大学デビス校（UCD）は、アメリカで最高水準の高等教育を提供する研究大学の一つとして知られています。10大学で構成されるカリフォルニア大学システムの中の1校であり、U.S.News誌の全国レベルの大学ランキングでも毎年全米上位にランクされています。また、UCDは3万人以上の学生を擁し、生物学をはじめとする科学の分野、農学、医学、さらに法学、ビジネス、その他の最先端の分野に至るまで100以上の専攻があります。農場や飛行場を含む5800エーカーもの広大なキャンパスを誇り、学生は学内を自転車で移動しています。				
				
募集人数				参加費内訳（概算）
30名				総額：約73万円（1USDドル＝120円換算） 徴収する費用の内訳（USDドル＝US\$） ・現地プログラム費 …………… 約US\$2,815 ・住居関連費用 …………… 約US\$1,264 ・往復渡航費 …………… 約20万円 ・海外旅行傷害保険 …………… 約1万円 ・雑費 …………… 3万円 ※電子渡航認証システム（ESTA）の申請が必（別途US\$14）です。参加希望者は早めにパスポートを取得しておいてください。 ※参加費の最終的な精算はプログラム終了後となります。 ※為替相場変動などにより追加徴収又は返金する場合があります。
滞在形式				アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報
公共交通機関を使って約1時間圏内でホームステイ。個室で平日は朝・夕の2食付、土日祝日は朝・昼・夕の3食付。ホストファミリー宅には、日本人を含めた他の留学生が同じ家庭にステイする場合もあります。				●放課後は、留学生同士が交流できるゲームやアイスクリームソーシャル等、無料アクティビティが提供されます。 ●週末は大学が主催する各種フィールドトリップやアクティビティに参加可能です。 【フィールドトリップ例（有料）】 ヨセミテ国立公園、レイクタホ、サクラメント、ロサンゼルス、サンフランシスコ等

## 学生の声

### 飯田 亜季 法学部2年(参加時)

●留学の目的  
高校生の時に3週間のニュージーランド留学をしていたので、大学でも留学したいと入学前から思っていました。MS制度を利用し、2つの専修の修了を目指しているので、夏休みを利用した、授業に支障のない短期留学は私にはピッタリでした。また数ある留学先でデビス校を選んだのは、アメリカに憧れがあった上、プログラムのラスト1週間にボランティア活動が組み込まれていたからです。単なる語学の勉強だけでなく、ボランティア活動を通じて得られるものがある、と感じたからです。

●現地での印象的な出来事  
ホストファミリーが熱心なキリスト教徒だったので、毎週日曜日は必ず教会に行き、異文化に触れることができました。週末はパークレーのホストマザーの娘の家族を訪れ、子供達とたくさん遊びました。日曜日の夜、1人で電車で乗り、デビスまで帰ってきたのも、なかなか勇気がいりました。

●留学で得たもの  
5週間の短い留学でしたが、リスニング能力は向上したと思います。またプレゼンテーションの授業では、教室を出て、大学内の学生やステイ先の近隣の人々にインタビューをしなければならず、自分の英語が伝わるか不安で緊張しましたが、話しかけてみると皆さん優しく、私の英語を一生懸命聞いてくれたので、積極性も身につきました。また、一緒に行った大学の仲間や日本の他大生との、何にでもチャレンジして少しでも自分のプラスにして帰ろうという積極的な

姿勢にもとても刺激を受け、私も負けてられないなと頑張ることができました。

#### ●これから留学を考えている人へのアドバイス・メッセージ

留学は単に英語力を上げること以外にも、自分自身を成長させてくれます。日本では甘えてしまうような事でも、自分でチャレンジして、解決する姿勢が身につきます。せっかく留学プログラムの豊富な「英語の関学」に在学しているのですから、時間の融通が利く大生との間に、ぜひチャレンジしてほしいと思います。



現地でのスケジュール(例)		
【平日】 7:00 起床 8:20~8:40 自転車通勤 9:00~14:00 授業 14:15~ 宿題、アクティビティに参加、外出等 18:00~22:00 ホストファミリーと夕食、団楽等		【休日】 ホストファミリーと教会に行ったり、外出したりしました。オプションツアーでロサンゼルスへ2泊3日の旅行、サンフランシスコへの日帰り旅行にも参加しました。

# カリフォルニア大学リバーサイド校

University of California, Riverside

【プログラム実施期間】  
2017

8.7-8.25

日本出発日:2017.8.5  
日本到着日:2017.8.28

大学情報

所在国・地域	大学創立年	設置形態	学生数
 <div>アメリカ合衆国 カリフォルニア州 リバーサイド市</div>	1954年	州立	約23,000名

プログラム実施機関URL

University of California, Riverside

URL: <http://www.ucr.edu/>

UC Riverside Extension

URL: <http://www.extension.ucr.edu/>

都市の特徴

リバーサイド(Riverside)は、アメリカ合衆国カリフォルニア州南部内陸、ロサンゼルス東郊約100kmに位置する都市です。ロサンゼルスから車で約1時間、南カリフォルニアらしいオレンジ畑が広がり、美しいボックス・スプリングス・マウンテンに囲まれ、1,200エーカーの広大なキャンパスには、約23,000名の学生が学んでいます。カリフォルニアの有名な観光地、ディズニーランド、ユニバーサルスタジオ等へもいずれも約1時間、メキシコとの国境サンディエゴへも90分の距離と、週末の観光にもとても便利な場所です。大都会ロサンゼルスからわずか1時間の場所で、比較的物価も安く、暮らしやすいと言われています。

大学の特徴

UCリバーサイド校(以下UCR)は、1907年カリフォルニアのオレンジを代表する柑橘類の研究所として建設され、柑橘栽培のバイオニアとして成長、1954年UCリバーサイド校として創立されました。UCRは、USニュース誌において、民族的多様性の観点から3位に、経済力の多様性の観点から15位にランキングされています。先生もフレンドリーで、アットホームな雰囲気を味わうことができます。

募集人数

30名

滞在形式

英語プログラムのあるExtension Centerより徒歩1〜2分の大学寮(2人部屋)に滞在します。食事は参加費に含まれないため、学内食堂、周辺レストラン、自炊などでの食事となります。



プログラムの特徴・授業について

カリフォルニア大学リバーサイド校のエクステンションプログラムが提供する「Conversation & American Culture(CAC)」の授業を受講します。

- ◆授業は月曜から金曜まで1日3時間、週15時間です。
- ◆英語学習と様々なワークショップ等を組み合わせて会話とアメリカ文化を学びながら、コミュニケーションスキルとプレゼンテーションスキルを磨きます。

1週目:異文化について&ミニプレゼンテーション

2週目:文化的価値観について&ミニプレゼンテーション

3週目:文化の違いについての比較、最終プレゼンテーション

午後:カルチャルワークショップ、スポーツワークショップ等

◆研修内容の難易度が低めです。渡航経験の少ない方におすすめします。



参加費内訳(概算)

総額:約60万円(1USドル=120円換算)

徴収する費用の内訳(USドル=US\$)

- ・現地プログラム費 …………… 約US\$ 2,235  
(アプリケーション費、授業料等)
- ・住居関連費用 …………… 約US\$ 904
- ・往復渡航費 …………… 約18万円
- ・海外旅行傷害保険 …………… 約1万円
- ・雑費 …………… 約3万円

※電子渡航認定証システム(ESTA)の申請が必要(別途US\$14)です。

※食事は別途各自負担となります。

※参加費の最終的な精算はプログラム終了後となります。

※為替相場変動などにより追加徴収又は返金する場合があります。

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

週末にはロサンゼルスツアー、ディズニーランドなどのオプショントリップがあります。

### 大内 拓実 法学部2年(参加時)

●留学の目的  
第一に、自分の英語力を向上させることが目的でした。私は英語の授業を全てインテンシブ・イングリッシュのクラスで履修しました。そのため、日々の授業で培った自身の英語力がアメリカでどれほど通用するのか試してみたかったです。またこのプログラムは海外留学未経験者におすすめされており、留学が初めての私にとって志望し易かったことも理由の一つになりました。

●現地での印象的な出来事  
寮の同部屋で仲良くなったアメリカ人の友達と一緒に夕食を作ったり、自分たちだけで行き先を決めてショッピングに行ったりと、現地での生活は毎日が新鮮に感じられました。また授業中は先生が自分の話す英語や文章の良かった点、改善点を常に明確に伝えてくれたため、日を追うごとに自信がつき英語を話す時に変な気負いをすることが無くなりました。

●留学で得たもの  
私のクラスでは毎週金曜日に個別、班別のプレゼンテーションが実施されました。複数人の前で英語を話す機会が定期的であり、先生が細かくフィードバックしてくれるので授業を重ねる度に自分の話す能力の向上を実感できました。最終週には自身のアメリカでの生活を一冊の本にまとめ発表しました。

#### ●これから留学を考えている人へのアドバイス・メッセージ

このプログラムは自分の英語力に自信がない人、留学に何かと不安がある人には是非勧めます。日々の授業は先生方が常にサポートしてくれます。海外で英語を話す、学ぶことへのプレッシャーは次第に無くなっていくはずです。現地での生活は自由時間も十分に与えられる為、思いのままにアメリカを味わえます。



現地でのスケジュール(例)	
【平日】 7:00~ 起床、身支度、朝食 9:00~12:00 授業 12:00~13:00 昼食 13:00~16:00 アクティビティ(ダンス、スポーツなど) 16:00~ 自由時間 ※水曜日のみ13:00~15:00迄、関学生だけの追加授業が実施される	【土日】 自由に過ごすことができるUberを活用し友達とショッピングに行くなど事前に代金を支払うことで毎週末実施されるオプションルツアーに参加できる

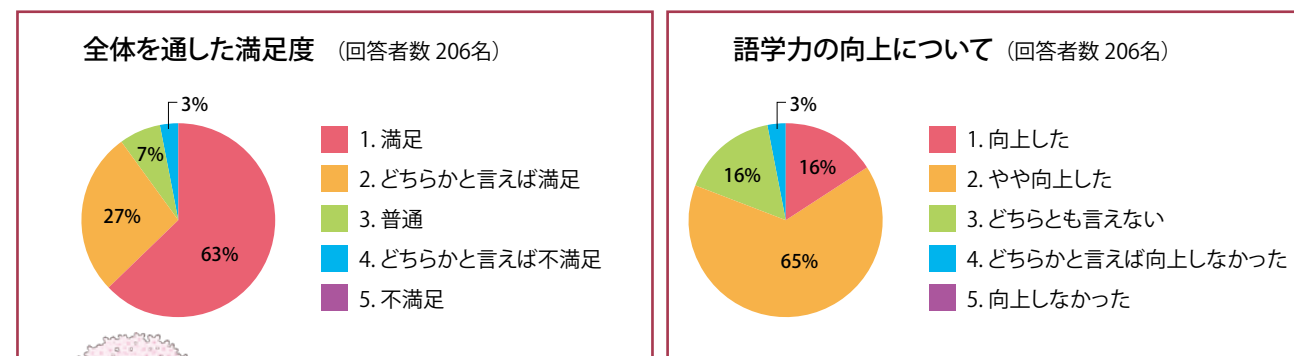






# 夏季外国語研修 全プログラム共通

## 昨年度の夏季外国語研修参加者のアンケート結果



昨年度参加した学生のアンケート結果によると、語学力が向上したと答えた学生は全体の81%、研修全体を通して満足したと答えた学生は90%です。これから中期留学や交換留学を目指す学生にとっても、おすすめのプログラムです。まずは、4月中旬から始まる募集説明会に参加しましょう。(説明会の詳細はP.2-3を参照してください。)

### 出願手続き

#### ■ 出願期間

2017年4月24日(月)～27日(木)

※受付時間は事務室開室時間のみ  
[平日] 8:50～11:30、12:30～16:50  
[土曜] 8:50～12:20

#### ■ 出願先

国際教育・協力センター (CIEC)

NUC G号館1階  
KSC アカデミックcommons2階

#### ■ 出願手続き書類

●以下の書類をオンライン出願ページ(P.9参照)からダウンロードし、記入して提出してください。

1. 参加申込書
2. 誓約書
3. 健康状態等申告書
4. 銀行口座届
5. パスポートコピー (2部)

※パスポートは顔写真を含む上下見開きページをA4用紙にコピーし、氏名、学部、学年、学生番号、参加希望大学を記入すること。

#### パスポートコピー (サンプル)

■対象  
学部学生(1年生～4年生)  
・学部学生だけで定員に満たない場合のみ、大学院生の参加も可能です。  
・2017年9月に卒業予定の学生は参加できません。

■募集人数  
募集人数については、各プログラムのページ(P.11～P.23)の募集人数欄を参照してください。  
※定員に達しなかった場合のみ、5月に追加募集を実施します。

■選考方法  
申込者多数の場合のみ抽選を行います。(第1希望～第6希望まで申込書に記入可能です。)

■出願に関する注意

- ・参加人数が最少催行人数に満たない場合は、プログラムを中止する可能性があります。
- ・7月29日(土)、7月31日(月)は、春学期定期試験予備日(予定)です。これらの日に試験が実施される場合、プログラムによっては、渡航日の関係からレポートによる代替試験を受験することになりますので、了解のもと出願してください。
- ・8月3日(木)、4日(金)は、春学期定期試験追試験日です。これらの日に試験が実施される場合、プログラムによっては、渡航日の関係から受験することができませんので、了解のもと出願してください。
- ・本募集要項に記載の渡航日程は受入れ大学の都合等により変更されることがあります。

### ■参加者決定から出発までのスケジュール

出願	4/24(月)～27(木)	プログラム費残金振込み	6/12(月)
参加者発表	5/2(火)	渡航説明会・危機管理研修	7/1(土)
手続き説明会	5/9(火)、10(水) ※いずれか1日に参加すること	出発	7月末～8月中旬
申込金振込み	5/17(水)	事後研修	8月下旬～9月中旬
オリエンテーション	6/3(土)		

【注意】手続き説明会、オリエンテーション、渡航説明会、事後研修は全員参加必須です。なお、無断欠席、遅刻、提出物の遅れ、参加費振込の遅延、参加態度が悪く周囲に悪影響が及ぶ等、問題行動が見られる場合は、プログラム参加が取り消されることがあります。

# 1-2 Cross-Cultural College

## カナダの学生と「協働」で学ぶプログラム

グローバル企業の期待に応える  
実践的なグローバル人材育成プログラム!

Cross-Cultural College(CCC)は、典型的な多文化社会であるカナダの3大学(マウント・アリソン大学、クイーンズ大学、トロント大学)と関西学院大学が協働して設置・運営するプログラムです。異文化理解やコミュニケーション力を持ち、多文化を共生させながら、グローバル社会の持続的な発展と成長に寄与できる世界市民リーダーズを育成します。

### ◆Certificate Program(CP)に登録して修了証書を手に入れよう!

CPとは、関学生とカナダの3大学の学生を対象に提供する修了証プログラムのことで、多文化共生や国際関係など、英語で開講される異文化に関連する科目を集中的に履修することによって、高い英語運用能力と幅広い国際的視野を獲得することができます。また、修了するためには、**日加両国の学生が寝食をともにしながら、協働でビジネス課題の解決に取り組むコア科目(P.26,27参照)**を履修する必要があります。多国籍な場面で活躍できる実践的な能力を養うことも可能です。使用言語は全て英語であり、下記修了要件を満たした学生には、日加4大学が運営するCCCから修了証書を授与します。

#### このような学生にオススメです!

- ☒ グローバル社会に出た際に活かせる実践力を身につけたい
- ☒ 中期留学や交換留学などからの帰国後も英語力を維持、向上させたい
- ☒ 英語を学ぶのではなく、「英語で学ぶ」環境に身を置きたい
- ☒ 早期に修了証書を手に入れて、就職活動でアピールしたい

#### ◆中期留学、交換留学からの帰国後の学びとしても最適!

- ・英語中期留学トロント大学、英語中期留学マウント・アリソン大学参加者は、留学先での修得単位の一部をCPの修了に活用できます。
- ・交換留学先で修得した単位もCP対象科目として認定することが可能です。

#### ◆就職活動時のエントリーシートや履歴書にもアピールポイントとして書ける!

- ・修了要件をクリアすれば、すぐに修了証書を受け取ることができます。
- ・CCCならではのユニークなビジネス経験、協働経験をアピールできます。

<b>◆登録要件</b> TOEIC®680点(またはTOEFL ITP®530点、TOEFL iBT®71点、IELTS(アカデミック)5.5点、英検準1級)の英語能力を有している学部生であること ※詳しくはCCCパンフレットをご参照ください。 ※CP登録はCCC事務局(国際教育・協力センター内)にて随時受け付けています。	<b>◆修了要件</b> ①CCCの定めた科目群の中からあわせて16単位を修得していること ②TOEIC®820点(またはTOEFL ITP®580点、TOEFL iBT®92点、IELTS(アカデミック)6.5点、英検1級)以上の英語能力を取得すること
--	---

“リシュ面”ってご存知ですか?

リシュ面 = 履修履歴面接 の略です

“履修履歴面接”とは、面接官と学生が成績証明書を確認しながら、学業における考え方や行動について振り返る新しい面接方法のことで、ここ数年で大企業を中心に急速に普及しています。今まで一般的であった「学業以外の取り組みにおける姿勢」に対する評価に加え、「**学生が避けて通れない学業に対する取り組みの姿勢**」に着目することで、そこから見える学生の本当の姿、強み、考え方も評価対象とすることが企業の狙いです。

これまでの採用面接

Q:学生生活で打ち込んだことは?あなたのPRポイントは?弱みは?  
⇒学業よりも、クラブ・サークル活動、アルバイトなどに注目

リシュ面(履修履歴面接)

Q:あなたが一番力を入れた授業はどれですか?力を入れた理由は?  
Q:「マーケティング論」と「マーケティング戦略論」、二つの履修科目の違いは?  
Q:この科目の成績が下がった原因を自己分析してください  
⇒学業への取り組みから見える性格・強み・考え方も重視

【リシュ面による企業のメリット】  
通常の面接で見える「やりたいことに対する資質」に加え、「やらなくてはならないことに対する資質」「責任感・セルフモチベーション力」を見ることができる

【学生に求められること】  
・何が自分にとって良い授業なのかを**考え、履修計画を立て、実行する**  
・**内容を理解する努力**をし、主体的に授業に参加する  
・「最低限やらなければならないこと」に加え、  
+  $\alpha$  で何ができるかを考える

## 「英語開講科目の集中的な履修」「高い英語能力の獲得」「実践的ビジネスの経験」を必要とするCPIは、面接で自分をアピールするための武器になります!

### ◆先輩学生はCCCでの経験を活かし、グローバル企業で活躍しています!

文系学部卒業生とCCC参加学生の業種別就職状況を比較すると、CCC参加者は製造業により多く就職していることがわかりました。国内市場が縮小する中、各企業では今、世界を舞台に戦える人材を求めています。カナダ学生との協働を通じて、問題解決能力、異文化対応力を身に付けたCCC参加者が企業から高く評価されています。

先輩学生の中には、CCCの経験を経てさらに学びを深めるため、カナダの大学院などに進学した学生もいます!

CCC参加学生の進路

パナソニック(株)、(株)東芝、NEC(日本電気株式会社)、富士通(株)、(株)ブリヂストン、富士ゼロックス(株)、TOTO(株)、(株)デンソー、(株)クボタ、(株)JT首都圏、オリックス(株)、丸紅(株)、(株)三井住友銀行、(株)三菱東京UFJ銀行、(株)毎日放送、日本アイ・ピー・エム(株)、伊藤忠商事(株) 他



8月実施プログラム募集要項

2月実施プログラムの募集詳細については、2017年9月発行の国際教育・協力プログラム募集要項2017Volume II をご参照ください。

### ◆ Global Career Seminar in Japan

【実施期間】2017年8月1日(火)～10日(木)

概要	日加の学生混成のグループを組み、企業・団体等から与えられる国際展開等に関する課題について解決策を立案するプログラム。プログラム前半では、企業・団体等の事業に精通し、第一線で活躍している方々に会い直接情報収集を行います。その後、グループ内で解決案を導き出し、最終的にその方々に対してプレゼンを行い講評を得ます。普段なかなか会うことのできない企業・団体等の方々の考えに触れることにより、ビジネスならではの視点を学びつつ、多国籍な場での合意形成を体感します。 ※関西学院大学に在籍する外国人留学生・交換学生とグループを組むこともあります。		
実施期間	2017年8月1日(火)～10日(木) ※期間中は、カナダの学生(あるいは、外国人留学生・交換学生)と同じ宿舎に宿泊します。 ※8月3日、4日は春学期定期試験追試日です。これらの日に試験が実施される場合、受験することができませんので、了解のもと申し込んでください。		
実施場所	西宮上ヶ原キャンパス		
参加費	約7万円 ※含まない費用：食費、プログラム期間中に発生する全ての交通費、フィールドスタディ費		
単位	3単位	定員	15名
事前講義	約10回(オンライン講義を含む) ※日時については募集説明会で案内します。		
協力企業・団体(2016年度実績)	トヨタ自動車(株)、カナダ大使館、(株)リコー、第一生命保険(株)、Peace & Nature(NPO)		

学生の声

東浩之  
国際学部3年(参加時)  
受入企業：第一生命保険(株)



●CCCプログラムに参加して得たものは？  
「異なる言語や考え方の壁を超えてやり抜く力」と「高め合う仲間」を得ました。私は当初、言語や考え方の違いから、メンバーと満足した意思疎通が取れずにいました。しかし、互いの差異を認識し尊重した上で、各々が自身の考えを押し出す大切さに気づきました。結果、積極的に意見をぶつけ合い、個々の長所を活かし助け合う関係がチームに生まれ、全員でプログラムをやり抜くことができました。また、10日間寝食を共にし、ぶつかり合いながらも共に考え抜いたメンバーは、大切な財産です。今でもメンバーと連絡を取りますが、常に何かに全力な学生ばかりなので、プログラム終了後も互いに高め合う大切な仲間となっています。

●今後このプログラムを目指す後輩へのメッセージ！  
本プログラムは関学生であるからこそ掴める成長のチャンスです。是非、最大限に活用してください！



Global Career Seminarでしか経験できない3つのポイントがあります！

POINT 1

企業等の第一線で活躍する方々から学ぶビジネス視点

普段会うことのできない企業等の方々から直接話を聞けるのが魅力。

POINT 2

本気の異文化交流を通じた一生の仲間

「寝食を共にしながらの協働学習※」でしか得られない本気の異文化交流。

POINT 3




満足度の高いプログラムで成長を実感

密度の濃いプログラムだから、短期間でもしっかりと成長を実感。

企業の社長とお話させていただいたのは、本当に貴重な経験でした。実際のビジネスの現場で何が起きているのかを聞くことができ、インターネットでは得られない情報まで学ぶことができました。

普段の授業ではなかなか得られない強い団結力を感じることができました。プログラム終了後も連絡を取り合い、またいつか再会することを約束する仲間ができたことを、とても嬉しく感じています。

文化が違う中で自分を相手に理解してもらい、良い関係を築くには、他人への尊敬と信頼がいかに重要かを学ぶことができました。また、カナダ学生と話し合いを重ねる過程は英語力向上にも繋がりました。



※参加者の男女比によっては、関学生同士で部屋をシェアすることもあります。



Build lasting friendship with Canadian Students!

8月実施プログラム募集要項

2月実施プログラムの募集詳細については、2017年9月発行の国際教育・協力プログラム募集要項2017Volume II をご参照ください。

### ◆ Global Internship in Japan

【実施期間】2017年8月18日(金)～9月2日(土)

概要	日加の学生がペアとなり、国際展開に積極的な企業・団体で8～9営業日間のインターンシップを行うプログラム。異なるバックグラウンドを持つ者同士がペアになることで、それぞれの独自性を尊重しながら一つの目的に向けて協働することを体感することができます。インターンシップのほか、事前講義ではインターンシップに必要なビジネスに関する基礎知識を学び、事後講義ではプレゼンを通じて各インターンシップ先での学びを学生全体で共有し、更なる気づきや学びを醸成します。 ※関西学院大学に在籍する外国人留学生・交換学生とペアを組むこともあります。		
実施期間	2017年8月18日(金)～9月2日(土) ※期間中は、カナダの学生(あるいは、外国人留学生・交換学生)と同じ宿舎に宿泊します。		
実施場所	西宮上ヶ原キャンパス及びインターンシップ先		
参加費	約19万円 ※含まない費用：食費、プログラム期間中に発生する全ての交通費(インターンシップ先への往復新幹線代を除く)、フィールドスタディ費 ※関西圏の企業・団体に派遣される場合、往復新幹線代は返金します。		
単位	3単位	定員	10名
事前講義	複数回(オンライン講義を含む) ※日時については募集説明会で案内します。		
協力企業・団体(2016年度実績)	(株)JTB、富士ゼロックス(株)、住友ゴム工業(株)、住友化学(株)、日本イーライリリー(株)、Jリーグ、阪急阪神ホテルズ(株)、EnglishCentral 他		

Messages from student pairs

2016年度のGlobal Internship in Japanでペアを組んだ日加の学生に、印象に残っていることやお互いについて聞きました。

秋田莉沙  
国際学部3年(参加時)  
受入企業：日本イーライリリー(株)



Wendy, thank you so much for all your help. With you I could enjoy a lot not only the internship but also other experiences during the program. I hope we'll meet again someday!

Thank you for being a great friend, co-worker and roommate during our time together for the internship. My experience in Japan was unparalleled, and it would not have been the same without you. Hope you are doing well, and I miss you tons!



Jiawen(Wendy) Wang  
トロント大学3年  
受入企業：日本イーライリリー(株)

当初受け身であった私とは対照的に、主体的に行動し、求められたもの以上の成果を出そうという向上心を持ったパートナーでした。私は始めのころ社員の方々とコミュニケーションを取るのにも遠慮してしまいがちでしたが、彼女の積極的な姿勢に引っ張られ、悔いのない時間を過ごすことができました。また、タスクだけでなく遊びにもアクティブで、休日に神戸や京都と一緒に観光し、思い切り楽しんだのも良い思い出です。時には、私の英語能力が不十分であったために、プレゼンやレポートなどで助けてもらうこともありましたが、その分私は私のできることに責任を持って取り組むことで、ペアとしてお互い協力しあって良い成果が生み出せたと思います。

My most memorable experience was the process of overcoming the difficulties of communication with my partner. My partner and I were assigned an internship at a pharmaceutical company and it was challenging in the initial stages to not only communicate ideas across languages, but also in relaying scientific terms that are not commonly used in everyday life. The process of persistence and developing strategies for communication with my partner was an incredibly rewarding process, and has played an instrumental role in enabling to interact effectively with individuals from a broad scope of backgrounds.

Global Career Seminar in Japan、Global Internship in Japan共通

- 出願資格：以下の1～3を全て満たす者
  1. 学部2年生以上(大学院生を除く)の者
  2. TOEIC®680点(またはTOEFL ITP®530点、TOEFL iBT®71点、IELTS(アカデミック)5.5点、英検準1級)以上のスコアを有する者
  3. 事前講義を含むプログラム全日程に参加できる者※Global Career Seminar in JapanおよびGlobal Internship in Japan両方への参加は原則認められません。
- 出願書類：以下の1～3の書類をCIECに提出してください。
  1. 参加申込書(国際教育・協力センターウェブサイトでオンライン出願後印刷)
  2. 英語運用能力を証明する書類の原本とそのコピー(確認後原本は返却)
  3. 成績証明書(成績通知書も可)のコピー
- 募集説明会、出願期間、出願手続き  
P.2～3、P.9をご参照ください。



参加学生の声を聞いてみよう！





KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

27

Cross-Cultural College



# 1-3 短期海外インターンシップ (アメリカ)

国際教育・協力センター/教務機構 ハンズオン・ラーニングセンター共催プログラム

【海外プログラム実施期間】  
2017  
**8.3-8.25**  
日本出発日:2017.8.2  
日本到着日:2017.8.27

## 研修内容

アメリカ・ロサンゼルスで実施する約4週間のインターンシッププログラムです。海外で働く日本人と接することで自身のキャリアを具体化することを目的としているため、インターンシップ先は現地の「日系企業」が中心となります。参加者の英語力に応じてインターンシップ先や業務内容を調整しますので、海外でインターンシップをしてみたいけれど、英語力に自信があまりない・・・という方でも挑戦できるプログラムです。

### ●ビジネス研修(4日間)

インターンシップを行う前に、他大学の学生と合同でビジネス研修に参加します。全国の同世代の学生とキャリアについて話し合う貴重な機会です。  
1日目:ダウンタウン視察 3日目:学生フォーラム  
2日目:グローバルリーダーフォーラム 4日目:グローバルキャリアフォーラム



### ●インターンシップ(14日間)

ビジネス研修後、以下の2コースに分かれ、日系企業でインターンシップを行います。

**グローバルキャリアプログラム (GCP)**  
現地日系企業でのインターンシップです。事務所内での電話応対から、社員との同行によるお客様(外資系クライアント含む)訪問まで、ビジネスの前線での幅広い業務が経験できます。

**マーケティング型ビジネス体験プログラム (PBL)**  
ロサンゼルス日系企業が抱える課題を、消費者へのアンケートや競合調査などの実践的なマーケティング調査から解決し、現役のビジネスパーソンに対し事業提案をする実践型プログラムです。

## 募集要項

### ●出願期間

2017年4月24日(月)～26日(水)

### ●出願書類

1. 海外インターンシップ(アメリカ)参加申込書  
出願用紙は国際教育・協力センターウェブサイト上でオンライン出願し、印刷したものを提出すること。(P9参照)。  
2. Personal Profile Form  
オンライン出願ページにある様式をダウンロードし、タイプ記入したものを提出すること(署名以外手書き不可)。なお、参加決定者は、後日データも提出が必要となるので保存しておくこと。

### ●出願先

国際教育・協力センター(CIEC)  
NUC G号館1階 / KSC アカデミックcommons2階

### ●募集人数

30名

### ●出願資格

- ・関西学院大学全学部1～4年生(2017年9月卒業見込者は出願不可)
- ・TOEIC450点以上の英語力があることが望ましい。
- ・事前研修、フォローアップセミナーに参加できること。
- ・外国籍の方は、出願前にCIECまでご相談ください。

### ●成績評価

ライフデザイン科目「海外インターンシップ」(2単位)  
事前研修、フォローアップセミナー、実習先での評価や各種提出物などを基に評価されます。(事前研修、フォローアップセミナーは全て出席必須)

## 出願から出発までのスケジュール

出願	4/24(月)～26(水)
書類選考結果発表	4/27(木)
面接選考	4/29(土)
参加者発表	5/1(月)
申込金振込み、手続き書類提出	5/8(月)
マッチング面談	5/13(土)
参加費残金振込み	6月上旬
第1回事前研修	6/17(土)
第2回事前研修・危機管理研修	7/1(土)
第3回事前研修	7/8(土)
第4回事前研修	7/31(月)
出発	8/2(水)
フォローアップセミナー	9/11(月)



# 1-4 インドネシア交流セミナー 【インドネシア開催】

Japan and Indonesia Intercultural Seminar

【研修期間】  
2017  
**8.14-8.25**  
日本出発日:2017.8.13  
日本帰国日:2017.8.26

## プログラム

1. プログラム  
KGU学生、UKSW学生は複数のグループに分かれ、今年度テーマについて英語でディスカッションし、発表します。
2. 講義  
KGU教員、UKSW教員による今年度テーマに関する講義を受講し、質疑応答、討議を行います。
3. 視察見学・フィールドワーク  
フィールドワークを実施し、日本・インドネシアが抱える諸問題について共同研究・活動を行います。
4. 文化交流  
日本、インドネシアの生活文化、伝統芸能、料理等の紹介を行います。
5. その他  
①5月下旬から8月上旬にかけて本プログラムの準備活動として、数回(土曜日を予定)の事前研修及び合宿を行います。また、この間に学生が主体となってプログラム期間中の発表準備を行います。  
②本プログラム終了後、事後研修を経て報告書を作成します。

## 主なスケジュール(予定)

【事前研修】  
6月3日(土)、7月8日(土)、8月上旬(合宿)  
7月1日(土) 渡航説明会  
【現地プログラム】  
8月13日(日) 日本出発  
8月14日(月)～22日(火) プログラム実施期間(サラティガ市)  
8月23日(水)～25日(金) プログラム実施期間(バリ島)  
8月26日(土) 日本到着  
【事後研修】  
9月末

## その他

\* 出願手続等に関してはP.2～3、9を参照ください。  
面接日程は別途案内します。

インドネシア交流セミナーは、本学とインドネシアの協定校サティア・ワチャナ・キリスト教大学(以下「UKSW」)の間で行われる夏季学生合同セミナーで、両大学間ではEast Asia Student Encounter(EASE)の名称で親しまれています。  
2017年度で40周年を迎えるこのセミナーでは、日本・インドネシアの学生が、テーマに即した共同研究、講義の受講、フィールドワークなどを基に国際的な諸問題について共に学び、相互理解を深めます。このことを通して、平和でよりよい国際社会を創り出す、“Mastery for Service”を体現する世界市民へと成長することを目指します。  
今回はインドネシアでの2週間のプログラムを予定しています。5月からセミナー開催に向けての準備を始め、テーマに即したプレゼンテーションや文化紹介等の内容を参加学生が主体となって計画します。また、セミナー期間中は英語を使用しますので、この準備期間に英語のスキルアップも図ります。  
2週間という短い期間ではありますが、言葉や文化、そして価値観が異なる学生同士が共有する時間は「生涯忘れられない経験であった」との声が多く寄せられています。また、EASEを経験した卒業生の多くが現在も国際的な舞台で活躍しています。

## 募集要項

研修期間 2017年8月14日(月)～8月25日(金)

場所 インドネシア(中部ジャワ) サラティガ市、バリ島

募集人数 12名

参加資格 1. 学部生で本セミナーに全日程参加できる者(2017年9月卒業見込者は参加不可)  
2. 本セミナー準備のための事前研修(6月以降、土曜日2回実施予定)、合宿及び事後研修(1回)に参加できる者

科目・単位数 グローバルスタディーズ科目「インドネシア交流セミナーA」として2単位が与えられます。

使用言語 英語及び日本語

授業担当者 村瀬 義史 総合政策学部准教授

講師 本学教員、UKSW教員

参加費 18万円



## 学生の声

### 西口 崇也 経済学部3年(参加時)

#### ●インドネシア交流セミナーに参加して

私はただ漠然と東南アジア諸国に興味があったため、このプログラムに興味を持ちました。プログラムの事前研修では、Food SharingやCulture Sharingを中心に予想を超えるほどの準備が必要で苦労した思い出があります。しかし、プログラムが始まり実際にインドネシアの学生のパフォーマンスを見た時に、もっと準備に時間を費やすべきだったのではないかと思います。プログラム期間中はどの様にして日本の文化を伝えようか、どの様にして英語で自分の意志を伝えようかなどと考えながら毎日のプログラムを過ごしていました。最後のClosing Ceremonyの時には、それぞれ2週間毎日

共に過ごしてきたことから友情が生まれ、涙する学生が多かったです。プログラムが終わってからは、またインドネシアに行きたい、次はもっと日本の文化を伝えたいといったような気持ちになると同時に、英語や日本文化への学習意欲が高まりました。

#### ●今後プログラムへの参加を目指す後輩へのメッセージ

初めはたったの2週間と思うかもしれませんが。私も実際にそのように思いました。しかし、このインドネシア交流セミナーで過ごす時間はすごく内容が濃く、自分の考え、人生を変える2週間だったと自信を持って言えます。少しでもこのインドネシア交流セミナーに興味を持っていたら、是非参加してみてください。





# 1-5 国連セミナー

United Nations Seminar

## 日本学生支援機構 (JASSO) 奨学金 (10万円) 支給対象プログラムです！

※学内選考を通過した場合に支給されます。

国連セミナーは、ニューヨークの国連本部を訪問し、国際社会の諸課題に対する国際機構や加盟国、非政府組織 (NGO) の役割について学ぶことを目的としています。

本セミナーは、国連、世界銀行などの国際機関、外務省や国際協力機構 (JICA) をはじめとする政府系機関、NGOなどの国際的な舞台で将来活躍することを希望する学生への導入的なプログラムです。セミナーでは、国連職員や国連日本政府代表部職員などの講義やディスカッションを通して、平和構築における国家、国際機関、政府、NGO、市民の役割について理解を深めます。

### 募集要項

研修期間 2017年8月20日 (日) ～8月31日 (木)

場所 アメリカ合衆国ニューヨーク・国際連合本部 他

募集人数 20名

参加資格 1.学部2年生以上及び大学院生 (2017年9月卒業見込者は参加不可)  
2.春学期中に3回実施予定の事前研修及びセミナー全日程に参加できる者  
3.英語で行われる講義等を理解できる英語力を有する者  
4.学業成績が良好である者。

科目・単位数 学部生は、「国連セミナー」として2単位が与えられます。

使用言語 英語及び日本語

授業担当者 井上 一郎 総合政策学部教授

講師 国連職員、国連日本政府代表部職員他

参加費 約42万円

内訳

・航空運賃交通費:約20万円・宿泊費:約17万円

・現地会場費、手数料等:約3万円・その他:約2万円

※現地での食費、交通費は参加費に含まれていません。

※参加費の最終的な精算はセミナー終了後となります。

※為替相場変動などにより追加徴収又は返金する場合があります。

【海外プログラム実施期間】  
2017

8.20-8.31

日本出発日:2017.8.20

日本帰国日:2017.9.1



### プログラム／過去の実施内容 (参考)

- 1.国連本部内ガイド・ツアー
- 2.国連職員による講義及び質疑応答
- 3.国連上級幹部による講義
- 4.国連日本政府代表部訪問
- 5.コロンビア大学院生とのトークセッション



### 主なスケジュール

募集説明会: 4/7 (金)・11 (火)・12 (水)  
出願: 4/19 (水)～4/24 (月)  
書類選考結果発表: 4/28 (金)  
面接選考: 5/20 (土)  
参加者発表: 5/24 (水)  
事前研修: 6/24 (土)、7/15 (土)、8/8 (火)  
海外研修: 8/20 (日)～8/31 (木)

発援助や国際協力の勉強がしたいと思うようになりました。その結果、今は開発や国際協力を学ぶゼミに所属しています。また、「何か途上国のためにできることはないか?」「途上国開発に携わってみたい!」と強く思うようになり、3年生の春学期に国際社会貢献活動に参加し、フィリピンで活動するに至りました。

#### ●参加を考えている人へのメッセージ

国連セミナーは私にたくさんの学びと次へのきっかけを与えてくれました。少しでも国連セミナーや国際的なことに興味がある方、視野を広げたい方、何か動き出してみたい方はぜひ参加してみてください!



# 1-6 海外フィールドワーク (マレーシア)

【海外プログラム実施期間】  
2017

8.1-8.10

日本出発日:2017.8.1

日本帰国日:2017.8.11

### 募集要項

実施期間 2017年8月1日 (火)～8月10日 (木)の10日間 (予定)

開催地 マレーシア、ペラ州

募集人数 15名

参加資格 1.学部生で本セミナーに全日程参加できる者 (2017年9月卒業見込者は参加不可)  
2.本セミナー準備のために開かれる事前研修に全日程参加できる者  
3.英語で行われる講演などを理解できる語学力を有する者  
※英語能力を証明できる書類を提出できる者が望ましい  
4.8月3日 (木)、4日 (金)に実施予定の春学期追試験はプログラム日程と重複するため受験できないことを了承する者

科目・単位数 「海外フィールドワーク1」として2単位が与えられます。

授業担当者 中村 明 国際教育・協力センター教授

越野 圭美 国際教育・協力センター准教授

参加費 約20万円

※為替レートなどにより変動する場合があります。

※参加費の最終的な精算はセミナー終了後となります。

※原則キャンセルは認めません。やむを得ない事情で参加を取り止める場合もキャンセル料が発生します。

### 主なスケジュール

【事前研修 (計4回)】※第2回は合宿を予定しています。  
6月3日 (土)、6月17日 (土)、6月18日 (日)、7月8日 (土)、7月29日 (土)  
【現地プログラム】  
8月1日 (火) マレーシアへ出発  
8月2日 (水)～9日 (水) ペラ州でのフィールドワーク講義  
8月10日 (木) プレゼンテーション等、プログラムのまとめ  
現地発、翌日関西空港着  
●募集説明会、出願手続きに関しては、P.2～3、P.9を参照してください。  
●記載の渡航日程及び内容は今後の国際情勢および受入先機関の状況によっては変更あるいは中止となる場合があります。  
●今後の調整により、プログラム内容には変更が生じる場合があります。

### 学生の声

#### 中澤 樹

総合政策学部2年 (参加時)

#### ●なぜプログラムに参加しようと思ったのですか?

この海外フィールドワークに参加を志望した動機は、1年生の秋学期に「グローバルゼミ」と「国際情報分析」を履修したことです。これらの授業では、東南アジアの開発途上国に対して、技術支援や経済支援をいかに行うべきか学習し、プレゼンテーションを行いました。この時、私は満足のいくプレゼンテーションができず、自分の実力不足と海外経験不足を痛感し、悔しい思いをしました。そこで、開発途上国へと足を運び、現地の状況を実際に見ることが今の私にとって必要だと感じ、海外フィールドワークへの出願を決心しました。

#### ●プログラム期間中に印象的だった出来事

多くの印象的な出来事があります。マレーシアでは、「掃除の習慣がない」「料理は一つのお皿に盛り付けられている」など、日本との違いがたくさんあり、それぞれに理由や文化的背景があります。現地の方々と直接話すことで、その理由を知ることができ、大変面白く興味深い体験ができました。もしかしたら、まだ私たちが見逃している日本との違いがあるかもしれません。今後参加されるみなさんには、ぜひ文化の比較を行いながら、現地のフィールドワークに励んでもらいたいと思います。

#### ●参加して得たものは?

「自主性」と「国際性」です。とても抽象的ですが、この二つの力

### プログラム

多文化・多民族国家における人々の生活の在り方への調査を行います。

講義 Universiti Tunku Abdul Rahman (UTAR) にて講義

調査 農家、日系企業、保健所、学校、孤児院等を訪問予定

交流 UTARの学生との交流と現地農村ホームステイ体験

ワークショップ・プレゼンテーション 学びの総括、グループワーク



が試される機会でした。「自主性」では、フィールドワークにおいて、現地の方にインタビューをしますが、その時、どのような質問をしたら相手の本音を聞きだせるのだろうかと考えながら、インタビューを行いました。「国際性」では、日本との違いをどれだけ受け入れ、柔軟に活動できるかを問われていたと思います。現地では思わぬトラブルも起きます。その際の対応力などが、今後、海外で活動するにあたって必要だと強く感じました。

#### ●これから参加を考えている人へのアドバイス・メッセージ

少しでも「開発途上国に行ってみよう」と思ったことがある方なら、ぜひ参加してほしいプログラムです。「百聞は一見に如かず」と言うように、その国の空気を吸い自分の目で見て何かを発見し、身に付けることは机の上だけでは決してできない貴重な体験です。さらに、初めて海外に行く人や、国際ボランティア参加に向けて努力をしている人など、学部や学年を問わず様々な関心学生と一緒にマレーシアへ行くことができます。みなさんの夏休みとこれからの大学生活において、大きな影響を与えること間違いありません!



## 2017年度春季 (2月～3月) 予告

※2017年9月発行『国際教育・協力プログラム募集要項Volume II』に掲載予定

実施国:ベトナム 募集時期:2017年10月 募集人数:15名 参加費:20万円程度



## 2-1 英語中期留学(秋学期)

マウント・アリソン大学 【留学期間】2017 8.28-12.10 トロント大学 【留学期間】2017 9.2-12.19

クイーンズ大学 【留学期間】2017 8.7-12.10 ゲルフ大学 【留学期間】2017 8.25-12.18

ネブラスカ大学オマハ校 【留学期間】2017 8.15-12.10

**【プログラム詳細】**本プログラムは2017年度秋学期出発の追加募集に当たるため、プログラム詳細については国際教育・協力プログラム募集要項2016Volume II (P.23～35)を参照ください。2018年度参加者の募集については、本冊子(P.34～35)をご参照ください。各プログラム詳細については、秋学期発行予定の国際教育・協力プログラム募集要項2017Volume IIにて発表します。

### 出願資格

- 第1学年度必修の英語の単位をすべて修得していること。
- 事前・事後研修会、帰国報告会に必ず参加できること。
- 心身ともに健康であること。
- 原則として渡航時に学部2年生(大学院生は申込み不可)であること。  
ただし、定員に満たない大学については3・4年生も参加可能。
- TOEFL ITP®420～530点(iBTの場合は36～71点)を有すること。  
※2015年4月以降受験分のスコアであること。  
※大学により対象スコアが異なる(下記表を参照)。  
※2017年度英語中期留学プログラムの参加決定者は出願できません。

### 出願手続き

**出 願 期 間** 2017年4月13日(木)～4月17日(月)

- 出 願 書 類**
- 「中期留学参加申込書」  
※国際教育・協力センターウェブサイトよりオンライン出願後、紙面にて提出(P.9を参照)
  - TOEFL®の点数表原本とそのコピー(2015年4月以降受験分)

**出 願 場 所** 国際教育・協力センター  
**NUC** G号館1階 **KSC** アカデミックコモンズ2階

**参加者発表** 2017年4月21日(金) 9:00

**参加者説明会** 2017年4月21日(金) 12:45～13:25(お昼休み)  
※実施教室は出願時にお知らせします。

### 決定後のスケジュール

- 参加手続き**：①申込金(20万円)の納入 ※納入期日:2017年4月下旬  
②参加手続き書類の提出  
③各大学別手続きの完了

**事前研修**：

説明会	日 時
第1回事前研修会	5月20日(土)
第2回事前研修会	6月17日(土)
第3回事前研修会	7月8日(土)または8月8日(火)
危機管理研修	7月1日(土)

[注意]事前研修は全員参加必須です。私的な理由での欠席は認められません。

### 中期留学奨学金

申請者全員に20万円の奨学金を支給します。  
支給申請方法の詳細等は参加決定者に案内します。国際学部の参加者には原則として、中期留学奨学金に代わり、国際学部留学奨励金が適用されますが、受給できるのは在学中1回に限ります(過去に他プログラムで受給済の場合は中期留学奨学金(20万円)が適用されます)。



## 2-2 中期海外インターンシップ(オーストラリア)

【海外プログラム実施期間】  
2017年秋学期/14週間

9.4-12.8

日本出発日:2017.9.1  
日本到着日:2017.12.10

### 中期海外インターンシッププログラムとは

グローバル化が進む現代の経済社会では、海外との対外交渉やビジネス実務に即応できる高い英語コミュニケーション力を持ちつつ、異なる文化や価値観を認め合い共生することができる人材が求められています。そのような人材を育成すべく、ビジネス英語を中心とした大学での英語学習に加え、現地企業での実践的なインターンシップ体験が組み込まれた1学期間の本プログラムをオーストラリアのシドニーにあるニュー・サウス・ウェールズ大学で実施しています。

**【プログラム詳細】**本プログラムは2017年度秋学期出発の追加募集に当たるため、プログラム詳細については国際教育・協力プログラム募集要項2016Volume II (P.46～47)を参照ください。2018年度参加者の募集要項は秋学期発行予定の国際教育・協力プログラム募集要項2017Volume IIにて発表します。

### 出願資格

- 留学時に学部2年生以上であること。
- 第1学年度必修の英語科目の単位をすべて修得、または修得見込みの者(2015年度秋学期終了時点で未修得の場合は、参加取り消しとなる)。
- 以下のいずれかの英語条件を満たすこと。TOEFL ITP®510点以上、TOEFL iBT®64点以上、IELTS5.5点(overall)以上、TOEIC®620点以上。  
※2015年4月以降受験分を有効とする。  
※TOEIC®スコア利用者のみ出願後に現地大学による15分程度の電話面接選考あり。
- 心身ともに健康である者。
- 全ての事前研修会、渡航説明会に参加できること。

### 参加費

総額:約115万円(1オーストラリアドル=90円換算)  
参加費は授業料等改定、為替レート、旅費等を勘案して6月頃に決定し発表します。  
※本プログラム期間中であっても、本学学費の納入は必要です。  
※オーストラリア渡航ビザ取得に伴い、ビザ申請費用が別途発生します。

### 中期留学奨学金

申請者全員に20万円の奨学金を支給します。支給申請方法の詳細などは参加決定者に案内します。国際学部の参加者には原則として、中期留学奨学金に代わり、国際学部留学奨励金が適用されますが受給できるのは在学中1回に限ります(過去に他プログラムで受給済みの場合は中期留学奨学金(20万円)が適用されます)。

### 科目・単位数

#### 1. ビジネス英語研修

Term	科目名	単位数	授業期間	開講時期
1	英語科目(言語教育科目):英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学Ⅰ	4	5週間	9月4日(月)～10月6日(金)

[注意]※但し、国際学部生については、「英語短期留学NSW(BIP)」4単位となります。  
※他国の学生と共に受講します。  
※英語科目の取り扱いについては、所属学部事務室に問い合わせてください(学部により異なる)。

#### 2. インターンシップ

Term	科目名	単位数	授業期間	開講時期
2	グローバルスタディーズ科目「インターンシップ準備演習(オーストラリア)」	4	3週間	10月9日(月)～10月27日(金)
3	海外社会体験実習グローバルスタディーズ科目「海外社会体験実習(オーストラリア)」	6	6週間	10月30日(月)～12月8日(金)

[注意]※原則として中期海外インターンシップ参加者の留学期間の履修は上記科目のみとなります。履修上の取り扱いについては、学部により異なりますので、所属学部事務室で必ず確認してください。  
※科目名称は変更される場合があります。  
※Term2は本学学生のみに提供される特別コースです。



### 募集人数

20名(最少催行人数10名)

### 滞在形式

公共交通機関を利用して1時間圏内の家庭にホームステイ。平日は朝、夕の2食付。土日祝日は3食付。寝室は原則1部屋ですが、日本人を含めた他の学生と同じ家庭にステイする場合もあります。

### 出願方法

**出 願 期 間**：2017年4月13日(木)～4月17日(月)  
**出 願 書 類**：1.「中期海外インターンシッププログラム参加申込書」  
※オンライン出願および紙面での提出(P.9を参照)。  
2.上記記載の英語能力試験のスコア原本とそのコピー  
**出 願 場 所**：国際教育・協力センター  
(西宮上ヶ原キャンパスG号館1階、神戸三田キャンパスアカデミックコモンズ2階)  
**参加者発表**：2017年4月21日(金)(同日昼休みに手続説明会を実施します。)

### 参加決定後のスケジュール

説明会	日 時
第1回事前研修	5月20日(土)
第2回事前研修	6月17日(土)
危機管理研修会	7月1日(土)
第3回事前研修	8月8日(火)

[注意]事前研修は全員参加必須です。私的な理由での欠席は認められません。

### 出願に関する注意

- 書類選考を行った上で、定員数を上回った場合は抽選により参加者を決定します。申し込む際に、必ずプログラムに参加するという強い意志が要求されます。参加者決定後、安易に参加を取りやめることは許されないことを理解した上で出願してください。  
※VISAの取得は参加者個人の責任のもと、各自で行っていただきます。万一、VISAが取得出来なかった場合はプログラムに参加することは出来ません。  
※出席状況不良、課題不提出等で不合格になったTermがあった場合は、引き続き残りのTermの授業科目の履修はできません。この場合、直ちに自費で帰国しなければなりません。
- 本プログラムはワーキングホリデー(以降「WH」)ビザを利用してオーストラリアへ渡航します。WHビザ制度を利用した同国への渡航は1人1回に限られるため、過去に同制度でのオーストラリア渡航歴がある方や、同国とWH協定を締結していない国の国籍所持者等、WH制度を利用できない方は出願前に必ず国際教育・協力センターへ相談して下さい(オーストラリアとのWH協定締結国:日本、韓国、台湾、他)。制度の詳細は下記ウェブサイトを確認してください。外務省ウェブサイト: [http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/working\\_h.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/working_h.html)

※本プログラム参加中も本学への学費の納入が必要です。 ※食事の記載がない大学については、参加費に食事代は含まれません。






## 2-3 2018年度中期留学（英語中期留学・中期海外インターンシップ） フランス語中期留学



海外協定校の附属機関が実施する外国語集中学習と外国での実生活を組み合わせた約4か月のプログラムです。  
外国語の上達だけでなく、国際人としての感覚を大いに育むことができます。

### 2018年度中期留学プログラム一覧

\*2018年度中期留学の募集詳細は、2017年9月頃発行予定の「国際教育・協力プログラム募集要項VolumeⅡ」に掲載します。

「英語中期留学<アカデミック>」 <span>■ReadingやWriting等の言語運用能力の向上に主眼を置いたプログラムで、プログラム終了時には、TOEFL ITP®の点数で30～50点程度のレベルアップを目標としています。</span>							
国名	大学名	対象英語スコア	留学期	募集人数	参加費 (目安)※1	滞在方式 ／食事※2	プログラムの特徴
イギリス 	ケンブリッジ大学		春学期 4月中旬～7月下旬	30名	約170万円	ホームステイ (平日) 朝・夕 (土・日・祝) 朝・昼・夕	■授業：①出発前に8週間のオンライン事前学習コースを受講。 ②関学生用に開講する特別プログラム。③総合的な英語以外に国際社会科学分野について学ぶ。 ■環境：ロンドンから電車で約1時間の大学を中心とした街。
カナダ 	クイーンズ大学	TOEFL ITP® 450～530点 または TOEFL iBT® 45～71点	春学期 4月中旬～8月中旬	25名	約127万円	ホームステイ	■授業：①他国の学生と共に受講。②最初の3週間はアカデミックイングリッシュの準備コースを受講。4週目より英語圏の大学講義を受講するために求められるアカデミックな英語を学ぶ。 ■環境：大学のあるキングストンはトロントから電車で約3時間。教室内外共に英語以外の言語使用を禁止するEnglish Only Ruleがある。
			秋学期 8月上旬～12月中旬	25名	約132万円	朝・昼・夕	
			春学期 4月下旬～8月下旬	30名	約108万円	ホームステイ	
			秋学期 8月下旬～12月中旬	30名	約113万円	朝・昼・夕	
	トロント大学		春学期 4月上旬～7月中旬	30名	約120万円	ホームステイ	■授業：①他国の学生と共に受講(一部関学生のみ)。②読む力、書く力、話す力を培う内容で構成され、放課後には英語力を向上させるための様々なアクティビティに参加可能。 ■環境：多民族多文化都市であるトロントの家庭にホームステイ。キャンパスは市内の中心にある。
			秋学期 9月上旬～12月中旬	30名	約125万円	朝・夕	
アメリカ 	マウント・アリソン大学	TOEFL ITP® 420～500点 または TOEFL iBT® 36～61点	春学期 5月上旬～8月中旬	40名	約120万円	学生寮 (春学期) 個室 (秋学期) 関学生の相部屋	■授業：①関学生用に開講する特別プログラム(一部他大学の参加有)。②スピーキング、リスニング、ライティングなど総合的に英語を学ぶ。③最後の2週間は現地でボランティア活動を通じ、学んだ英語を实践。 ■環境：大学のあるサックビルは典型的な学生町で勉強に適した静かな環境。キャンパス内の学生寮に滞在。学生ごとに現地学生がConversation Partnerとして1対1でサポート。
			秋学期 8月下旬～12月上旬	50名	約125万円	朝・昼・夕	
			春学期 5月上旬～8月中旬	30名	約103万円	学生寮	■授業：①他国の学生と共に受講。②6段階にレベル分けされ、読解、会話、文法、ライティング等を曜日ごとに学ぶ。ロールプレイやディスカッションなどを中心とした参加型の授業が多い。 ■環境：大学のあるオマハは、ネブラスカ州最大の都市。学内の寮を現地学生または関学生同士の3～4人(個室は個室)でルームシェア。
			秋学期 8月中旬～12月中旬	30名	約107万円		

※1 参加費は前年度と同プログラムの実績です。 ※2 食事の記載がない大学については、参加費に食事は含まれません。

「英語中期留学<実践応用>」 <span>■総合的な英語4技能の向上に加え、インターンシップやコミュニケーションスキル向上に主眼を置いたコース等、それぞれの目的に合わせて実践的に応用できるスキルを学びます。</span>							
国名	大学名	対象英語スコア	留学期	募集人数	参加費 (目安)※1	滞在方式 ／食事※2	プログラムの特徴
オーストラリア 	ニュー・サウス・ウェールズ大学	以下のいずれか ①TOEFL ITP® 450点以上 または TOEFL iBT® 45点以上	春学期 4月中旬～7月下旬	15名	約122万円	ホームステイ (平日) 朝・夕 (土・日・祝) 朝・昼・夕	■授業：①他国の学生と共に受講。②総合的な英語学習を基本とし、プレシメントテストの結果によりEssential English又はCareer Englishを受講可能。 ■環境：多文化都市でシドニー市内へのアクセスも良い家庭に滞在。南半球は季節が逆となり、4～8月は秋～冬。
	クイーンズランド大学		秋学期 8月下旬～12月下旬	30名	約110万円	ホームステイ (平日) 朝・夕 (土・日・祝) 朝・昼・夕	
イギリス 	オックスフォード大学	②TOEIC®550点以上 ※3	秋学期 10月中旬～3月中旬	8名	約300万円	学生寮 平日のみ 1日2食付	■授業：①日本人学生用に開講する特別プログラムを他大学の学生と共に受講。②総合的な英語以外にビジネス英語や、英国文化・歴史・政治・文学等について学ぶ。 ■環境：ロンドンから電車で約1時間の大学を中心とした街。観光地としても非常に有名なため1年を通じて大変賑わっている。

※1 参加費は前年度と同プログラムの実績です。 ※2 食事の記載がない大学については、参加費に食事は含まれません。 ※3 TOEIC®スコア提出者は、留学手続き書類として、出発までにTOEFL®スコアの提出が必要。

「中期海外インターンシップ」							
国名	大学名	対象英語スコア	留学期	募集人数	参加費 (目安)※1	滞在方式 ／食事※2	プログラムの特徴
オーストラリア 	ニュー・サウス・ウェールズ大学	以下のいずれか ①TOEFL ITP®510点以上またはTOEFL iBT®64点以上 ②TOEIC®620点以上 ③IELTS5.5(Overall)以上 ※4	秋学期 9月上旬～12月上旬	20名	約115万円	ホームステイ (平日) 朝・夕 (土・日・祝) 朝・昼・夕	■授業：①他国の学生と共にビジネス・イングリッシュのコースを受講し、実践的な英語を身に着ける。②関学生用に特別に設けられたインターンシップ準備演習を受講する。ディスカッションやプレゼンテーションを中心とした授業形態でビジネスに役立つ実用英語を学び、スピーキング力を強化する。③現地の民間企業やNGO団体にてインターンシップに参加。 ■環境：多文化都市でシドニー市内へのアクセスも良い家庭に滞在。南半球は季節が逆となり、9～12月は春～夏。また、ニュー・サウス・ウェールズ大学は留学生が多く、国際的な雰囲気にも溢れる。
			秋学期 8月上旬～12月上旬	30名	約80万円	学生寮 朝・昼・夕 ※インターンシップ期間を除く	
マレーシア 	マラヤ大学	上記「英語中期留学<実践応用>」のスコアを参照 ※3	秋学期 8月上旬～12月上旬	30名	約80万円	学生寮	■授業：①関学生用に特別に設けられたプログラム(一部他大学の参加有)。②総合的な英語力の他に、マレーシア文化についても学ぶ。③最後の1か月は現地オフィスの提供する派遣先企業にてインターンシップに参加。 ■環境：キャンパス近郊の学生寮に滞在。大学から市の中心部まで公共交通機関で30分程度で訪れることができる。

※1 参加費は前年度と同プログラムの実績です。 ※2 食事の記載がない大学については、参加費に食事は含まれません。 ※3 TOEIC®スコア提出者は、留学手続き書類として、出発までにTOEFL®スコアの提出が必要。  
※4 TOEIC®スコア提出者は、出発後に現地大学による15分程度の電話面接選考があります。

「フランス語中期留学」							
国名	大学名	対象仏語スコア	留学期	募集人数	参加費 (目安)※1	滞在方式 ／食事※2	プログラムの特徴
フランス 	リヨン第2大学	なし (選考試験)	秋学期	20名	約120万円	学外の寮	■期間：総合的なフランス語を12週間学ぶ。 ■授業：プレシメントテストによってレベル別に分けられ、1クラス12～14人の少人数制クラスで他国の学生と共に学ぶ。 ■環境：フランス第2の都市リヨンの中心にキャンパスがあり、学外の寮に滞在しながら歴史と文化に触れることができる。

※1 参加費は前年度と同プログラムの実績です。 ※2 食事の記載がない大学については、参加費に食事は含まれません。

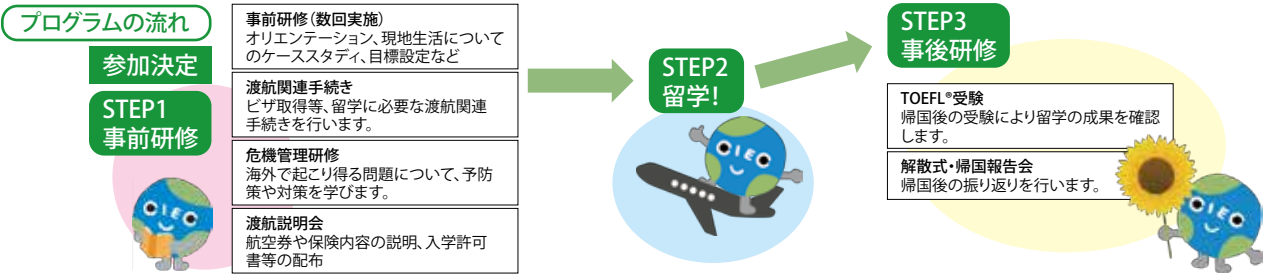
## 2018年度英語中期留学・中期海外インターンシップ

\*詳細は2017年9月発行予定の「国際教育・協力プログラム募集要項VolumeⅡ」に掲載します。

出願手続き <span>※2017年2月時点の情報です。</span>					
■参加資格・条件			■出願書類		
1. 第1学年度必修の英語の単位をすべて修得していること、または修得見込みであること(2017年度秋学期終了時点ですべて修得できなかった場合は、参加決定が取り消されます)。 2. 事前・事後研修会、帰国報告会に必ず参加できること。 3. 心身ともに健康であること。 4. <アカデミック> 原則として渡航時に学部2年生(申込時は1年生、大学院生は申込み不可)であること。ただし2年生だけで定員に満たない場合は、3・4年生も参加可能。<実践応用・中期海外インターンシップ> 留学時に学部2年生以上であること(大学院生は申込み不可)。 5. 以下のいずれかの英語要件を満たしていること。			1. 「中期留学参加申込書」※ 2. 2016年4月以降受験分の英語スコア原本とそのコピー(原本は確認後、返却します)。 ※参加申込書の作成方法についてはP.4を参照してください。		
■出願期間			■参加費		
<春学期実施プログラム> 11月下旬(予定) <秋学期実施プログラム> 1月上旬(予定)			●参加費は為替レートの変動により調整されることがあります。 ●参加費には現地授業料、滞在費(寮またはホームステイ)、往復渡航費、保険費用等が含まれます。 ●参加費内訳については、2017年9月発行予定の「国際教育・協力プログラム募集要項VolumeⅡ」に記載します。 ●中期留学参加期間中であっても、本学学費の納入が必要です。		
タイプ	TOEFL ITP®	TOEFL iBT®	TOEIC®	IELTS	注意点
アカデミック	420～530点	36～71点	不可	不可	派遣先により対象スコアが異なる。
実践応用・中期海外インターンシップ(マレーシア)	450点以上	45点以上	550点以上	不可	TOEIC®スコア提出者は、留学手続き書類として出発までにTOEFL®を受験し、スコアの提出が必要です。
中期海外インターンシップ(オーストラリア)	510点以上	64点以上	620点以上	5.5点(overall)以上	TOEIC®スコア提出者のみ出発後に現地大学による15分程度の電話面接選考あり。

### ■奨学金

- 中期留学奨学金  
申請者全員に20万円の奨学金を支給します。  
国際学部の参加者には原則として、中期留学奨学金に代わり、国際学部留学奨励金が適用されますが、受給できるのは在学中1回に限りです(過去に他プログラムで受給済の場合は中期留学奨学金(20万円)が適用されます)。
- 日本学生支援機構(JASSO)第2種奨学金  
留学に伴う貸与奨学金に申請可能。詳細は学生課事務室に問い合わせてください。



### 学生の声

竹内 俊 貴 文芸部2年(参加時) プログラム名:英語中期留学  
国名:カナダ 大学名:クイーンズ大学

- 留学の目的  
私は将来、英語を使った仕事をしたいと考え、英語力を向上させるために中期留学をしよう決めました。また英語の勉強以外にも新たな物事に対する考え方や知識を得ようと思ったのも留学を志すきっかけでした。そしてホームステイにも大変興味がありました。
- 現地での印象的な出来事  
私にとって最も印象的だった出来事は友達が増えたことです。クイーンズ大学には、関西学院大学の他に、主にアジアやほかの国々、日本の他大学から来た学生がいました。彼らと過ごしていくうちに、意見交換をする場が増え、友好関係を持つようになりました。特に関西学院大学から一緒に来た参加者とは初めての3週間の英語学習プログラムがあったせいか、仲良くなることができました。
- 留学で得たもの  
私が留学で得たものとして、二つあります。一つ目は、学習する上で環境はとても重要であるということです。日本では滅多に英語を使う機会はありませんが、カナダでは常に英語を使います。それが英語を勉強するモチベーションになったため、今回の留学は英語学習

藤川 真 優 国際学部3年(参加時) プログラム名:中期海外インターンシップ  
国名:オーストラリア 大学名:ニュー・サウス・ウェールズ大学

- 留学の目的  
以前に長期留学や海外プログラムへの参加を経験し基礎的な英語力はついていたので、英語を学ぶだけでなく英語で何かを学びたいと思っていたからです。特にコミュニケーション能力を伸ばして、日常会話だけでなくビジネスの場でも英語を駆使できるようになりたいと考えていました。また他の留学では経験できないインターンシップを通して、自分の将来のキャリアについて考えるきっかけにしたかったからです。
- 現地での印象的な出来事  
大学の授業でもインターンシップの職場でも色々なバックグラウンドの人達と関わることでできたことは貴重でした。大学でできた友達の誕生日パーティーに行ったり、ホストファミリーの友達と一緒にご飯を食べに行ったりして、色々な話をする中で文化や価値観の違いを楽しむことができました。
- 留学で得たもの  
英語を使つてのコミュニケーション能力が伸びました。以前より英語を使って間違えることに対する恐怖心が無くなり自信をもって英語でコミュニケーションを取ることができるようになりました。またどんなビジネスにも必要な、相手の要求を

に関して大変良いものでした。もう一つは、知ったふりをしないことが英語力を向上させる上でとても重要だと気がつきました。分からないことを分からないと言うことがイキリと自分の意見を言えるようになることに繋がるのだと感じました。

●これから留学を考えている人へのアドバイス・メッセージ  
留学を通して何度か挫折を味わうと思いますが、それを克服することが自分を成長させると思えます。また留学で出会った人たちには親切に接してください。あなたが困った時には必ずその人たちが助けてくれます。最後に、貴重な時間を過ごせるよう頑張ってください。

現地でのスケジュール(例)			
【平日】 7:00 起床、朝食 8:30～11:20 授業 11:20～13:00 昼食 13:00～15:50 授業 16:30～ 自由時間、勉強など		【休日】 8:00 起床、朝食 9:00～11:00 勉強 11:00～18:00 買い物、散歩、友達と遊ぶなど 18:00～20:00 夕食、掃除、入浴 20:00～ 勉強など	

的確に読み取り、それに効率よく、正確に対応する力も身につきました。さらに、全く新しい環境や慣れない仕事内容にも早く適応する力もつきました。そういったビジネススキルは、実際に経験を積んでしか身につけられないものなので本当に貴重だと思います。

●これから留学を考えている人へのアドバイス・メッセージ  
大学での授業では、ディスカッションはもちろん、他にも機会があれば自分から積極的に発言することが本当に大事です。はっきり自分の意見を伝えられれば、英語が間違っていないで大丈夫なので、怖がらずに発言してみてください。インターンシップ中は慣れない状況で失敗したりわからないことが多く落ち込むこともあるかもしれませんが、でも焦らず、1日1日何かを吸収しようというポジティブな姿勢で取り組みれば、必ず仕事をこなせるようになります。どんな状況でも前向きにいれば何かを得られると思います!

現地でのスケジュール(例)			
【平日】 (大学講義受講期間) 6:50 起床、朝食 9:00～11:00 授業 14:00～18:00 宿題、友達と観光、お茶(インターンシップ期間) 7:00 起床、朝食 9:00～17:00 インターンシップ		【休日】 (大学講義受講期間) 8:00 起床、朝食 日中は観光、大学の課題 (インターンシップ期間) 観光、ホストファミリーと外食など	



# 2018年度フランス語中期留学

## Programme Semestriel de Cours Intensifs en France

フランス語中期留学では、リヨン第2大学のフランス語教育部門であるCIEF (Centre International d'Études Françaises) で、外国人対象のフランス語の集中授業を他国の学生と共に受講します。

少人数制・能力別 (初級から上級まで) のクラス編成により、自分の実力に応じたきめ細やかな指導が受けられます。文法や語彙は、実際の発話によって習得することを目指しています。CIEFでは、歴史や文化、芸術、政治、経済といった教養科目も用意されています。また、自分で調べたことをフランス語で発表する機会もあります。これらの機会を通じて、参加者の多くがフランス語能力を飛躍的に向上させています。



### プログラムの特徴・授業

CIEFではアジアや北米、ヨーロッパなど世界各国からの留学生がフランス語を学んでいます。オリエンテーション期間に実施されるプレイメントテストにより、入門～上級までの6レベルに分けられ、同じレベルでもクラスは複数あります。大学が企画する交流イベントやフィールドトリップに参加することで、フランス人学生や別のクラスの留学生との出会いがあります。

### 科目・単位数

【必修フランス語科目】  
Term 1: 「フランス語中期留学 I」4単位 (95時間)  
Term 2: 「フランス語中期留学 II」4単位 (95時間)  
Term 3: 「フランス語中期留学 III」4単位 (90時間)  
1. フランス語科目は計3科目 (12単位) 履修します。  
2. 本学学生はフランス語科目を必ず履修しなければなりません。「フランス語中期留学 I または II」(4単位) が、出席状況不良、課題不提出等で不合格になった場合は、引き続き履修はできません。この場合、直ちに自費で帰国しなければなりません。  
3. フランス語科目の各学部での取り扱いについては、各所属学部事務室に問合せください。全学部とも単位が認定されますが、取り扱いが学部によって異なります。

### 募集要項 <2018年度秋学期派遣>

※2018年度の募集詳細は、2017年9月発行予定の『国際教育・協力プログラム募集要項Volume II』に掲載します。

**研修期間** 秋学期/9月初旬～12月下旬 (予定)  
(プログラム実施期間が1月までとなる可能性もあります)

**参加資格・条件**

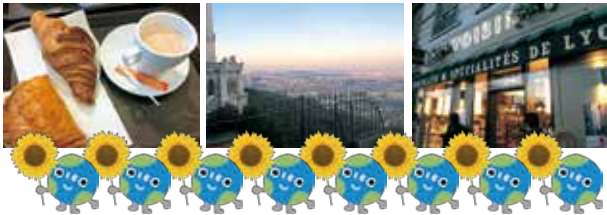
- 原則として学部2年生 (申込時は原則1年生、大学院生は申込不可)。  
2年生だけで定員に満たない場合のみ、3・4年生の参加も可能とします。
- (文芸学部フランス文学フランス語学専修生)  
第1学年度必修科目 (フランス語) 4単位をすべて修得している者、または修得見込みの者  
(文芸学部フランス文学フランス語学専修生以外)  
第1学年度必修科目 (フランス語) 4単位 (フランス語インテンシブを履修している場合は5単位) をすべて修得している者、または修得見込みの者  
(文芸部生以外)  
第1学年度選択必修科目 (フランス語)、もしくは総合政策学部、理工学部開講の選択科目のフランス語4単位をすべて修得している者または修得見込みの者  
(全学部生共通)  
申込時は修得見込みでも可。ただし2016年度秋学期終了時点ですべて修得できなかった場合は参加決定が取り消されます。
- 心身ともに健康である者。
- 事前研修会に必ず参加できる者。

※留学前までは、実用フランス語技能検定試験 (仏検) 3級レベル以上であることが望ましい。

**募集人数** 20名

**参加費 (概算)** 総額 約120万円 (1ユーロ＝120円で換算)  
参加費は、現地プログラム費 (授業料等)、往復渡航旅費、宿舍費等を含んだ金額になります。宿舍費は民間寮に宿泊するための費用です。食費は含みません。また、プログラム期間が1月までとなった場合、参加費は増額となる予定です。プログラム終了後、参加費を精算し、残金を払い戻します。また、為替レート等により追加徴収する場合もあります。  
※参加費は授業料改定、為替レート、旅費等を勘案して2018年6月頃に決定し発表します。  
※本プログラム参加中でも本学への学費の納入が必要です。

**中期留学奨学金** 申請者全員に20万円の奨学金を支給します。国際学部の参加者には原則として、中期留学奨学金に代わり、国際学部留学奨励金が適用されますが、受給できるのは在学中1回に限りです (過去に他プログラムで受給済の場合は中期留学奨学金 (20万円) が適用されます)。



### 学生の声

#### 水野里香 文芸部2年 (参加時)

●**留学の目的**  
高校生の頃から好きであったフランス語学習を現地でも続けたかったからです。日本で日本人の先生から日本語で学ぶのではなく、フランスでネイティブの先生からフランス語で学びたいという気持ちが大きかったです。また、街の様子や生活スタイルなど、日本とは全く違った文化の中で過ごすといった貴重な体験をしたいと思い、参加することになりました。

●**現地での印象的な出来事**  
国立応用科学院 (INSA) での日本語授業のアシスタントをしたことが特に印象に残っています。フランス語を使って日本語の授業をすることになった慣れない空間の中で自分自身もそこに参加させてもらいました。普段日本人が当たり前に行っていること一つひとつに対して、外国人の視点からみた、なぜかという点について考えさせられ、またそれにフランス語で答えていくといった貴重な経験をすることができました。

●**留学で得たもの**  
学校のクラスは10人強という少人数で、授業中にクラスメートと話したりグループワークをしたりといった機会がとても多かったです。元々自分の意見を口にするのが苦手だった私にとって繰り返しそういった練習を他言語でするということは簡単なことではなく、言いた

いことが言えないというもどかしさを味わったとともに、伝えることのできた時の達成感は忘れられないものとなりました。

●**これから留学を考えている人へのアドバイス・メッセージ**  
普段とは全く違う環境で何ヵ月か過ごしていく中で、初めて経験すること、驚くこと、恥ずかしい思いをすることなど、沢山のことに会おうと思います。大変なこともあるかもしれませんが、そういったことを経験できるチャンスはもう二度とこないかもしれない、貴重な機会だと思うのです。なので、そのチャンスを逃さないよう、後悔しない留学生活を送ってください。



現地でのスケジュール (例)		
【平日】 7:00～7:30 8:00～12:00 12:00～14:00 14:00～17:00 18:00～20:00 22:00	起床、朝食 授業 昼食、友人と買い物等 図書館で勉強 INSAで日本語授業の手伝い 就寝	【休日】 9:00～9:30 10:00～12:00 14:00～16:00 18:00～

# 3-1 交換留学

関西学院大学は、世界的視野を持ち、確立した自己と他者への思いやりを併せ持つ、“Mastery for Service”を体現できる世界市民の育成を目指しています。1980年に初めて米国の南メソジスト大学へ交換留学生を10人派遣して以来、2017年2月現在で、海外協定校は約200校 (学生交換協定は約140校) まで増加しました。交換留学の派遣者数も年間約170名となり、多くの学生が参加できるプログラムになりました。その交換留学経験者の多くが、日本だけでなく世界で活躍しています。

大学時代の1学期間または1年間、海外で専門科目の勉学に打ち込み、多種多様な価値観を持つ世界各国の友人達と交流を深めることができる交換留学プログラムに果敢にチャレンジし、世界市民に向けて大きな一歩を踏み出してください。

### 交換留学とは

交換留学は、本学に在籍しながら協定大学へ1学期間または1年間留学できる制度です。その目的は大きく分けて2つあり、①専門知識や興味ある学問に関する知識を海外の大学で深めること、②異なる文化や価値観に接し、その社会や人々の理解を深めると同時に自己や自国を再認識することです。外国語能力の向上が主な目的ではありません。大学からの推薦に基づいて協定大学に留学する交換留学では、各種手続きはオリエンテーションなどを通して国際教育・協力センターがサポートします。募集は年に2回 (5月と9月) 実施します。交換留学が可能な協定校については今後も増えますので、国際教育・協力センターが発信する情報 (国際教育・協力センターウェブサイト／メールマガジン“GO GLOBAL!”／掲示板) をこまめにチェックしてください。

### 交換留学の特徴

- ①**授業料相殺**… 本学の授業料をもって留学先大学の授業料に充てます。一部授業料非相殺交換留学 (留学期間中は本学の授業料とともに留学先大学の授業料を納入する必要あり) もあります。
- ②**奨学金**… 交換留学をするにあたり、様々な奨学金制度が用意されています。
- ③**単位認定**… 留学先で修得した単位を所属学部で本学の単位に認定することが可能です (詳細は、学部事務室に問い合わせてください)。

### 交換留学を目指すには

交換留学の計画を立てるには、留学目標だけでなく、履修、卒業、将来設計等を含めて通常1年以上が必要です。交換留学生選考試験を英語で受験する学生は、協定大学が要求するTOEFL\*もしくはIELTSのスコアを取得しなければならず、そのためには計画的にTOEFL ITP\*やTOEFL iBT\*もしくはIELTSを受験する必要があります。また、出願資格に修得単位数や良好な学業成績が求められていますので、日頃の学部での学びが非常に大切です。留学で何を学びたいのかしっかりと自己分析をしながら、留学先で履修しようとする分野について知識を深め、アカデミック・ライティングの習得など言語面での準備を十分行い、研鑽を積んでください。

### 交換留学の期間と募集時期

#### 【交換留学期間】

交換留学できる期間は1学期間 (1セメスター) または2学期間 (2セメスター＝1年) です。海外の大学の学年歴は日本の学年歴と異なっているため、必ずしも本学の学期と留学先の学期が連動しているわけではありませんが、本学での扱いは春学期留学、秋学期留学、通年留学として留学期間を扱います。

#### 【募集時期】

交換留学の募集は、実際に留学を開始する時期の約1年または1年半前に行います。第1期募集 (5月募集) と第2期募集 (9月募集) の年に2回実施しており、第1期募集では主に翌年2～4月開始の留学 (オーストラリア、ニュージーランド、ドイツ、ポーランド、中国、台湾、韓国等への留学) について募集を行い、第2期募集では、翌年の8～10月開始の留学についてのみの募集となります。

#### 【2018-2019交換留学】

##### 第1期募集 (5月出願受付)

	開 始	終 了
1セメスター	2018年2月、3月	2018年5月、6月または7月
1年	または4月	2018年11月、12月、2019年1月または2月
1セメスター	2018年8月、9月	2018年12月、2019年1月または2月
1年	または10月	2019年4月、5月、6月または7月

##### 第2期募集 (9月出願受付)

	開 始	終 了
1セメスター	2018年8月、9月	2018年12月、2019年1月または2月
1年	または10月	2019年4月、5月、6月または7月

※所属する学部または学年によって、帰国時期に関しては教務上の制限があるため各所属学部にも必ず確認してください。  
※留学期間は留学先大学により異なります。  
※第2期募集の人数は、10月下旬にNUC/KSC国際教育・協力センター、NSC所属学部掲示板、および教学Webサービスで掲示予定です。



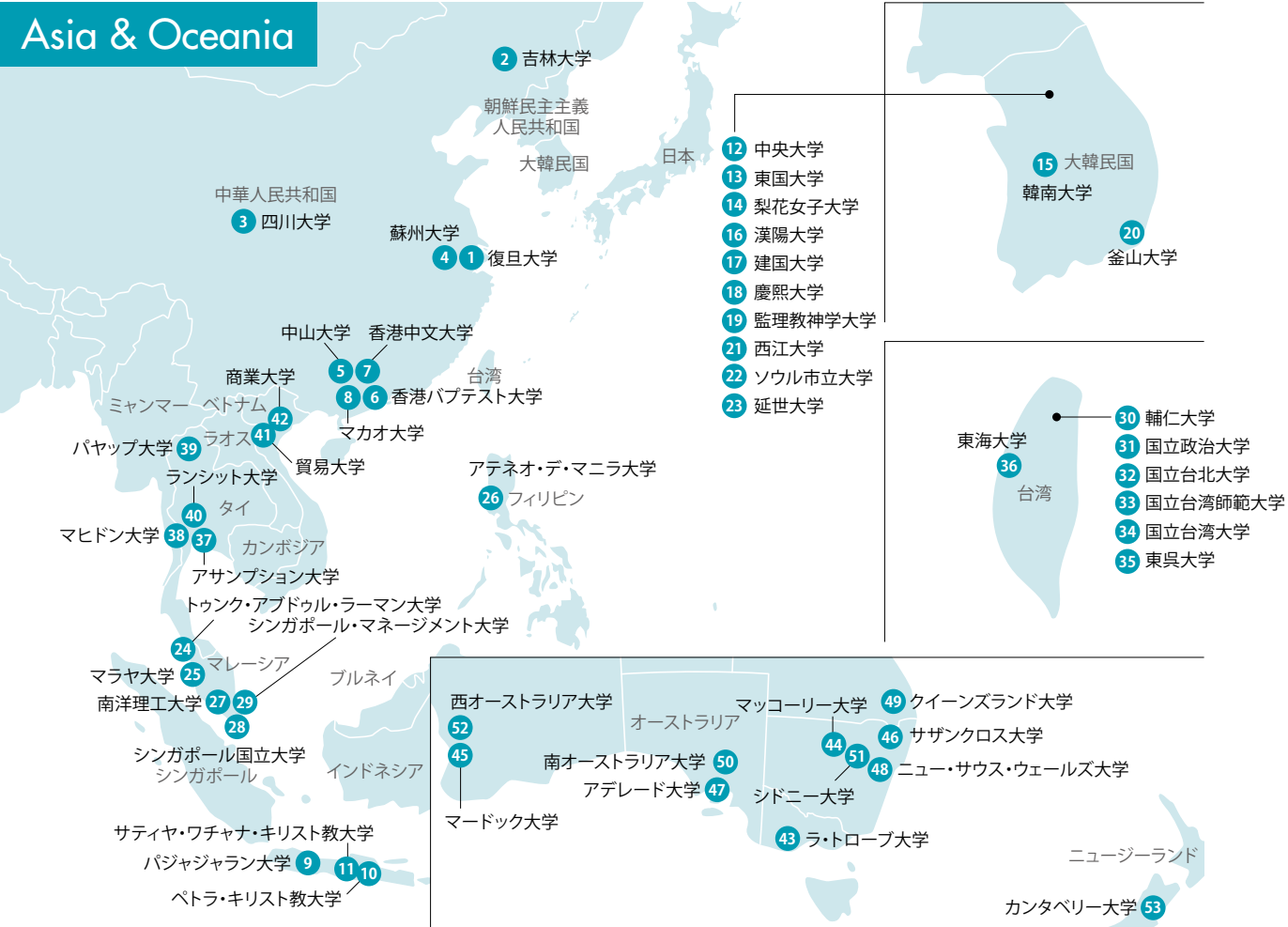
## Europe &amp; Middle East



国/地域	MAP	留学先大学	過去の派遣者数				出発時期	外国語試験	成績 (*)	英語での受験で要求されるスコア		
			2014-2015	2015-2016	2016-2017	2017-2018 (予定)				TOEFL iBT*	IELTS Academic	TOEFL ITP*
GERMANY	13	Heinrich Heine University Dusseldorf デュッセルドルフ大学	—	1	3	3	春・秋	ドイツ語 又は 英語 (*)2		71～	5.5～	527～
	14	Johannes Gutenberg University Mainz マインツ大学	2	2	0	0	春・秋	ドイツ語 又は 英語 (*)2		71～	6.0～	527～
	15	Ruhr University Bochum ルール・ボーフム大学	2	3	1	1	春・秋	ドイツ語 又は 英語 (*)2		71～	5.5～	527～
	16	University of Applied Sciences ベルリン技術経済大学	2	1	1	1	春・秋	ドイツ語 又は 英語 (*)2		71～	6.0～	527～
	17	University of Augsburg アウグスブルク大学	1	2	2	0	春・秋	ドイツ語				
	18	University of Regensburg レーゲンスブルク大学	—	2	2	1	春・秋	ドイツ語 又は 英語 (*)2		71～	5.5	527～
ICELAND	19	University of Iceland アイスランド大学	2	2	0	0	秋	英語		79～	6.5～	
IRELAND	20	Dublin City University ダブリン・シティ大学	—	—	4	3	秋	英語		71～	6.0～	527～
LATVIA	21	University of Latvia ラトビア大学	0	0	1	2	秋	英語		71～	5.5～	527～
NETHERLANDS	22	Hanze University of Applied Sciences, Groningen ハンザ応用科学大学	—	2	1	2	秋	英語		71～	6.0～	527～
	23	Radboud University ラドバウド大学	0	1	2	0	秋	英語		80～	6.0～	
	24	The Hague University of Applied Sciences ハーグ応用科学大学	—	2	1	4	秋	英語		71～	6.0～	527～
NORWAY	25	Norwegian University of Science and Technology ノルウェー科学技術大学	0	0	0	0	秋	英語		90～	6.5～	
	26	University of Oslo オスロ大学	17	12	14	18	秋	英語	GPA2.5未 満の場合 GPA2.5 GPA2.5未 満の場合 GPA2.5	学部71～ 大学院80 ～ 60～ 学部71～ 大学院80 ～ 60～	学部5.5～ 大学院6.0 ～ 5.0～ 学部5.5～ 大学院6.0 ～ 5.0～	
POLAND	27	Cracow University of Economics クラクフ経済大学	—	—	0	0	春・秋	英語		87～	6.0～	
	28	University of Lodz ウッジ大学	1	3	1	3	春・秋	英語		71～	5.5～	530～
SPAIN	29	Pompeu Fabra University ポンペウ・ファブラ大学	—	—	1	0	秋	スペイン語 又は 英語 (*)2		71～	6.0～	527～
SWEDEN	30	Linkoping University リンショピン大学	3	2	3	2	秋	英語		71～	5.5～	527～
	31	Linnaeus University リンネ大学	2	2	4	3	秋	英語		71～	5.5～	527～
UK	32	Cardiff University カーディフ大学	—	—	2	2	秋	英語	GPA3.0	78～	6.0～ 全ての項目 が5.5以上	
	33	Keele University キール大学	—	—	—	2	秋	英語	GPA3.0		6.0～ 全ての項目 が5.5以上	
	34	School of Oriental and African Studies, University of London ロンドン大学SOAS	0	0	0	0	秋	英語	GPA3.0	100～ Writing 22 Speaking 22 Reading 22 Listening 20	6.5～ Writing 6.5 Speaking 6.5 Reading 6.5 Listening 6.0	
	35	The University of Edinburgh エディンバラ大学	0	2	3	3	秋	英語	GPA3.0	92～ 全ての項目 が2.0以上	6.5～ 全ての項目 が5.5以上	
	36	The University of Manchester マンチェスター大学	2	2	0	0	秋	英語	GPA3.0	92～ Writing 21 Speaking 23 Reading 22 Listening 21	6.5～ 全ての項目 が6.0以上	
	37	University of Leicester レスター大学	0	0	1	2	秋	英語	GPA3.0	90～ Writing 17 Speaking 20 Reading 18 Listening 17	6.5～ 全ての項目 が5.5以上	
	38	University of Stirling スターリング大学	1	1	1	0	秋	英語		87～ Writing 21 Speaking 23 Reading 22 Listening 21	6.0～ 全ての項目 が5.5以上	
TURKEY	39	Kocaeli University コジャエリ大学	4	1	0	0	秋	英語		61～		500～



交換留学が可能な海外協定校一覧



国/地域	MAP	留学先大学	過去の派遣者数				出発時期	外国語試験	成績 (※1)	英語での受験で要求されるスコア		
			2014-2015	2015-2016	2016-2017	2017-2018 (予定)				TOEFL iBT*	IELTS Academic	TOEFL ITP*
CHINA	1	Fudan University 復旦大学(*3)	1	1	0	1	春・秋	中国語 (普通話)又は英語(*2)		80～	6.0～ 全ての項目 が6.0以上	
	2	Jilin University 吉林大学(*3)	0	0	0	0	春・秋	中国語 (普通話)又は英語(*2)		61～	5.0～	500～
	3	Sichuan University 四川大学(*3)	0	0	0	0	春・秋	中国語 (普通話)				
	4	Soochow University 蘇州大学(*3)	0	0	0	1	春・秋	中国語 (普通話)				
	5	Sun Yat-Sen University 中山大学(*3)	0	1	2	1	春・秋	中国語 (普通話)				
HONG KONG	6	Hong Kong Baptist University 香港バプテスト大学	0	0	0	0	秋	英語	GPA2.5	71～	6.0～	530～
	7	The Chinese University of Hong Kong 香港中文大学	4	2	2	3	秋	中国語 (普通話)又は英語(*2)		71～	6.0～	530～
MACAU	8	University of Macau マカオ大学	1	1	3	2	秋	英語		61～	5.0～	500～
INDONESIA	9	Padjadjaran University パジャジャラン大学	2	3	0	0	秋	インドネシア語 又は英語(*2)		54～		480～
	10	Petra Christian University ペトラ・キリスト教大学	—	—	—	—	秋	インドネシア語 又は英語(*2)	GPA3.0			480～
	11	Satya Wacana Christian University サティヤ・ワチャナ・キリスト教大学	3	0	1	0	秋	インドネシア語 又は英語(*2)	GPA2.5	61～		500～
KOREA	12	Chung-Ang University 中央大学	1	1	2	0	春・秋	朝鮮語 又は英語(*2)		61～		500～
	13	Dongguk University 東国大学	1	0	0	3	春・秋	朝鮮語 又は英語(*2)		61～		500～
	14	Ewha Womans University 梨花女子大学	3	0	2	1	春・秋	朝鮮語 又は英語(*2)	GPA2.5	61～	5.0～	500～
	15	Hannam University 韓南大学	1	0	0	0	春・秋	朝鮮語 又は英語(*2)		61～		500～
	16	Hanyang University 漢陽大学	1	1	2	0	春・秋	朝鮮語 又は英語(*2)	GPA2.4	72	5.5	543
	17	Konkuk University 建国大学	—	0	0	4	春・秋	朝鮮語 又は英語(*2)		61～		500～
	18	Kyung Hee University 慶熙大学	1	0	0	0	春・秋	朝鮮語 又は英語(*2)	GPA2.2	82～	6.5～	553～

国/地域	MAP	留学先大学	過去の派遣者数				出発時期	外国語試験	成績 (※1)	英語での受験で要求されるスコア		
			2014-2015	2015-2016	2016-2017	2017-2018 (予定)				TOEFL iBT*	IELTS Academic	TOEFL ITP*
KOREA	19	Methodist Theological University 監理教神学大学	0	0	0	0	春・秋	朝鮮語 又は英語(*2)		61～		500～
	20	Pusan National University 釜山大学	—	—	0	0	春・秋	朝鮮語 又は英語(*2)		61～	5.0～	500～
	21	Sogang University 西江大学	3	1	2	0	春・秋	朝鮮語 又は英語(*2)		61～	5.0～	500～
	22	University of Seoul ソウル市立大学	0	0	1	2	春・秋	朝鮮語 又は英語(*2)		61～	5.0～	500～
	23	Yonsei University 延世大学	1	1	1	1	春・秋	朝鮮語 又は英語(*2)	GPA2.5	80～	6.0～	550～
MALAYSIA	24	University Tunku Abdul Rahman トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学	—	—	0	0	秋	英語			5.5～	550～
	25	University of Malaya マラヤ大学	0	0	0	3	秋	英語	GPA2.5	71～	5.0～	530～
PHILIPPINES	26	Ateneo de Manila University アテネオ・デ・マニラ大学	0	0	0	0	秋	英語		79～	6.0～	550～
SINGAPORE	27	Nanyang Technological University 南洋理工大学	4	3	1	1	秋	英語	GPA2.5	71～	6.0～ Writing6.0	530～
	28	National University of Singapore シンガポール国立大学	2	1	1	1	秋	英語	学業成績上位1/3以内	79～		550～
	29	Singapore Management University シンガポール・マネージメント大学	0	0	0	0	秋	英語		79～	6.5～	
TAIWAN	30	Fu Jen Catholic University 輔仁大学	—	—	—	1	春・秋	中国語 (普通話)又は英語(*2)		79～	6.0～	
	31	National Chengchi University 国立政治大学(*3)	2	2	1	0	春・秋	中国語 (普通話)又は英語(*2)	GPA2.5	61～	5.0～	500～
	32	National Taipei University 国立台北大学(*3)	2	2	2	1	春・秋	中国語 (普通話)又は英語(*2)		61～	5.0～	500～
	33	National Taiwan Normal University 国立台湾師範大学(*3)	1	2	4	1	春・秋	中国語 (普通話)又は英語(*2)	GPA2.5	61～	5.0～	500～
	34	National Taiwan University 国立台湾大学(*3)	4	2	5	2	春・秋	中国語 (普通話)又は英語(*2)		61～	5.0～	500～
	35	Soochow University 東呉大学(*3)	3	2	1	1	春・秋	中国語 (普通話)又は英語(*2)		61～	5.0～	500～
	36	Tunghai University 東海大学(*3)	1	3	0	1	春・秋	中国語 (普通話)又は英語(*2)		61～	5.0～	500～
THAILAND	37	Assumption University アサンプション大学	4	2	1	0	秋	英語		61～		500～
	38	Mahidol University International College マヒドン大学	0	0	0	0	秋	英語		79～	6.0～	550～
	39	Payap University パヤップ大学	1	2	1	1	秋	英語		80～ 54～		550～ 480～
	40	Rangsit University ランシット大学	1	3	0	2	秋	英語	GPA2.5	61～	5.0～	500～
VIETNAM	41	Foreign Trade University 貿易大学	—	—	—	0	秋	英語		65～	5.5～	500～
	42	Thuongmai University 商業大学(*4)	0	1	0	1	秋	英語		54～	4.5～	480～
AUSTRALIA	43	La Trobe University ラ・トロブ大学	—	—	0	0	春	英語		76～ Writing 22 Speaking 18 Reading 18 Listening 18	6.0～ 全ての項目 が6.0以上	
	44	Macquaire University マッコリー大学	—	—	0	0	春	英語		83～ Writing 21 Speaking 18 Reading 13 Listening 12	6.5～ 全ての項目 が6.0以上	
	45	Murdoch University マードック大学	—	3	2	2	春	英語		68～	5.5～ 全ての項目 が5.5以上	520～
	46	Southern Cross University サザンクロス大学	—	—	—	3	春	英語		60 Writing 17 Speaking 17	6.0～ 全ての項目 が5.5以上	
	47	The University of Adelaide アデレード大学	—	0	0	2	春	英語	GPA2.5	79～ Writing 21 Speaking 18 Reading 13 Listening 13	6.5～ 全ての項目 が6.0以上	
	48	The University of New South Wales ニュー・サウス・ウェールズ大学	0	0	0	0	春	英語		90～ Writing 23 Speaking 22 Reading 22 Listening 22	6.5～ 全ての項目 が6.0以上	
	49	The University of Queensland クイーンズランド大学	0	0	1	4	春	英語		87～	6.5～	
NEW ZEALAND	50	University of South Australia 南オーストラリア大学	—	1	2	1	春	英語		80～ 全ての項目 が2.0以上	6.0～ Reading 6.0 Writing 6.0	
	51	The University of Sydney シドニー大学	0	3	1	4	春	英語	GPA3.0	85～ Writing 18	6.0～ 全ての項目 が5.5以上	
	52	The University of Western Australia 西オーストラリア大学	—	0	0	2	春	英語	GPA2.0	70～ Writing 20 Speaking 19 Reading 14 Listening 17	6.0～ 全ての項目 が5.5以上	
NEW ZEALAND	53	University of Canterbury カンタベリー大学	—	—	0	0	春	英語		80～ Writing 19	6.0～ 全ての項目 が5.5以上	



交換留学が可能な海外協定校一覧



国/地域	MAP	留学先大学	過去の派遣者数				出発時期	外国語試験	成績 (*1)	英語での受験で要求されるスコア			
			2014-2015	2015-2016	2016-2017	2017-2018 (予定)				TOEFL iBT*	IELTS Academic	TOEFL ITP*	
CANADA	1	Huron University College at Western Univesity ウエスタン/ヒューロン大学	0	0	1	0	秋	英語		86～ 全ての項目 が20以上	6.5～ 全ての項目 が6.0以上		
	2	King's University College at Western University ウエスタン/キングス大学	2	0	2	2	秋	英語		80～ Writing 15 Reading 15 Listening 16	6.0～		
	3	McGill University マギル大学	0	0	1	0	秋	英語	GPA3.0	90～ 全ての項目 が21以上	6.5～ 全ての項目 が6.0以上	570～	
	4	Memorial University of Newfoundland (St. John's Campus) ニューファンドランド・メモリアル大学 (セント・ジョンズキャンパス)	—	2	4	0	秋	英語		79～	6.5～		
		Memorial University of Newfoundland (Grenfell Campus) ニューファンドランド・メモリアル大学 (グレンフェルキャンパス)					秋						
	5	Mount Allison University マウント・アリソン大学	0	2	0	2	秋	英語		90～	6.5～	560～	
	6	Queen's University クイーンズ大学	1	2	1	0	秋	英語	GPA2.6	88～ Writing 24 Speaking 22 Reading 22 Listening 20	6.5～		
	7	Simon Fraser University サイモン・フレザー大学	2	1	0	1	秋	英語		88～ 全ての項目 が20以上	6.5～ 全ての項目 が6.0以上	570～	
	8	The University of British Columbia ブリティッシュ・コロンビア大学	0	1	1	2	秋	英語		90～ Writing 21 Speaking 21 Reading 22 Listening 22	6.5～ 全ての項目 が6.0以上		
	9	University of Calgary カルガリー大学	—	—	2	1	秋	英語		86～	6.5		
	10	University of Guelph ゲルフ大学	—	3	1	2	秋	英語		79～	6.5～	550～	
	11	University of Toronto/Victoria University トロント/ビクトリア大学	3	4	2	3	秋	英語		学部 89～ Writing 19 大学院 93～ Writing 22 Speaking 22	学部 6.5～ 全ての項目 が6.0以上 大学院 7.0～		
	12	University of Victoria, Peter B. Gustavson School of Business ビクトリア大学ビジネススクール	—	1	2	1	秋	英語		79～	6.0～		

国/地域	MAP	留学先大学	過去の派遣者数				出発時期	外国語試験	成績 (*1)	英語での受験で要求されるスコア			
			2014-2015	2015-2016	2016-2017	2017-2018 (予定)				TOEFL iBT*	IELTS Academic	TOEFL ITP*	
USA	13	Drake University ドレイク大学	2	3	2	1	秋	英語		71～	6.0～	530～	
	14	Emory University エモリー大学	1	0	0	0	秋	英語	GPA3.0	80～	7.0～	550～	
	15	Florida State University フロリダ州立大学	2	1	1	1	秋	英語		80～	6.5～		
	16	Goucher College ガウチャー大学	—	—	3	2	秋	英語	GPA2.3	71～	6.0～	530～	
	17	Nebraska Wesleyan University ネブラスカ・ウエスレアン大学	1	1	1	2	秋	英語	GPA2.5	71～	5.5～	525～	
	18	North Carolina State University ノース・キャロライナ州立大学	1	0	1	0	秋	英語	GPA2.5	85～	7.0～		
	19	Pitzer College ピッツァー大学	2	3	2	0	秋	英語	GPA2.5未満 の場合 GPA2.5 GPA2.5未満 の場合 GPA2.5	92～ 68～ 92～ 68～	6.5～ 5.5～ 6.5～ 5.5～	580～ 520～ 580～ 520～	
	20	San Francisco State University サンフランシスコ州立大学	—	1	2	0	秋	英語	GPA2.3	71～	6.0～	530～	
	21	San Jose State University サンノゼ州立大学	2	0	0	0	秋	英語	GPA 2.75	71～	6.0～		
	22	Southern Methodist University 南メソジスト大学	0	1	0	1	秋	英語		80～	6.5～		
	23	Stetson University ステットソン大学		2	1	1	秋	英語	GPA2.5	78～	6.0～	550～	
	24	Texas A&M University テキサスA&M大学	2	2	0	0	秋	英語		71～	6.0～	530～	
	25	The University of Georgia ジョージア大学	1	1	0	1	秋	英語		80～	7.0～		
	26	The University of Nebraska at Kearney ネブラスカ大学カーニー校	—	4	0	0	秋	英語	GPA2.3	71～	6.0～	530～	
	27	The University of New Mexico ニューメキシコ大学	—	—	—	2	秋	英語	GPA2.5	68～	6.0～		
	28	The University of North Carolina at Chapel Hill ノース・キャロライナ大学チャペルヒル校	0	0	1	0	秋	英語	GPA3.0	100～ (*5)	7.5 (*5)		
	29	Trinity University トリニティ大学	—	—	—	—	秋	英語		79～	6.5～	550～	
	30	University at Albany, The State of University of New York ニューヨーク州立大学オルバニー校	—	—	—	2	秋	英語	GPA2.5	79～	6.0～		
	31	University of Hawaii at Manoa ハワイ大学マノア校	2	1	2	1	秋	英語	GPA3.0	80～	6.5～	550～	
	32	University of Massachusetts at Amherst マサチューセッツ大学アムハースト校	4	3	3	3	秋	英語	GPA2.5	80～	6.5～	550～	
	33	University of Missouri-Columbia ミズーリ大学コロンビア校	1	1	0	2	秋	英語	GPA2.5未満 の場合 GPA2.5 GPA2.5未満 の場合 GPA2.5	71～ 全ての項目 が15以上 61～ 全ての項目 が15以上 71～ 全ての項目 が15以上 61～ 全ての項目 が15以上	6.5～ 全ての項目 が6.0以上		
	34	University of Nebraska Omaha ネブラスカ大学オマハ校	—	—	3	3	秋	英語	GPA2.3	71～	5.5～	527～	
	35	University of Nevada, Reno ネバダ大学リノ校	2	2	2	2	秋	英語	GPA2.3	71～	6.0～		
	36	University of the Pacific バシフィック大学	1	0	1	1	秋	英語	GPA2.5	80～	6.5～	550～	
	37	Washington and Jefferson College ワシントン&ジェファーソン大学	1	2	0	2	秋	英語		79～	6.5～	550～	
	38	Whitworth University ウィットワース大学	—	0	0	0	秋	英語		79～	6.5～		
	42	Rio de Janeiro State University リオデジャネイロ州立大学	0	0	0	0	秋	ポルトガル語					
	43	University of Sao Paulo サンパウロ大学	0	0	1	0	秋	ポルトガル語又は 英語 (*2)		71～		527～	
	44	University of Monterrey モンテレー大学	0	0	0	0	秋	スペイン語又は 英語 (*2)		71～		527～	

■授業料非相殺型交換留学 (P.46を参照)

国/地域	MAP	留学先大学	過去の派遣者数				出発時期	外国語試験	成績 (*1)	英語での受験で要求されるスコア			
			2014-2015	2015-2016	2016-2017	2017-2018 (予定)				TOEFL iBT*	IELTS Academic	TOEFL ITP*	
USA	39	University of California, Davis カリフォルニア大学デービス校	0	0	0	0	春・秋	英語	GPA3.0	71～	6.5～	530～	
	40	University of California, Irvine カリフォルニア大学アーバイン校	3	6	2	3	春・秋	英語	GPA2.4	61～	5.5～	500～	
	41	University of California, Riverside カリフォルニア大学リバーサイド校	0	0	3	2	春・秋	英語	GPA2.0	61～	5.0～	500～	
	31	University of Hawaii at Manoa ハワイ大学マノア校	0	0	1	0	秋	英語	GPA2.5	68～	6.0～	520～	
	26	University of Nebraska at Kearney ネブラスカ大学カーニー校	0	0	1	0	秋	英語		61～	5.5～	500～	

\*1 留学前年度の春学期までの成績。  
\*2 英語で行われる科目を履修する場合、英語で受験すること。他言語(朝鮮語、中国語【普通話】、インドネシア語、ドイツ語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語)による科目を履修する場合、他言語で受験すること。  
英語の試験を併せて受験してもよい。  
\*3 2月から留学する場合、中国語の初級クラスが開設されない可能性がある。その場合は、初級以上の中国語能力が必要となる。  
\*4 合格後出発までの約1年間、ベトナム語を集中的に勉強すること。



出願資格

学部学生

1. 2017年度春学期末までに下表の単位数以上を修得している者、または修得見込の者。  
\*4年生については2016年度末までの単位数

	1年生	2年生	3年生	4年生
1～3年生： 春学期末までの修得単位数 4年生： 前年度末までの修得単位数				
神学部	16	47	78	94
文学部	15	45	76	91
社会学部	16	47	77(春学期に通年科目を履修する場合) 78(春学期に通年科目を履修しない場合)	94
法学部	16	47	78	94
経済学部	15	46(春学期に通年科目を履修する場合) 47(春学期に通年科目を履修しない場合)	77(春学期に通年科目を履修する場合) 78(春学期に通年科目を履修しない場合)	94
商学部	15	43	73	89
理工学部－数理科学科	15	45	75	91
理工学部－物理学科、化学科、情報科学科	16	47	78	94
理工学部-先進エネルギーナノ工学科	16	47	80	95
理工学部-環境・応用化学科、生命医科学科	17	48	80	95
理工学部－生命科学科	16	47	79	95
理工学部－人間システム工学科	15	47	77	93
総合政策学部	15	47	77	94
人間福祉学部	16	47	78	94
教育学部	16	47	78	94
国際学部	16	47	76	94

2. 学業成績が概ね良好の者。  
3. 英語による受験者は、出願時にTOEFL ITP®480点以上またはTOEFL iBT®54点以上またはIELTS4.5点以上の点数を有すること(2016年4月受験以降分が有効)。  
4. 海外の大学で長期間生活し、外国語で行われる開講科目を受講できるだけの語学力および優れた適応能力を有する者。

大学院生

1. 留学までに本学大学院に1学期間以上在籍した者。  
2. 英語による受験者は、出願時にTOEFL ITP®480点以上またはTOEFL iBT®54点以上またはIELTS4.5点以上の点数を有すること(2016年4月受験以降分が有効)。  
3. 海外の大学で長期間生活し、外国語で行われる開講科目を受講できるだけの語学力および優れた適応能力を有する者。

本学大学院進学予定者(学部4年生対象)

- 2018年度に本学大学院への進学が決定している者は、学部4年生時に出願し、大学院入学後の秋学期より交換留学をすることが可能。  
なお、留学希望大学、専門分野によっては留学できない場合もあるので、出願予定者は国際教育・協力センターに出願前に必ず問い合わせること。  
[選考方法] 交換留学出願から選考試験、研究科推薦までの選考過程は、大学院交換留学生選考の手順で行う。その後、「大学院進学予定者」として選出する。

1. 本学の学部学生で、交換留学出願時点で本学大学院入学試験に合格し、入学手続きを完了している者。  
2. 進学予定大学院研究科委員長または研究科長から学長への推薦が得られること。  
3. 予定指導教員が決定している場合は、同教員の了解を得ること。なお、大学院進学後、正式な大学院交換留学生となる。

出願手続き

1. 出願予定者は、出願手続き説明会に必ず出席すること。  
なお、英語、中国語、朝鮮語、フランス語、ドイツ語以外の言語での受験を希望する場合は出願手続き説明会で希望する受験言語を申し出ること。  
申し出がない場合は希望言語での受験はできない。

2. 学部によってはカリキュラム上、留学する学年度・期間により4年間での卒業ができない場合があるので、必ず所属学部事務室に教務上の相談を行うこと。また、単位認定や履修に関しても所属学部事務室で確認すること。

3. 国際教育・協力センターウェブサイトでオンライン出願をする(パソコンからの接続のみ)。  
オンライン出願フォームは入力途中で保存ができないため、注意すること。  
●保証人の署名が必要となるため早めに入力を始めるようにすること。  
●事務室提出期間の約3週間前からオンライン出願が可能。  
※詳細は出願手続き説明会で説明。

4. オンライン出願後、登録内容に誤りがないか確認し、印刷する。  
①英語受験者は次のいずれかの英語運用能力試験の点数表のコピーを添付すること。
- | 出願可能な英語運用能力試験        | 点 数    | 出願受付可能有効期限       |
|----------------------|--------|------------------|
| TOEFL iBT®           | 54点以上  | いずれも2016年4月受験以降分 |
| IELTS (アカデミック・モジュール) | 4.5点以上 |                  |
| TOEFL ITP®           | 480点以上 |                  |
- ②3×4cmの顔写真(6ヶ月以内に撮影したもの)を添付すること。  
③本人及び保証人自署欄は直筆で記入すること。

5. 出願書類を **NUC** 国際教育・協力センター(G号館1階)または **KSC** 国際教育・協力センター(アカデミックcommons2階)に提出する。

6. 「留学希望大学届」および英語による受験者の場合は最終英語運用能力試験の点数表の原本(2017年4月受験以降分が有効)を提出する。  
第1期募集出願の場合:8月31日(木) 締切、第2期募集出願の場合:11月30日(木)

選考方法

学部学生



学部推薦を受け、各大学の受入条件を満たしている者については、下記合計点を基準に選考する。  
【合計点算出方法】  
英語による受験:英語運用能力試験100点満点(\*)+英語面接100点満点+学業成績99.9点満点=合計299.9点満点  
英語以外の言語による受験:外国語筆記100点満点+外国語面接100点満点+学業成績99.9点満点=合計299.9点満点  
(\*)英語運用能力試験の換算リストにより算出。

大学院生



\*出願資格を満たした大学院生が、交換留学可能な大学を志望し、外国語試験の結果が基準に達している場合は、所属研究科で志望動機の妥当性を判断し、研究科の推薦がある者のみ、学部生とは別に大学院生から選考する。ただし、学部学生で基準を満たしている者がいない場合を除いて、各大学の定員に対する大学院生充当枠は1名とする。

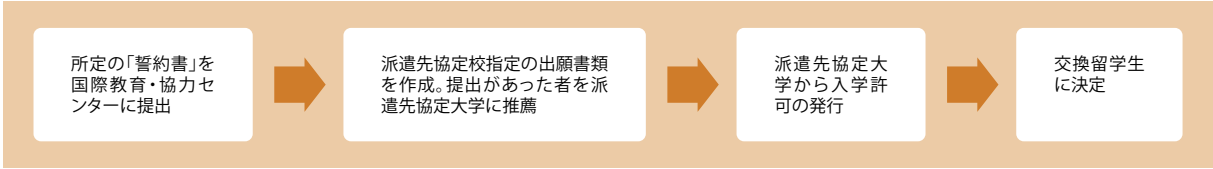
研究科推薦を受け、各大学の受入条件を満たしている者については、下記合計点を基準に選考する。  
【合計点算出方法】  
英語による受験:英語運用能力試験100点満点(\*)+英語面接100点満点=合計200点満点  
英語以外の言語による受験:外国語筆記100点満点+外国語面接100点満点=合計200点満点  
(\*)英語運用能力試験換算表により算出。

(\*)【英語運用能力試験換算表】

TOEFL iBT®	IELTS	TOEFL ITP®	英語運用能力試験の換算
119～120	9.0	670～677	100点
113～118	8.0、8.5	647～669	95点
106～112	7.5	623～646	90点
100～105	7.0	600～622	85点
88～99	6.5	570～599	80点
79～87	6.0	550～569	75点
68～78	5.5	520～549	70点
61～67	5.0	500～519	65点
54～60	4.5	480～499	60点



推薦者決定後、交換留学生に決定するまでのスケジュール



交換留学にかかる費用

■授業料相殺型

留学する大学の授業料が本学に納入する授業料と相殺されます(本学へ納入する授業料をもって留学先の授業料とする)。ビザ取得費用、往復旅費、生活費、保険料、教科書代等、その他留学に係る全ての費用は本人負担となります。  
(注)本学指定の海外旅行保険・危機管理サービス等への加入が必要となります。

■授業料非相殺型

**出願資格・出願手続き・選考方法:** 交換留学と同様(P.45)  
**費用:** 一般の交換留学制度と違い、留学期間中は本学の授業料とともに留学先大学の授業料を納入する必要があります。ビザ取得費用、往復旅費、生活費、保険料、教科書代等も本人負担となります。

大学名	2017年度授業料	2018年度授業料
カリフォルニア大学デビス校	【1年3クォーター】US\$19,695 【1学期2クォーター】US\$13,950	未定
カリフォルニア大学アーバイン校	【1年3クォーター】US\$22,000	未定
カリフォルニア大学リバーサイド校	【1年3クォーター】US\$21,500	未定
ハワイ大学マノア校	【1年】US\$32,904 【1セメスター】US\$16,452  * Hoakipa Scholarship (授業料の15%)を受給することができる。	未定
ネブラスカ大学カーニー校	【1年】US\$13,380 【1セメスター】US\$6,690	未定

※カリフォルニア大学はクォーター制度のため、同大学への留学は、3クォーターを本学1年間の留学、2クォーターを本学の1セメスター留学として取り扱います。  
なお、カリフォルニア大学への1クォーター留学はできません。また、UCDのみ1セメスター(2クォーター)留学が可能です。

**奨学金:** 本学「交換留学奨学金」(奨学金金額: 2学期間30万円または1学期間15万円)を受給することができます。ただし、国際学部奨励金・奨学金を受給する学生は除きます。その他「佐伯海外留学支援奨学金」等にも申請することができます(これらの奨学金の併給は不可)。

奨学金

交換留学に派遣されることが決定した場合、以下の支給奨学金に申請することができます。  
詳細については、派遣留学推薦が決定した後、オリエンテーションや掲示等で案内します。

奨学金名	費用(予定)	募集予定人数	募集時期
佐伯海外留学支援奨学金	年額100万円(2学期間) 年額50万円(1学期間)	約3名	2018年1月上旬(予定) (2018年1月に面接あり)
交換留学奨学金	年額30万円(2学期間) 年額15万円(1学期間)	約100名	春出発学生対象: 2018年1月(予定) 秋出発学生対象: 2018年5月(予定)
日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(協定派遣)奨学金	月額6〜10万円(上限12ヵ月間)	未定	未定
その他協定大学からの補助・奨学金	復旦大学、吉林大学、中山大學、サティヤ・ワチャナ・キリスト教大学への交換留学生は留学先大学から留学支援補助あり。また、クイーンズ大学への交換留学生は「高円宮記念クイーンズ大学奨学金」への応募が可能。詳細はカナダ大使館ウェブサイト参照。		

※佐伯海外留学支援奨学金は、面接試験に参加できない場合、出願できませんのでご注意ください。募集要項は12月頃に発表予定です。  
※その他、日本学生支援機構の第2種奨学金(短期留学)など貸与奨学金にも申請が可能です。

その他

●派遣についての注意事項

交換留学は、各海外協定校との協定に基づきその派遣人数、派遣期間、派遣条件等を定めたくうえで募集を行っていますが、選考から実際の派遣までに約1年〜1年半の期間があるため、稀にその間に協定校への交換留学生派遣可能人数や派遣期間、派遣条件等に変更が生じる場合があります。一旦交換留学への派遣が決定した場合でも、条件等の変更により当初の予定通りには交換留学ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。  
交換留学選考試験では、交換留学派遣の候補者を選考します。選考された候補者を協定校に推薦しますが、協定校が最終的にその候補者を受け入れるかについての決定をします。したがって、選考試験に合格しても自動的に交換留学に決定するということではありません。

●留学中の住居

交換留学への派遣が決定した後、様々な手続きが必要となりますが、最も重要な手続きのひとつが住居の手続きです。多くの大学では宿舍を提供または紹介することになっていますが、一部の大学では寮や宿舍を各自で手続きする必要があります。以下、一部例を挙げます。

1. 留学に出発する前に留学先大学や現地不動産会社等の紹介を受けて寮(大学運営のものもあれば、民間の学生寮もある)やアパートを事前に申し込む形式。
2. 現地到着後にホテル等に滞在しながら留学先大学や現地不動産会社等の紹介を受けて宿舍を探す形式。

自分が留学を希望する大学の宿舍等の条件がどのようなになっているかについては、当該大学のウェブサイトを見る、あるいは過去にその大学に留学していた学生の定例報告を見る等して調べることが可能です。留学先を考える際は、住居の条件や治安も考慮するようにしてください。  
なお、近年多くの国で留学する学生の数が増えているため、従来すべての学生に大学寮を保障していた大学でも、その体制が取れなくなっている場合がありますので、定例報告の情報はあくまでも参考として利用してください。

●留学希望大学選択

留学希望大学を選択するにあたって、まずは各国・地域・大学の状況をよく調べて下さい。自分の留学目的にあった留学先を見つけられるよう、以下の情報源を参考に情報収集をしてください。

○各大学Fact Sheet: フジタ・グローバルラウンジ(NUC)、国際教育・協力センター(KSC)、国際教育・協力センターウェブサイト、LUNAから閲覧

○留学中の学生から送られてくる報告書:

[http://www.kwansei.ac.jp/c\\_ciec/c\\_ciec\\_006139.html](http://www.kwansei.ac.jp/c_ciec/c_ciec_006139.html)

○NUC、G号館2階フジタ・グローバルラウンジの資料コーナーで協定大学から届いた冊子や資料を参照

○各大学ウェブサイト等



**推薦者として決定した者は、原則辞退や留学期間変更をすることはできません。**よく情報収集をした後に、それが自分の目的に合うものであるかを確認した上で出願して下さい。  
**一旦推薦者に決定した者が辞退した場合、次回以降の交換留学には出願できません。**

●学生ビザ(査証)

海外の大学へ留学する際、滞在期間や渡航先国によって学生ビザを渡航前に取得する必要があります。学生ビザは渡航先国によって規程や申請方法が異なります。  
日本国内にある各国大使館・総領事館で申請方法、必要書類、申請から取得までにかかる期間等を前もって確認し、各自で責任を持って手続きを行って下さい。  
例えばイギリスに関しては、英国国境局(UKBA)が指定するIELTSのスコアを所持していなければ学生ビザを取得することができません。各大学の英語要件だけでなく、学生ビザ取得のための条件を事前に確認する必要があります。  
下記外務省ウェブサイト『駐日外国公館リスト』から各国大使館・総領事館を検索することができます。  
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/link/emblist/index.html>





学生の声

瀬戸本 将希 人間福祉学部3年(参加時)

参加プログラム:交換留学  
国名:オランダ 留学先:ラドバウド大学

●留学で得たものは？

留学で得たものは、異文化や価値観の異なる人との接し方、自分から行動する大切さなど数え切れないほどたくさんあります。その中からひとつをあげるとすると「自信」です。留学が始まった当初は、友達の作り方もわからず、そして授業も難しく悔しい思いをする日が続いていました。しかし、そこで諦めることなく食らいついて行きました。そうすると、留学が終わる頃になれば沢山の友達もでき、授業も楽しめるようになっていました。留学中には様々な困難が立ちはだかり、そしてそれを乗り越えてきました。この経験は私に自信を与えてくれ、これからの人生の支えになってくれると思います。

●これから留学を考えている人へのアドバイス・メッセージ

留学は大変な面もたくさんありますが、それを遙かに上回る楽しさ、そして学びがあります。もし少しでも「留学してみたい」という気持ちがあるならば、ぜひとも留学してみてください。その一歩があなたの人生を大きく変えるかもしれません。



福井 伽奈 総合政策学部3年(参加時)

参加プログラム:交換留学  
国名:タイ 留学先:アサンブション大学

●留学で得たものは？

「タイ人の友人や世界各国から集まった留学生との繋がり」、そして、「実際に自分の目で見て、自分で体験することによって学ぶことの大切さや面白さに改めて気づけたこと」が、私の留学生活の大きな成果です。留学中は多くのタイ人の友人に支えられ、家に招いてもらったり、タイ独特の行事と一緒に参加出来たことで、日本でイメージしていたタイとは異なるタイという国を知る機会が多くありました。また、ASEAN諸国や中央アジア、アフリカなど多様な国から集まった留学生の友人たちと出会い、日本とは大きく異なった彼らの文化や海外から見た日本の姿を知り、



時には、女性の社会進出などを様々な国の立場や現状から話し合った経験は私の宝物です。日本にいてだけでは知ることが出来ない世界を自身の体験として学ぶことができ、“違うからこそ面白い”と日々多くのことに刺激を受けた交換留学生活は、これまでにないほど濃い1年間でした。

●これから留学を考えている人へのアドバイス・メッセージ

交換留学は、半年から1年という長期間、日本とは異なった環境に身を置き、現地学生や様々な国の留学生と専門分野を学ぶことが出来る魅力的なプログラムです。このようなチャンスに挑戦できる今、日本を飛び出さないのはもったいないと思います。ぜひ、交換留学を通して、多くの人や知らない世界に出会ってください。



瀬島 大貴 教育学部4年(参加時)

参加プログラム:交換留学  
国名:オーストラリア 留学先:南オーストラリア大学

●留学で得たものは？

オーストラリアでの一年間の交換留学をずばり二言で表すと「学び」と「出会い」でした。授業の内容というより、外国の見知らぬ土地でどうやって生きていくかを学びました。言葉の壁は予想していたよりはるかに大きく、初めは先生やクラスメイトが何を言っているのか全くわからず戸惑うことが多かったです。外国では自分から行動しないと知らぬ間に置いていかれます。私は予習に重点を置き、片っ端から文献に目を通したり、恥ずかしがらずわからないことは先生に質問攻めしたりして、そのような厳しい状況を克服していきました。また留学先での、多様なルーツを持つルームメイトやー



緒に課題を乗り越えた友達、ボランティアで日本語を教えていた現地の子もたちとの出会いは私にとってかけがえのないものでした。中でも母国を離れ、言葉や文化も違う国で文句ひとつ言わずにひたむきに勉強している他の留学生からは、自分がいかに恵まれた環境で育ってきたのかを気づかされ、自分も頑張らないとと考えさせられ、とても良い刺激をもらいました。

●これから留学を考えている人へのアドバイス・メッセージ

留学前、期待と不安を天秤にかけた時に、私は不安の方が少し大きかったのを覚えています。しかしほんの数パーセントでも期待があるのなら、そのわずかな期待に全てを賭けてみてください。交換留学はそれだけの価値があると思います。また「留学＝英語」と結びつけられがちですが、英語の先にあるものをたくさん学んで、また楽しんでください。応援しています。



3-2 その他プログラム

ACUCAプログラム学生交換計画

ACUCAプログラム学生交換計画 (ACUCA Student Mobility Scheme、以下SMSと略す) は、アジアのキリスト教主義の大学が相互協力と発展のために結成した協会ACUCA (The Association of Christian Universities and Colleges in Asia)による学生交換プログラムです。以下の留学先大学一覧のいずれかに秋学期の1学期間留学することが出来ます (すでに関学と個別の交換留学協定がある大学、および留学が可能な学期や提供される授業などの事情で派遣が困難な大学は、本プログラムの対象外です。留学期間中の授業料の支払いや、単位認定の取り扱いとは交換留学と同様です。

●2018年度秋学期派遣 出願資格・選考日程・手続き

2018-2019年交換留学第2期募集と同時に選考をします。詳細スケジュールはP.3を参照してください。

●奨学金

派遣されることが決定した場合、以下の支給奨学金に申請することができます。  
奨学金名: Living Expenses Subsidy 金額: 300 US\$/月  
Travel Subsidy 金額: 750US\$ (上限額)

●参照

ACUCAウェブサイト <http://www.acuca.net/>

ACUCA加盟大学		
香港	- TRINITY UNIVERSITY OF ASIA	タイ
- LINGNAN UNIVERSITY	- MIRIAM COLLEGE	- ASIA-PACIFIC INTERNATIONAL UNIVERSITY
韓国	インド	- CHRISTIAN UNIVERSITY OF THAILAND
- KEIMYUNG UNIVERSITY	- CHRIST UNIVERSITY	インドネシア
- HANDONG GLOBAL UNIVERSITY	- LADY DOAK COLLEGE	- ATMA JAYA CATHOLIC UNIVERSITY INDONESIA
- SOONGSIL UNIVERSITY	台湾	- ATMA JAYA CATHOLIC UNIVERSITY YOGYAKARTA
フィリピン	- CHANG JUNG CHRISTIAN UNIVERSITY	- MARANATHA CHRISTIAN UNIVERSITY
- CENTRAL PHILIPPINE UNIVERSITY	- CHUNG YUAN CHRISTIAN UNIVERSITY	- PARAHYANGAN CATHOLIC UNIVERSITY
- DE LA SALLE UNIVERSITY	- PROVIDENCE UNIVERSITY	- SANATA DHARMA UNIVERSITY
- FILAMER CHRISTIAN UNIVERSITY	- ST. JOHN'S UNIVERSITY	- SOEGIJAPRANATA CATHOLIC UNIVERSITY
- SILLIMAN UNIVERSITY	- WENZAO URSULINE COLLEGE OF LANGUAGES	

認定留学

認定留学とは、本学学生が休学することなく、協定大学を含む外国の大学に留学する制度です。認定留学は、本人の申請に基づいて留学を希望する外国の大学 (専攻しようとする分野) が学位授与権を有しているかなどの諸点を大学が審査し、学部教授会が本人の留学目的が教育上有益と判断した場合に認められています。

**出願資格は、関西学院大学学部生で当該留学年度までに少なくとも1年以上在学し、24単位以上の単位を修得した者に限ります。**  
学位授与権を持つ大学に入学する場合であっても、**大学の英語集中コース (ESLなど) については認定留学は適用されません。**また、**事前に申請せず独自に外国に留学し、帰国後、本学の単位の認定を希望するケースについても認定されません。**

学籍上の取り扱い、単位認定、履修上の特例等については、交換留学の場合と同じですが、**学費は本学と留学先大学の両方に納入しなければなりません。**ただし、認定留学する者に対しては本学の授業料の半額を限度として、留学先大学の学費を助成する制度があります。学費については、本学と留学先に二重に支払うこととなりますが、それもこのような助成金・奨学金が一定のカバーしてくれます。交換留学では留学できない大学、協定校のない国の大学へ留学できることが、この認定留学制度のメリットだと言えます。

●認定留学の手順 (最低1年要)

- |                                 |                                      |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| ①留学先 (国・大学) を決める                | ⑤入学願書一式を留学先大学に送る                     |
| ・各国の大使館、領事館、文化協会、教育委員会等から情報収集する | ⑥入学許可書が送付される                         |
| ・ウェブサイトを利用して外国の大学のウェブサイトを調べる    | ⑦認定留学申請書を国際教育・協力センターに提出する (渡航日の3か月前) |
| ・国際教育・協力センターで相談する               | ・認定留学願                               |
| ②外国語能力をチェックする                   | ・留学先大学情報                             |
| ・受け入れ大学が要求する外国語要件を確認する          | ・留学計画書                               |
| ・様々な方法で言語運用能力を向上させる             | (留学の動機、留学先での勉強したい分野等留学の目的を明確に)       |
| ③入学申請をする                        | ・認定留学助成金申請書                          |
| ・留学したい大学の要覧、講義要項、入学願書を入手する      | ・授業料が確認できる書類                         |
| ④所属学部や指導教員に相談する                 | ⑧国際連携委員会、学部教授会の審査を経る                 |
| ・研究演習の履修、教職課程、卒業要件の確認           | ⑨認定留学の可否が判定される                       |

●留学期間

交換留学に準ずる

●認定留学前後の諸手続き

- ・帰国後の履修について所属学部の指導を受ける
- ・留学届・留学帰学届を所属学部提出する
- ・単位認定願は、原則として成績表とともに認定留学終了後40日以内に提出する

●認定留学助成金

留学先大学で実際に支払われた学費 (正規授業に関わる費用) を対象として、本学の授業料の半額相当額を限度として支給される。

注) 奨学金等で、免除となる学費は支給対象にならない。

英語圏または英語圏以外の外国へ、独自で個性のある留学を目指す学生は、この制度を使うことができます。

**準備には最低1年以上が必要**ですので、余裕を持って手続きを進めてください。



3-3 国際ボランティア

「国連ユースボランティア」「国際社会貢献活動」

国際ボランティアは、「国連ユースボランティア」と「国際社会貢献活動」との2つのプログラムからなります。両プログラムは、本学のスクールモットー“Mastery for Service”を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育むことを狙いとしています。開発途上国での5ヵ月間の活動は非常にやりがいがあり、自己成長を促進させます。多様な派遣先と活動内容が魅力のプログラムです。

国連ユースボランティア

「国連ユースボランティア」は、関西学院大学が国連ボランティア計画（UNV）との協定に基づき、学生を開発途上国にボランティアとして派遣するプログラムです。本学が2004年に開発途上国への学生ボランティア派遣を開始して以来、これまでに90名の学生が開発途上国で活動を行ってきました。2013年度以降、本学以外に、国内の国公立大学（大阪大学、国際教養大学、上智大学、筑波大学、東洋大学、明治大学、明治学院大学、立教大学）が連携校として参加しています。派遣学生は、UNVのコーディネートにより、約5ヵ月間、主に開発途上国の国連諸機関に派遣されます。派遣先国はアジア、アフリカ、欧州、大洋州、中南米の各国です。ウェブサイトやポスター作成などの広報活動やプロジェクト運営支援などを通して、教育、保健衛生、環境、ジェンダー、貧困削減などの活動に携わります。



国際社会貢献活動

「国際社会貢献活動」は、開発途上国でボランティア活動を行う本学独自のプログラムであり、国際協力機構（JICA）が行う青年海外協力隊事業への参加機会があるほか、国際機関である赤十字国際委員会（ICRC）、海外の教育機関、NGOなど、さまざまな派遣先があります。派遣先ごとに活動内容が異なり、その種類は多岐にわたります。派遣学生の募集は、「NGO・教育機関等」、「国際協力機構（JICA）青年海外協力隊（JOCV）短期」、「赤十字国際委員会（ICRC）」の3つのグループに分けて行われます。派遣先ごとに特徴があり、教育支援、環境保全、観光開発、平和構築などの幅広い分野で広報活動、フィールド調査、エコツアー開発・実施、学校教育補助など、多彩な活動に携わります。参加する学生は約5ヵ月間、派遣先のスタッフや現地の人々と共に活動します。



国連ユースボランティアと国際社会貢献活動との違い		
	国連ユースボランティア	国際社会貢献活動
参 加 校	関西学院大学 + 連携校（国内の8大学）	関西学院大学
派 遣 先	国連ボランティア計画（UNV）をはじめとする国連諸機関 ※UNVを通じて提供されるプログラムです。	国際機関、NGO、教育機関など ※本学が独自に開発したプログラムです。
活 動 内 容	広報活動（ウェブサイト・ポスター作成）、プロジェクト運営支援など	学校教育補佐、日本文化紹介、広報活動、フィールド調査、エコツアー開発・実施など
派 遣 時 期	秋学期 ※春学期の派遣はありません	春学期・秋学期
選 考	・学内選考 ・UNVによる選考（書類、電話インタビューなど） ※本学の他に国内8大学の学生が選考対象です。	・学内選考 ・派遣先による選考（書類、エッセイ、電話インタビューなど）

国際ボランティア（国連ユースボランティア・国際社会貢献活動）の担当教員	
関谷 武司（国際学部教授）	中村 明（国際教育・協力センター教授）
孫 良（人間福祉学部教授）	今井 千尋（国際教育・協力センター准教授）
山田 好一（国際教育・協力センター教授）	越野 圭美（国際教育・協力センター准教授）

国際ボランティアについての最新情報は国際教育・協力センターのウェブサイトをご覧ください [http://www.kwansei.ac.jp/c\\_ciec/c\\_ciec\\_005757.html](http://www.kwansei.ac.jp/c_ciec/c_ciec_005757.html)

国連ユースボランティア 2018年度派遣 募集要項

国連ユースボランティア2018年度派遣の最新情報は2017年9月頃発刊予定の「国際教育・協力プログラム募集要項2017 Volume II」をご覧ください。

募集・選考スケジュール

	2018年度秋学期派遣
募 集 説 明 会	2017年10月12日（木）・13日（金）
出 願 期 間	11月21日（火）～24日（金） 必要書類：①参加申込書②英語運用能力試験のスコア票の原本及びコピー
書類選考結果発表	12月1日（金）
面 接 選 考	12月9日（土）
面接選考結果発表	12月14日（木）



募集人数	参加資格
15名程度	1) 派遣時に20歳以上である学部2年生以上であること。 ※派遣される年の9月1日時点で20歳以上であること。応募は1年生から可。 2) 日本国籍を有すること。 3) 学業成績が良好であること。 4) 派遣者選考時にTOEFL ITP®500点（TOEFL iBT®61点、もしくはIELTS5.0点、TOEIC®630点）以上の英語力を有することが望ましい。 5) 開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。 6) 国際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を発揮できること。
募集選考	
1) 学内選考：書類選考及び面接選考 2) 国連ボランティア計画（UNV）による選考：書類選考及び電話インタビューなど ※希望する派遣先（案件）は、学内選考結果に基づき、派遣候補者の能力と適性を総合的に判断したうえで確定します。 ※UNVによる選考は、本学だけでなく、国内8大学の学生も対象となります。	
主な業務内容・条件・特徴など	
国連ユースボランティアとして派遣される学生は、開発途上国の国連事務所、政府機関またはNGOなどに派遣されます。ウェブサイトやポスター作成などの広報活動やプロジェクト運営支援などを通して、教育、保健衛生、環境、ジェンダー、貧困削減などの活動に携わります。派遣期間は約5ヵ月間です。	
必要経費	1) 渡航期間中の本学への学費納入が必要です。 2) 派遣が確定した学生に対し、UNVから航空運賃、現地滞在費などの手当が支給されます。 3) 健康診断、予防接種、査証取得、海外旅行傷害保険など、プログラム参加準備に必要な費用及び事前研修参加時の交通費・宿泊費などの実費は自己負担になります。
科目・単位数	
学部生 「国連ユースボランティア実習」12単位 「国連ユースボランティア課題研究」4単位 （計16単位）	

派遣実績	
年 度	派遣先国
2014年度	ガーナ、カンボジア、サモア、タジキスタン、東ティモール、バングラデシュ、フィジー、フィリピン、ベトナム、モザンビーク、ラオス、ルワンダ
2015年度	インド、ウガンダ、エチオピア、カンボジア、ガーナ、サモア、ザンビア、スリランカ、タンザニア、東ティモール、フィジー、フィリピン、モザンビーク、モンゴル、ラオス、ルワンダ
2016年度	インドネシア、ウガンダ、エチオピア、カンボジア、サモア、ザンビア、ジンバブエ、スリランカ、タイ、タンザニア、バルバドス、東ティモール、ミャンマー、モザンビーク、モンゴル、ラオス、ルワンダ

※下線の国が関学生の派遣先です。





国際社会貢献活動 2018年度春学期・秋学期派遣 募集要項

募集・選考スケジュール

	2018年度春学期派遣	2018年度秋学期派遣
募 集 説 明 会	2017年4月20日(木)・21日(金)	2017年10月12日(木)・13日(金)
出 願 期 間	5月24日(水)～26日(金) 必要書類:①参加申込書 ②英語運用能力試験のスコア票の原本及びコピー	11月21日(火)～24日(金)
書類選考結果発表	6月9日(金)	12月1日(金)
面 接 選 考	6月17日(土)	12月9日(土)
面接選考結果発表	6月22日(木)	12月14日(木)



①NGO・教育機関等への派遣

募集人数	参加資格
各学期15名程度	
募集選考	1) 学部2年生の秋学期以降の派遣であること。 ※応募は1年生から可。 2) 学業成績が良好であること。 3) 開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。 4) 国際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を発揮できること。
主な業務内容・条件・特徴など	必要経費 1) 渡航期間中の本学への学費納入が必要です。 2) 派遣が決まった学生のうち、申請手続きを経て選ばれた者に対し、国際社会貢献活動奨学金30万円が支給されます。 ※国際学部の参加者には原則として上記の奨学金に代わり、国際学部留学奨励金が適用されます。 3) 各派遣者は、航空券、住居費、食費、交通費、査証取得関係費、海外旅行傷害保険費、予防接種費、健康診断などのボランティア派遣に必要な経費を個人負担します。
科目・単位数	
学部生 「国際社会貢献実習」12単位 「国際社会貢献課題研究」4単位 (計16単位)	

国際社会貢献活動 [NGO・教育機関等] 派遣先一覧(一例)

※派遣先は追加・削除されることがありますので必ず最新情報をP.50記載の国際教育・協力センターの国際ボランティアウェブサイトを確認してください。

国	派遣先機関／組織／事業	派遣先での主な業務内容・条件・特徴など
インドネシア	Satya Wacana Christian University (サティア・ワチャナ・キリスト教大学)	小学校や高校での日本語や日本文化の紹介
カンボジア	Joint Support Team for Angkor Preservation and Community Development (JST)	アンコールワット周辺のツアー企画・営業・広報活動 中学校等での日本語授業
	カンボジア日本人材開発センター (CJCC)	ウェブサイト等での活動情報発信 ビジネス関連の研修やセミナーのサポート
ドイツ	ドイツ国際平和村	施設に入所している子どもたちの日常生活の世話 子どもたちやスタッフと会話できる程度のドイツ語能力要
ベトナム	ベトナム日本人材協力センター (VJCC)	文化交流促進、日本語教育の補助
マレーシア	Universiti Tunku Abdul Rahman (UTAR)	現地コミュニティにおける調査や日本語や日本文化の紹介 大学での教育プログラムの調整
	Malaysian Nature Society (MNS)	環境保全に関するツアーの準備と実施 ウェブサイト等の更新
ラオス	ラオス日本センター (LJI)	ビジネス事業や交流事業の企画・立案・運営 広報事業に関するIT (SNS) に係る事業の補助

- ・派遣先での業務内容は現地情勢や受入体制などにより変更される場合があります。
- ・各派遣先へは同時期に1名以上の派遣になる場合があります。

②国際協力機構 (JICA) 青年海外協力隊 (JOCV) 短期派遣

国際協力機構 (JICA) は、日本の政府開発援助 (ODA) を一元的に実施する機関であり、開発途上国が抱える課題解決を支援しています。青年海外協力隊事業 (JOCV) は、JICAが実施する日本の代表的なボランティアプログラムです。JICAと関西学院大学が連携実施するスリランカでのプロジェクトに青年海外協力隊員として派遣されます。



募集人数	参加資格
3名程度(秋学期派遣のみ)	1) 各種球技、陸上などを含むスポーツ競技経験(5年以上)を有すること。スポーツ指導経験があると望ましい。 2) 日本体育協会公認スポーツ指導者のいずれかの資格所持及び消防本部による「普通救命講習」を受講・修了していることが望ましい。 3) 派遣時に学部2年生以上であり、JICAの青年海外協力隊募集期間終了時現在で20歳に達していること。 4) 学業成績が良好であること。 5) 日本国籍を有していること。 6) 5年以内に取得した英語運用能力試験の証明書 (TOEFL®/TOEIC®スコア、英検など) を提出できること。 7) 開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。 8) 国際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を発揮できること。
募集選考	1次(書類)及び2次(面接)による学内選考が実施されます。学内選考通過後、JICAによる選考(書類選考、面接など)を経て、正式に派遣が決定します。
主な業務内容・条件・特徴など	派遣国はスリランカです。派遣学生は、体育指導隊員として現地住民の健康増進プロジェクトに関する活動に従事します。派遣期間は秋学期のうち約5か月間です。
科目・単位数	
学部生 「国際社会貢献実習」12単位 「国際社会貢献課題研究」4単位 (計16単位)	必要経費 1) 渡航期間中の本学への学費納入が必要です。 2) 渡航に関わる経費についてはJICAより補助があります。

③赤十字国際委員会 (ICRC) 派遣

赤十字国際委員会 (ICRC) は、戦争や武力紛争の犠牲を強いられた人々に対して人道的保護と支援を行う、公平にして中立、かつ独立した国際機関です。世界中の主な紛争地域で活動を行うほか、平時においても世界中に国際人道法を広める活動を行っており、戦争や暴力を発端とする非人道的な行為を抑制、禁止し、一人でも多くの人間の尊厳が守られるよう活動しています。



募集人数	参加資格
各学期若干名	1) 学部2年生の秋学期以降の参加であること。 ※応募は1年生から可。 2) 学業成績が良好であること。 3) 派遣者選考時に TOEFL ITP®500 点 (TOEFL iBT®61 点、もしくは IELTS5.0 点、TOEIC®630 点) 相当の英語力を有することが望ましい。 4) 開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。 5) 国際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を発揮できること。
募集選考	1次(書類)及び2次(面接)による学内選考が実施されます。学内選考通過後、ICRCによる選考(英文履歴書・英文エッセイ審査、電話インタビューなど)を経て、正式に派遣が決定します。
主な業務内容・条件・特徴など	オーストラリア(キャンベラ)などのICRC事務所にて、人道援助に関わるリサーチや書類の作成、イベント運営などを行います。リサーチスキルと高い英語力(特にリーディング、ライティング)が求められます。派遣期間は各学期のうち約5か月間です。
科目・単位数	
学部生 「国際社会貢献実習」12単位 「国際社会貢献課題研究」4単位 (計16単位)	必要経費 1) 渡航期間中の本学への学費納入が必要です。 2) 派遣が決まった学生のうち、申請手続きを経て選ばれた者に対し、国際社会貢献活動奨学金30万円が支給されます。 ※国際学部の参加者には原則として上記の奨学金に代わり、国際学部留学奨励金が適用されます。 3) 各派遣者は、航空券、現地滞在費(派遣地により異なる:オーストラリアの場合80万円程度)、査証取得関係費、海外旅行傷害保険費、予防接種費、健康診断などのボランティア派遣に必要な経費を個人負担します。



国際ボランティア 履修が望まれる科目

国際ボランティアへの参加を目指すには、国際協力や開発についての基本的な知識を身に付けたり、途上国の現場で学ぶための導入的プログラム「海外フィールドワーク」に参加するなど、計画的な履修が必要です。さらに、各派遣先が必要とされる語学やICTスキルなども必要に応じて習得してください。また、派遣前に少なくとも以下の科目を履修しておくことをお勧めします。事前申込が必要な科目も含まれますので、「履修心得」を参照のうえ、受付期間内に手続を行ってください。

科 目 名		
世界市民論 国際情報分析 グローバルゼミA・B	教育開発論 国際平和構築論 国際環境論	プロジェクトマネジメントⅠ・Ⅱ 海外フィールドワーク International Politics and Economy A・B

国際ボランティア よくある質問 (FAQ)

Q1	英語力はどのぐらい必要ですか？
A1	応募時に英語の成績は問いません (TOEFL®、TOEIC®などの英語能力を証明する書類の提出は必要です) が、派遣先での業務遂行が可能なレベルの英語力が求められます。派遣先によって求められる英語能力及びその他の外国語能力は異なりますので、CIECのウェブサイトに掲載されている各派遣先の業務指示書などで確認してください。なお、国連ユースボランティアと国際社会貢献活動 (赤十字国際委員会(ICRC)) については、TOEFL ITP®500点以上の英語力が求められます。
Q2	派遣国の言語は必要ですか？
A2	派遣国の言語が話せることは選考及び活動するうえで有利です。しかし、派遣国の言語ができなくても、英語能力を証明する書類があれば応募することは可能です。なお、ドイツ国際平和村での活動は、業務遂行に最低限必要な中級程度のドイツ語能力が必須です。
Q3	事前に「履修が望まれる科目」を履修していませんが、応募できますか？
A3	事前の「履修が望まれる科目」の履修は、応募にあたっての必須条件ではありませんが、派遣先で活動するにあたって有益です。計画的に履修のうえ、出願することをお勧めします。
Q4	海外ボランティアの経験が全くないのですが、参加は可能ですか？
A4	本プログラム参加にあたっては、2週間以上の開発途上国渡航経験があることが望ましいです。途上国経験がない方は、「海外フィールドワーク(P.31参照)」を事前に履修しておくことをお勧めします。
Q5	派遣中に日本に一時帰国することはできますか？
A5	5ヵ月間の派遣期間中の一時帰国は認められません。派遣期間中は現地での活動に専念してください。
Q6	休学して国際ボランティアに参加することはできますか？
A6	本プログラムは授業科目であり、休学して参加することはできません。また、渡航期間中は学費納入が必要です。
Q7	大学院生は国際ボランティアプログラムに参加できますか？
A7	「国連ユースボランティア」は対象を学部生に限定しています。「国際社会貢献活動」に参加を希望する場合は、必ず事前に国際教育・協力センターにご相談ください。

⚠ 国際ボランティア参加にあたっての注意点 (重要)

- ・ 学部科目の履修 (通年科目など) に影響が出る可能性がありますので、出願前に卒業までの履修計画を所属学部事務室などに必ず相談してください。
- ・ 本プログラムは5ヵ月間海外で活動をする必要があることを十分理解し、就職活動への影響なども十分に考慮したうえで応募してください。原則として、応募してから辞退は認められません。
- ・ 次の場合は派遣が中止になる可能性があります。
  - 大学または派遣先機関が指定する健康診断の結果、活動に耐えうる健康状態ではないと判断された場合 (受診費用は自己負担)
  - 派遣候補者の能力が十分ではないと判断された場合
  - 受入機関の要請と派遣候補者の適性が不適合であると判断された場合
  - 派遣先の治安悪化などにより派遣に危険が伴う可能性がある場合と判断された場合
  - その他の事情で派遣が困難であると判断された場合
- ・ 派遣候補者となった後は、査証取得などの渡航準備、オリエンテーションや派遣前の事前研修が予定されています (参加必須)。渡航前は渡航準備への専念が必要であることを承知のうえ、応募するようにしてください。原則、出発2ヵ月前の海外渡航は避けてください。
- ・ 選考時及び本プログラムで派遣される期間の直前・直後に他の留学プログラムへの参加を検討している場合は、手続きや事前事後研修プログラムに影響が出る可能性がありますので、出願前に必ず国際教育・協力センターへ相談してください。
- ・ P.9「出願手続き手順」も必ず確認してください。
- ・ 事前研修などの講義及び派遣手続きは日本語で実施されるため、日本語での意思疎通が十分にできることが必須です。

学生の声

国連ユースボランティア

**今井 絢一** 社会学部3年 (参加時)

派遣先: UNV / ザンビア 派遣時期: 2016年度秋学期

●なぜプログラムに参加しようと思ったのですか？

小学生の時に米を作ってザンビアに送るというイベントに関わった際に日本とは大きくかけ離れたザンビアの現実に衝撃を受け、将来は国連のような国境を超えて社会に貢献できる組織で様々な問題に苦しむ人々を支えたいと漠然と思うようになりました。

●プログラム期間中に印象的だった出来事

国連組織に関わる重要なイベントにカメラマンとして参加したことです。普段は撮影が許可されない国会での演説やザンビアの大統領を近距離で撮影しました。


●参加して得たものは？

主に2つあります。1つ目は、1日8時間以上も続くことがある停電や

断水という厳しい生活環境でも工夫すればなんとか生きていけるという自信を得ました。2つ目は、国連という実力主義の環境で働く機会に恵まれ、様々な背景を持つ人々と共に働く基礎的なスキルが身につきました。これは社会に出てからも必ず役に立つものだと思います。

●これから参加を考えている人へのアドバイス・メッセージ

私は高校生活を水球に捧げ、入学当時、必須とされる英語やICTスキルが全く身に付いていませんでした。1年生の時から計画を立て、能力の向上を着実に図ることで3年次に参加することができました。どれだけ厳しくても必死に進み続ければ想い描いた世界は必ず現実に変わり始めると思います。様々な高い壁があってもそれを受け入れて乗り越えていってください! 応援しています!



国際社会貢献活動

**田中 真帆** 総合政策学部3年 (参加時)

派遣先: サラワク州観光局 Sarawak Tourism Board (STB) / マレーシア 派遣時期: 2016年度春学期

●なぜプログラムに参加しようと思ったのですか？

きっかけはバヌアツでのホームステイです。決して裕福ではないけれど笑顔溢れる生活を送る人々に、いつか貢献したいと思うようになりました。「誰かのために、何かのために、全力を尽くすこと」が「貢献」であるという答えが出て、これを自分の目標にしました。そしてこのプログラムが最適だと思い、参加しました。

●プログラム期間中に印象的だった出来事


メインイベントのRainforest World Music Festival開催に向けた運営が最も大変でした。毎日こつこつと準備を進めても、やるべきことは山積みで、イベントを作り上げることの難しさを知りました。帰国の際、「インターン生ではなく、スタッフの1人だと思って信頼していたよ」と上司に言われ、少なからず「貢献」できたと思いました。

●参加して得たものは？

最も大きな収穫はビジネス英語です。初めての電話対応やメールで苦戦しましたが、上司のアドバイスや自分なりの学習で乗り越えました。また、様々な民族の方とのコミュニケーションです。お互いの宗教や文化を尊重・理解されていて、本当の意味での多民族社会が成り立っているのだと感じました。

●これから参加を考えている人へのアドバイス・メッセージ

迷うならやってみたらいいと思います。関学には、留学をサポートして下さる方やアドバイスして下さる先輩がいて、制度や体制も整っています。自分の思い描いていること、目指しているものを口に出してみてください。それが実現につながるはずですよ! 応援しています!



国際ボランティア担当教員によるサポート

国際ボランティアがどのようなプログラムを知りたい方、参加したいが何から始めてよいかわからない方、国際協力の世界を学んでみたい方を対象に、担当教員から直接、相談や指導を受けられる場所や機会を設けています。どなたでもお気軽にお越しください。



国際協力事業室  
〔西宮上ヶ原キャンパス G号館1階〕



コース学習ルーム  
〔西宮上ヶ原キャンパス G号館1階〕



勉強会・相談会  
〔神戸三田キャンパス アカデミックコモンズ2階 ミーティングルームほか〕

※実施時間が限られていますので、スケジュールなどの最新情報をCIECのウェブサイトにてご確認ください。

担当教員からのメッセージ



山田 好一 国際教育・協力センター教授

国際支援などに関心のある学生が学部や学年に関係なく多く集結し、G号館1階「コース学習ルーム」及び「国際協力事業室」は、毎日活気に溢れています。また、2015年度からは神戸三田キャンパスでも「勉強会・相談会」を開始しました。学生の自主的な勉強や相談の場・語らいの場であり、教員が常駐していることから教員との学習相談や進路相談、学生同士のフランクな情報交換が頻繁に行われています。今まで聞いた事のないような、新鮮な情報がやり取りされ、学生にとって刺激的で自分を見つめ直し、学ぶべき方向性をつかむきっかけとなっています。



4-1 学部・研究科等で実施する留学プログラム

各学部・研究科等で以下の留学プログラムが実施される予定です。実施内容、応募資格、奨学金の有無や内容等、プログラムの詳細については、プログラム提供学部へお問い合わせください。

学部提供 海外派遣プログラム ～海外で学ぶ～

学 部	プログラム名	実施国・地域	協定大学名又は実施機関名	開催時期・期間	募集定員	プログラム概要
文学部	ドイツ語中期留学	ドイツ	レーゲンスブルク大学	3月上旬～7月下旬	10名	1学期間のドイツ語集中学習
法学部	中国人民大学法学院交換留学プログラム	中国	中国人民大学法学院	2月中旬～8月 8月中旬～2月	4名	半年～1年間の交換留学プログラム
	法学・政治学グローバル演習C	中国	中国人民大学法学院	3月（約1週間）	12名	事前研究、現地学生とのディスカッション、現地法律事務所訪問など
	法学・政治学グローバル演習C	台湾	長栄大学	3月（約1週間）	約10名	事前研究、現地学生とのディスカッション等
経済学部	海外学習活動ベトナム インターンシップ	ベトナム	ホーチミンハノイ	2～3月（約1ヵ月）	20名	「ビジネスの現場」で必要なスキルや知識を、実践から学ぶインターンシッププログラム
	海外学習活動吉林大学	中国	吉林大学	10月中旬	約20～30名	東アジア経済諸問題について討議するグルーブワーク、日中学生の交流や企業見学など
商学部	ビジネスに活かせる海外短期研修プログラム	カナダ	ランガラ・カレッジ	3月中旬～3月下旬 （約2週間）	30名	初級の日常英会話+ビジネスセミナー
	ビジネスに活かせる海外短期研修プログラム	オーストラリア	西オーストラリア大学	2月中旬～3月中旬 （約5週間）	10名	レベル別英語研修プログラム
	ビジネスに活かせる海外短期研修プログラム	アメリカ	サンディエゴ州立大学	2月下旬～3月下旬 （約4週間）	10名	レベル別英語研修プログラム
	ビジネスに活かせる海外短期研修プログラム	フィリピン	ピサヤ大学	2月中旬～3月中旬 （3週間又は4週間）	各10名	マンツーマンレッスンを中心としたセブ島英語研修
理工学部	海外理工学プログラムA～ グローバル人材・企業体感プログラム in シリコンバレー	アメリカ	シリコンバレーの複数企業等	9月初旬（約1週間）	20名	シリコンバレーのIT企業を訪問する研修型プログラム
	海外理工学プログラムB～ Marine Biology & Coral Study	インドネシア	ウダヤナ大学	3月（約1週間）	12名	バリ島の大学で、磯生物の観察やウニの発生について実験を通して学ぶ
	海外理工学プログラムB～ Introduction to Scientific Diving	インドネシア	ディボネゴロ大学	9月（約1週間）	10名	離島の国立公園で、ダイビング免許を取得し、サンゴ礁等海洋生物の観察を通し、南方海域の生態系を学ぶ
	海外理工学プログラムB～ Geoscience Program	台湾	国立台湾師範大学	3月（約1週間）	20名	現地講師講義、フィールドワークで台湾の地質や自然環境について学ぶ
	海外理工学プログラムB～ English for Science and Technology	アメリカ	カリフォルニア大学デビス校	①8月～9月 （約1ヵ月） ②2月～3月 （約1ヵ月）	各10名	理系英語に特化した英語研修プログラム
総合政策学部	ソノマ州立大学英語研修& フィールドワーク	アメリカ	ソノマ州立大学	1月末～2月下旬 （約4週間）	10名	英語研修+地域コミュニティでのテーマ別フィールドワーク
人間福祉学部	社会起業英語中期留学	カナダ	クイーンズ大学	5月～8月 （約12週間）	15名程度	12週間集中的にアカデミックな英語を学ぶプログラム
	社会起業フィールドワーク	タイ	アサンブション大学、 現地のNPO・NGO団体	2月中旬～2月下旬 （約2週間）	15名程度	途上国の社会問題や開発の多様な側面を理解すると同時に、海外におけるフィールドワークの技法と実践を学ぶ
	人間福祉グローバル演習	アメリカ	アデルファイ大学	8月初旬～8月中旬 （約10日間）	15名	事前授業+協定校アデルファイ大学での海外演習+実習現場体験
	人間福祉グローバル演習	コロンビア	アンティオキア大学	2月中旬 （約1週間）	10名	非営利団体や大学教員らの地域での活動を視察し、問題解決に携わる人々との交流を行う
	社会起業インターンシップ	イギリス、フィリピン他	ノーザンプトン大学、 現地のNPO・NGO団体	8月～9月（約6週間）	若干名	海外のソーシャルワークサービス関連の専門機関やNGOにおいてインターンシップを行う
教育学部	US”アシスタントティーチャー”ボランティア	アメリカ	ロサンゼルス郊外の公立小学校、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校	2月中旬～3月上旬 （約2週間）	約20～30名	米国の初等教育について大学で受講、米国公立小学校校でのボランティア活動を通じて、多様な教育のあり方を理解する

学 部	プログラム名	実施国・地域	協定大学名又は実施機関名	開催時期・期間	募集定員	プログラム概要
国際学部	英語中期留学HWI	アメリカ	ハワイ大学マノア校	8月～12月(約4ヵ月) 又は 8月～3月(約7ヵ月)	20～30名	4ヵ月または7ヵ月の英語集中学習
	英語中期留学プラス			8月～5月(約9ヵ月)	若干名	ハワイ大学英語中期留学+学部授業履修プログラム
	中国語中期留学(北京)	中国	北京第二外国語学院	8月～1月(約5ヵ月)	15名	北京で学ぶ5ヵ月の中国語集中学習
	中国語中期留学(台湾)	台湾	国立台湾師範大学国語教学センター	9月～2月(約6ヵ月)	15名	台湾で学ぶ6ヵ月の中国語集中学習
	中国語中期留学(台湾)プラス			9月～6月(約10ヵ月)	若干名	台湾師範大学での中期留学+学部授業履修プログラム
	朝鮮語中期留学	韓国	延世大学韓国語学堂	8月～2月(約6ヵ月)	15名	韓国・ソウルで学ぶ6ヵ月の朝鮮語集中学習
	Introduction to ASEAN: Society, Economy, and Politics B	インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム	パジャジャラン大学、マラヤ大学、アサンブション大学、ベトナム商業大学	未定	20名	ASEAN4カ国で学生交流や企業訪問を行う、地域理解プログラム
言語教育研究センター	Introduction to Business in Asia: Innovation, Leadership, and Strategy	台湾	国立台湾大学管理学院	3月（約3週間）	未定	経営経済の講義「The NTU Integrated Course in Innovation, Entrepreneurship & Sustainability」を受講
	ドイツ語海外研修	ドイツ	ブレーメン大学	8月（約4週間）	15名	ドイツ語集中学習
	フランス語海外研修		デュッセルドルフ大学	8月中旬～9月上旬 （約4週間）	10名	ドイツ語集中学習+フィールドワーク
		フランス	フランシュ・コンテ大学	8月（約4週間）	25名	フランス語集中学習

学部提供 融合（フュージョン）プログラム ～日本にしながら、海外の学生と共に学ぶ～

学 部	プログラム名	実施場所	実施・協力機関名	開催時期・期間	募集定員	概要
神学部	Theology in Dialogue	大阪梅田キャンパス及び京都市内	日本キリスト教協議会（NCC）宗教研究所	秋学期 （10月～12月初旬）	5名程度	ドイツ・スイスの学生と共にフィールドワーク等を通じて『宗教間対話』について学ぶ
文学部	東アジア文化交流セミナー	西宮上ヶ原キャンパス	蘇州大学	3月上旬	10名	「日中文化交流史」という枠組みの中で、学生同士の交流・学習
社会学部	比較社会演習B	西宮上ヶ原キャンパス	国立高雄第一科技大学	9月（約1週間）	約10名	台湾で日本語を学ぶ学生と共に、ディスカッションやフィールドワーク、グループ発表を行うプログラム
人間福祉学部	Human Welfare and International Development	西宮上ヶ原キャンパス	関西学院大学 （学内に在籍する留学生との交流）	秋学期	15～20名程度	人間福祉（Human Welfare）と国際開発（International Development）は不可分の関係にあることを念頭に、貧困や紛争、経済発展と国際支援という場における、人間の幸福を考える
国際学部	Introduction to ASEAN: Society, Economy, and Politics A	西宮上ヶ原キャンパス	アサンブション大学、パジャジャラン大学、マラヤ大学、ベトナム商業大学	8月(未定)	40名	本学及びASEAN協定大学からの研究者ほか、ASEAN各国の在阪総領事館などから講師陣を招くASEAN理解プログラム

ダブルディグリー留学 ～関学に在籍しながら、海外の大学に留学し、大学間の相互単位認定により、二つの大学の学位取得ができる制度～

学部 研究科	プログラム名	大学 所在地	大学の特色	留学期間	募集定員	学費について
社会学部／商学部／国際学部	マウント・アリソン大学 ダブルディグリー留学 Mount Allison University	カナダ サックビル市	質の高いリベラルアーツ型の教育でカナダNo.1にランクされているカナダ東部の小規模大学	2年次の9月から約2.5年	若干名	派遣1年目は本学学費納付による相殺のため不要、2年目以降は留学先学費の支払いが必要となるが、留学期間中、関学の学費は年額5万円の減額される
経済学部	リール第1大学ダブルディグリー留学 Lille 1 University	フランス リール市	理工及び社会科学分野に強いフランス北部に所在する総合大学	2年次の9月から約1年	2名以内	留学先学費は本学学費納付による相殺のため不要
国際学部	クイーンズランド大学 ダブルディグリー留学 Queensland University	オーストラリア ブリスベン市	オーストラリアの名門大学Group of 8の創立メンバー、世界ランクの高い国際色豊かな総合大学	2年次の2月から約1.5～2年	若干名	留学先学費の支払いが必要となるが、留学期間中、関学の学費は年額5万円の減額される
言語コミュニケーション文化研究科	スターリング大学 ダブルディグリー留学 University of Stirling	イギリス スターリング市	世界の大学ランキングでトップクラスに入る英国スコットランドの総合大学	1年次の9月から約1年	若干名	留学先学費の支払いが必要となるが、留学期間中、関学の学費は年額5万円の減額される

※上記内容は2017年2月中旬現在の予定ですので、今後変更になる可能性があります。

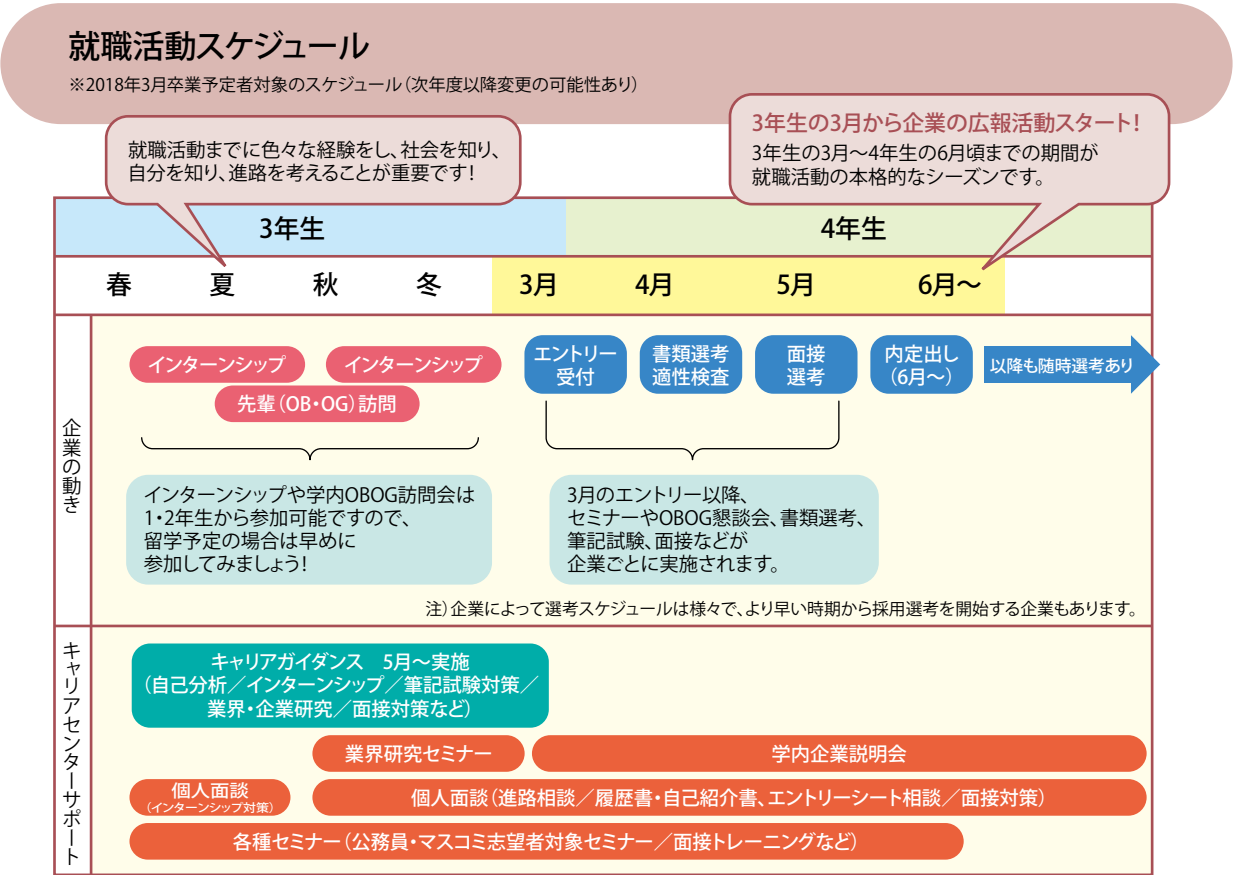


4-2 就職活動×留学

留学をする前に

貴重な留学期間を充実させるために、留学前から留学先での生活を具体的にイメージし、計画を立てましょう！

- 留学の目標・目的をしっかりと考える。
  - ・日本経済団体連合会が企業に実施しているアンケートで、新卒採用選考で重視する点は、トップから順に「コミュニケーション能力」「主体性」「チャレンジ精神」「協調性」となっています。この上位4項目は過去10年間変わっていません。  
→まさに留学はこれらの能力を鍛えるチャンスです。
- 就職活動のスケジュールをチェック！
  - ・就職活動は3年生終盤の3月から本格的にスタートします。詳細は下の「就職活動スケジュール」を確認してください。
  - ・3年生の3月から4年生の6月にかけてが就職活動の本格的なシーズンです。これにより留学期間を変更したり、諦めたりする方もいるかもしれません。実際、この時期に日本にいないことで、応募できない企業もありますが、最近は留学経験のある学生対象に秋採用を実施したり、年間を通して採用活動をしたりしている企業も増えてきています。就職活動に対する事前の情報収集は重要ですが、留学は学生時代だからこそできる経験です。就職活動を意識しすぎることなく、興味のあることには、積極的に挑戦してみてください。そういった経験を経て、将来どのように働いていきたいのか考え、あなたに合った就職活動をすることが重要です。



留学中

留学生生活を満喫し、しっかりと勉強して、勉強以外にも色々なことを経験してきてください！

- 留学前に立てた目標や目的は忘れずに、目標や計画は必要に応じて変更し、色々なことに挑戦する
- 現地での生活や感じたこと、考えていたことを記録しておく(日記など…)
  - ・新しい環境での生活ではその時々困難なこと、感じることや考えることがあるはず。それを書き留めておくことで、自分自身を振り返り、キャリアプランを立てる際にも役立ちます。
- 現地の学生や社会人、他国からの留学生と積極的に交流し、その国の文化や価値観、ビジネスについて理解を深める
  - ・留学先だけでなく、様々な国の学生や人々と交流し、異文化理解を深めるチャンスを活かしましょう！
- 留学先で働く関学OBOGや日本人の方に話を聞く、インターンシップに参加する
  - ・海外で活躍されている方に直接お話を聞けるチャンスです。日本での就職を考えている場合でも、社会人の方のお話を聞くことはいい経験になります。
- 帰国直前もしくは帰国直後の語学力を形に残せるよう準備する(語学試験の申込など)

就職活動時期に重なって留学する場合

- インターネットを通じて、就職活動の情報を集める
  - ・キャリアセンターでは教学Webサービス「キャリア」タブの「お知らせ」や「KGキャリアナビ」より、3年生・M1対象のキャリアガイダンスや企業セミナーなど(左記就職活動スケジュール参照)の動画を配信しています。
  - ・業界研究や企業研究は、インターネットでも可能です。また、本を購入し、持っていくのもひとつです。
  - ・海外からでもWeb上でのエントリーは可能な場合もあり、就活情報サイトを見ておくといいでしょう。
- 筆記試験対策を行う(SPIなど)
  - ・教学Webサービス内の「SMART SPI」からWeb上で筆記試験対策を行うことができます。また、留学先に筆記試験対策の本を一冊持って行くこともおすすめです。

留学後

留学中に経験したことを振り返り、自分自身への理解を深めましょう。これからどのように大学生活を過ごしていくか、人生を送っていくか、目標や計画を考えてみましょう。

- 留学前、留学中に考えていたこと、今考えていることを比較し、これからの行動計画を考えましょう
  - ・帰国後は様々な手続き等で忙しくなりますが、一度ゆっくり振り返る時間を作ってみましょう。自分への新たな発見があるはずです。

就職活動時期に重なって留学した場合／帰国後すぐ就職活動を始める場合

- キャリアセンターに来てください！
  - ・留学期間中に実施したキャリアガイダンス等の資料をお渡しするとともに、今後の就職活動を進め方について個別にお話しします。
- 留学経験者向けの説明会に参加する
  - ・大きなものとしては、Career Forum(ディスコ)、マイナビ国際派就職EXPOがあります。詳細はHP等で確認してください。

Career Forum (2016年度実績)	◆東京(6月、12月に実施) ◆大阪(6月実施) ◆For Exchange Students【東京】(7月実施)
マイナビ国際派就職EXPO (2017年度開催予定)	◆東京:6月17日(土)・18日(日) 東京ビックサイト ◆大阪:6月15日(木) 梅田スカイビル

キャリアセンターからのメッセージ

「留学に行くと就職に有利」、こう考えている学生は多いかもしれませんが、就職活動の際には、多くの学生が留学経験をPRする傾向が高まっており、留学で得たこと・学んだこととして「語学力向上」、「海外での生活経験」だけでは十分ではありません。2014年度には8万人を超える学生が日本から海外へ留学しています。しっかりと「留学で学びたいこと」や「身につけたい力」など、目的を持って留学しましょう。納得して進路を選択するためには、充実した大学生活を送ることが重要です。迷っている場合はぜひ挑戦を！

よくある質問(FAQ)


Q1	留学に行きたいので、卒業を1年(1学期)遅らせて卒業しようと思いますが、就職に不利ですか？
A1	しっかりと目的・目標を持って大学生活を過ごし、充実した留学生活を送っていれば、むしろ就職活動には強みになります。学費の負担は多くなってしまいますが、長い目で考え、卒業を延期するのも選択肢のひとつです。また、春学期(9月)卒業の場合、ほとんどの企業がその年度の3月卒業生と同じ扱いをするとキャリアセンターでは認識しています。
Q2	留学後すぐに卒業し、既卒として就職活動することもできますか？
A2	新卒対象の採用活動は多くの企業が実施されていますが、既卒や第二新卒対象に採用活動を行う企業は残念ながらそこまで多くありません。もちろん、志望企業が採用活動をしている可能性もありますし、留学先での出会い等でチャンスを得ることもあります。みなさんそれぞれにとって、理想の進路、就職活動というのは異なります。事前の準備や情報収集をしっかりと行い、計画的に将来のプランを考えていく必要があります。
Q3	英語(外国語)を使う仕事、もしくは海外で働きたいです。どういった業界・企業がいいですか？
A3	現在、様々な企業が海外進出、海外との取引を行っています。将来の仕事を考える際に「英語(外国語)を使う、海外で働く」という視点だけではなく、さらに掘り下げてどういった仕事をしたいのかを考えて業界・企業を選んでみましょう。英語(外国語)＝外資系と考える方もいますが、外資系やすでに海外進出をされている企業には外国語のできる方、ネイティブの方が多く働いている可能性が高いです。その中で、その企業の専門的な知識を備えつつ、即戦力となれるレベルの英語(外国語)力を身につけるのは、難しいのが実情です。英語(外国語)力＋αの強みを活かし、大きい視点でライフプランを考えていきましょう。これから海外進出するような企業も面白いかもしれません。



4-3 教職×留学

教育職員免許状取得(教職)と海外留学を考えている皆さんは、1年生から計画的に履修計画を考えていく必要があります。留学に参加するためには、①学部での履修計画、②教職の制度やスケジュールの確認、③留学プログラムの理解が必要です。①～③を十分に理解した上で、留学に行くことができるのか、どの留学プログラムに参加するのか、また行かないいつ、どのくらいの期間で行くのか等、各自で大学生活の計画を立てていきましょう。

- ①学部での履修計画 まずは、所属学部のカリキュラムを理解し、大学生活の大まかな履修計画を立てましょう。
- ②教職の制度やスケジュールの確認 大学生活の計画をできるだけ早い段階で立てることが重要です。黄色は、教職課程の特に重要なスケジュールです。

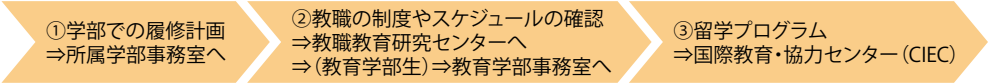
	1年	2年	3年	4年
4月		春学期に中期プログラム・交換留学に参加？	・介護等体験事前指導(前期) ★教育実習オリエンテーションⅠ	・教育実習第2次登録 ・教育実習事前講義(4月～5月の土曜日)
5月			★教育実習学校への内諾依頼訪問	
6月		例えば ・英語中期留学 ・国際社会貢献活動 ・交換留学	★介護等体験説明会(後期)	
7月				
8月	夏休みを利用して短期プログラムに参加？	夏休みを利用して短期プログラムに参加？		・実習校での実習(実習時期は実習校によるが、5月～7月、9月が多い。)
9月	例えば ・外国語研修 ・海外フィールドワーク ・短期海外インターンシップ	例えば ・外国語研修 ・海外フィールドワーク ・国連セミナー ・短期海外インターンシップ	★教育実習オリエンテーションⅡ ★教育実習第1次登録 ・介護等体験事前指導(後期)	
10月		秋学期に中期プログラムor交換留学に参加？		
11月			★介護等体験説明会(前期)	・教育実習事後講義
12月		例えば ・英語中期留学 ・フランス語中期留学 ・国連ユースボランティア ・国際社会貢献活動 ・交換留学		
1月				
2月	春休みを利用して短期プログラムに参加？	春休みを利用して短期プログラムに参加？	1年生、2年生の間に留学に行けるように計画を立てよう！ 	
3月	例えば ・外国語研修 ・海外フィールドワーク ・Cross-Cultural College	例えば ・外国語研修 ・海外フィールドワーク ・Cross-Cultural College		
注意点	・1年生、2年生の間に履修可能な必要単位を修得。 ★印：留学の場合は事前に所定の手続きを行うことで代理人への委任が可能		・3年生秋学期終了時までに、教育実習の先修条件を満たしておく。 ・先修条件の中には3年生からしか履修できない「〇〇科教育法」があるので注意が必要。 ★印：留学の場合は事前に所定の手続きを行うことで代理人への委任が可能	・4年生秋学期終了までに免許に必要な単位を修得。 ・4年間で教員免許取得を目指す場合は、4年生での1セメスター以上の留学は不可。 ・教育実習(実習校での実習)の時期の希望申込みは不可。 ・中学校免許を取得希望の学生は、介護等体験を行わなければならない(3～4年生)。

※スケジュール等は、現時点でのもので今後変更される場合もあります。最新のスケジュールは、必ず各自で確認を行ってください。

- ③留学プログラムの理解 留学プログラムといっても短期のものから中長期のものまで、期間も目的もさまざまです。まずは募集説明会に参加し、それぞれのプログラムの内容を理解しましょう。

- ・短期プログラム:夏休み、春休みに実施されるプログラム(外国語研修、Cross-Cultural College、短期海外インターンシップ、海外フィールドワーク、国連セミナー、インドネシア交流セミナー)
- ・中期プログラム:春学期、秋学期に実施されるプログラム(英語中期留学、中期海外インターンシップ、フランス語中期留学、国連ユースボランティア、国際社会貢献活動)
- ・中長期プログラム(交換留学、認定留学、ダブルディグリー留学)

不明点があればこちらで相談をしましょう。手続きに漏れないように各自で最新の情報を取るようにしてください。



学生の声

**漆山那津美** 社会学部3年(参加時)

取得免許状: 中学社会・高校地歴公民  
参加プログラム: 英語中期留学(ネブラスカ大学オマハ校)

●どのように教職と留学を両立させたか  
私は、中学生の頃から教師になりたいと考えていました。また、高校時代の海外経験があり留学に興味があったことや、せっかく留学制度が充実している関学に入学したのだから、留学には行ってみたいと考えていました。しかし、教職と留学の両立は、教職のオリエンテーションや先輩学生からも難しいと言われていたので、最初は留学に行く事を諦めかけていました。しかし、学部事務室、CIEC事務室、教職教育研究センター事務室に相談に行くと、これまで知らなかった手続きや制度について教えてもらい、そのうちに留学期間や留学のタイミングによっては、教職と留学の両立ができることに気づきました。職員の方々との相談の結果、私は1年間の留学は厳しいことが分かったため、1学期間の留学を目指すことになりました。その中でも英語中期留学は、単に英語を学習するだけではなく、現地の学生とともに過ごすことができるなど、異文化に触れる時間が多い分、きっと将来の進路にも役に立つと思い計画を進めました。

●教職と留学を実現したい皆さんへのメッセージ  
私は、教職と留学の2つを実現できた学生生活にはとても満足しています。最初は諦めかけた留学も、教職と留学の手続きや制度を納得いくまできっちりと理解

4-4 国連・外交プログラム

国際公共分野で活躍するリーダーを目指す  
「国連・国際機関等へのゲートウェイ創設」構想  
Kwansei Gakuin United Nations & Foreign Affairs Studies

国際機関で働く、という選択。

“Mastery for Service”を体現する世界市民を育む”というミッションの下、「国連・国際機関へのゲートウェイ創設」を掲げ、国際機関や国際協力機関、外交分野への人材輩出に特化したプログラムを提供しています。

国際的な課題解決に取り組むグローバル・リーダーへの道に大学4年間を通じてあなたも挑戦してみませんか？



学部

2017年度入学生対象  
**大学副専攻「国連・外交プログラム」2017.4スタート!** **NEW**

将来、国連・国際機関職員や外交官など国際公共分野のリーダーを目指す学生の皆さんのための複数分野専攻制(MS)の特別プログラムです。国連・外交に関する専門分野の基礎知識を身に付け、「国連ユースボランティア」や「国際社会貢献活動」などの現地実習等を通じて、国際社会で貢献するためのコンピテンシーを身に付けます。また、実習後に大学院「国連・外交コース」での学びにつながる演習科目を履修することで、将来のキャリアに結びつけます。詳細は2017年度「複数分野専攻制への扉」をチェック!

国際的課題の解決力を養うカリキュラム

専門性の土台をつくる  
導入・学部関連科目  
外交・国際・経済統計・多様性・コミュニケーション  
etc. に関する科目

現場実践の経験をつむ  
派遣前・実践科目  
国連ユースボランティア・国際社会貢献活動・グローバルゼミ  
etc.

キャリアにつなげる  
派遣後科目  
Career Seminar for International Organizations

**4/6(木)**  
キャンパスライフABCで  
**説明会開催!**

大学院

**大学院副専攻「国連・外交コース」2017.4スタート!** **NEW**

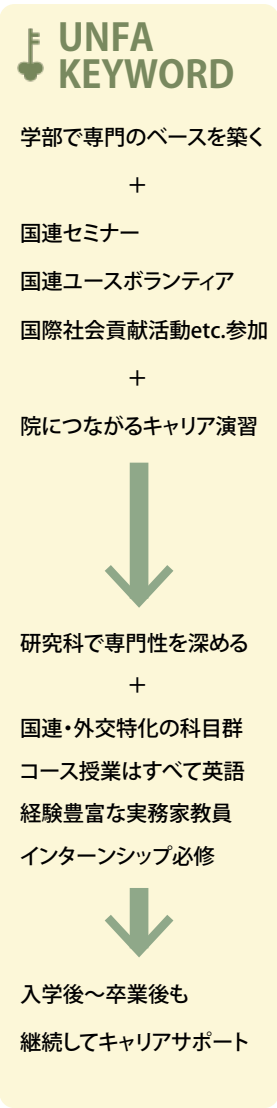
国連・国際機関職員になるには、一般的に大学院(修士)以上の高い専門性と語学力、そして専門分野の実務経験が必要になります。そこで、2017年4月に大学院博士課程前期課程(修士)および大学院専門職課程(専門職学位)の副専攻プログラムとして、大学院「国連・外交コース」を開設します。経験豊富な実務家教員が、全て英語・演習形式で授業を実施します。詳細はHPをチェック!

キャリア

**関学国際機関人事センター**(西宮上ヶ原キャンパス 大学院1号館3F)

大学入学後～大学院～修了後エントリーまでの長期のキャリアをサポートします。主に、キャリア・カウンセリング(受付中!)、キャリア・ガイダンス、採用募集情報の提供、キャリア・コーチングなどを行います。カウンセリングの申込方法は以下のホームページからご確認ください。

最新情報はホームページ、twitter、facebookからチェック!  
HP (<http://gap.kwansei.ac.jp/unfa/>), twitter (@kgccio), facebook ([www.facebook.com/kgccio](http://www.facebook.com/kgccio))



Q 関学 国連・外交

問い合わせ先: 関西学院大学 国連・外交統括センター (西宮上ヶ原キャンパス 大学院1号館3階)



# 5-1 世界市民へのステップアップ！ — おすすめの科目紹介 —

関西学院大学では留学を最大限活かすための留学前・留学後学習科目を多数開講しています。4年間の学習計画を立て、留学を中心に、事前事後学習も含めた一連のカリキュラムにより自己を確立させ、国際社会で通用する実践力を身につけましょう。

国際教育・協力センター (CIEC) 開講科目 履修までのステップ

国際教育・協力センター開講の事前申込が必要な科目を履修するには以下の手続きが必要になります。

step 1

履修に必要な英語スコアを取得

step 2

英語スコア表原本を、所定の期間内に国際教育・協力センターへ提出し、スコア登録を行う

step 3

Web申込期間に、履修したい科目を教学Webから申込

step 1

各科目の履修に必要な英語スコアを取得

以下の科目を履修するには各表にある英語スコア以上のスコアを取得する必要があります。

▼ English for Cross-Cultural Studies A・B

レベル	TOEIC®	TOEFL ITP®	TOEFL iBT®	IELTS	英検
Level 1	450点	450点	45点	4.0	2級
Level 2	550点	487点	57点	4.5	2級
Level 3	600点	507点	64点	5.0	準1級

▼ CCC Introduction to Multicultural Studies  
▼ CCC Introduction to International Relations  
▼ 総合日本学習科目 (詳細はP.65参照)

TOEIC®	TOEFL ITP®	TOEFL iBT®	IELTS	英検
680点	530点	71点	5.5	準1級

step 2

英語スコア表提出

学生証持参の上、英語スコア表原本を、所定期間内に国際教育・協力センターに提出してください。

受付は事務室開室時はいつでも行っていますが、履修する学期によって提出締切が以下のとおり異なります。

＜2017年度春学期履修用 締切＞ 2017年4月4日 (火) 16:50      ＜2017年度秋学期履修用 締切＞ 2017年9月8日 (金) 16:00

●受付窓口: 西宮上ヶ原キャンパス    **NUC** 国際教育・協力センター (G号館1階)  
神戸三田キャンパス    **KSC** 国際教育・協力センター (アカデミックコモンズ2階)

step 3

事前申込

下記期間に、履修したい科目を教学Webから申込むこと。クラス定員を超える申込者があった場合は、抽選を実施します。

申込科目のため、申込後の履修中止はできません。

申込期間

【春学期】 4/1 (土) 8:50－4/4 (火) 16:50    発表: 4/ 6 (木) 8:50  
【秋学期】 9/7 (木) 9:00－9/8 (金) 16:00    発表: 9/14 (木) 8:50

◆注意事項

(1) 申込手続きは受付期間内に行ってください。複数の手続きがある場合、すべての手続きを終えて完了になります。すべての手続きが完了していない場合は申込を受け付けません。

(2) 2017年1月6日以降は、言語教育研究センターとスコアを共有し、言語教育研究センター開講科目のスコア登録にも使用されます。

(3) 2015年度以降一度登録された英語スコアは在学中有効です。2014年度以前に登録されたスコアは一度無効となっているため、英語スコアが必要な科目の履修を希望する場合は必ず事務室にてスコア登録を行ってください。

(4) 申込科目の履修中止はできません。

◆集中科目の履修について (4年生)

・開講期が「集中」の科目は、当学期の卒業見込みである学生は履修できません。

・春学期集中科目: 2017年度春学期卒業 (9月卒業) 見込者は履修できません。

・秋学期集中科目: 2017年度秋学期卒業 (3月卒業) 見込者は履修できません。

※ただし、2017年度春学期・秋学期卒業見込者でCCCプログラムのCP登録者及び実践型“世界市民”育成プログラムコース登録者については個別に相談してください。

## ■各科目の申込方法について

申込A

P.62のステップ3のみの手続きが必要

申込B

P.62のステップ1～3全ての手続きが必要

言セン

言語教育研究センター開講科目: スコアの事前登録、教学Webでの申込が必要です。詳細は言語教育研究センター事務室 (G号館1階) へ問い合わせてください。

共通


共通教育センター開講科目: 履修心得、掲示等を確認して申込を行ってください。

その他、申込方法の記載がない科目については、通常の履修期間および修正期間に教学Webで履修登録をしてください。

科目ごとの表の見方です。履修したい科目の詳細をチェック!

Sample

■科目名 【開講言語】		申込方法	
単位数	履修基準年度	定員	履修要件
キャンパス、開講学期、曜日時限、履修条件、その他特記事項を記載しています。			



申込方法を確認し、以下の手続きに沿って申し込もう。科目の詳細はシラバスをチェック!!

## 1 留学実現へ英語力アップ

●留学に必要な英語力アップを目指そう!

留学するためには、英語力を飛躍的に向上させる必要があります。ここでは、英語力をアップさせたい皆さんに、おすすめの科目を紹介します。

English for Cross-Cultural Studies A・B (ECCS) は、英語で日本とカナダについて学ぶと同時に英語のレベルアップを目指す内容となっているため、Cross-Cultural College (CCC) に参加を目指す学生はもちろん、それ以外の留学プログラムへの参加を目指す学生にも最適です。

■English for Cross-Cultural Studies A 【英語】 申込B

日本とカナダの政治、経済、ビジネスについて学びます。

各2単位	1年	各15名	P.62の履修要件あり
Level 1 <b>NUC</b> 春学期	月曜3限		
Level 2 <b>NUC</b> 春学期	火曜3限		
Level 3 <b>NUC</b> 春学期	火曜4限		

■English for Cross-Cultural Studies B 【英語】 申込B

日本とカナダの文化、社会について学びます。

各2単位	1年	各15名	P.62の履修要件あり
Level 1 <b>NUC</b> 秋学期	火曜2限		
Level 2 <b>NUC</b> 秋学期	火曜3限		
Level 3 <b>NUC</b> 秋学期	火曜4限		

## 2 留学前の知識力アップ

●留学を位置つけたキャリア計画を立てよう!

留学前に自分のキャリアについて考え、貴重な留学先での経験をキャリアに上手く繋げるための計画を事前に立ててみましょう。

ここでは全学科目として開講されている科目を紹介します。

■留学とキャリア設計

留学を今後のキャリア設計に活かすための入門科目です。本学のプログラムに参加した卒業生・企業からのゲストスピーカーを迎え、国際社会で活躍するために必要な能力やキャリア形成について考える貴重な機会となるでしょう。

2単位	1年	なし	なし
<b>NUC</b> 春学期 金曜5限			

※総合コース514「留学とキャリア設計」を修得済の学生は履修不可

■Project-based Seminar in English (Study Abroad) 言セン

留学に関する様々な課題を確認し、留学先の国および日本の諸事情 (社会、文化等) について学びます。また留学に向けたロードマップを協働して作成することで、計画的に留学準備をすすめます。

2単位	1年	各20名	以下の英語要件あり
<b>NUC</b> 春学期、秋学期			

※言語教育研究センター開講科目の詳細は、「Language Programs 2017」を参照

●留学派遣先に関する知識を深めよう!

留学前に留学先の国・地域のことを学ぶことにより、さらに充実した留学生生活を過ごすことができるでしょう。

ここでは全学科目として開講されている科目を紹介します。

■北欧研究入門

社会福祉や環境問題など、現代社会が直面する諸問題で世界をリードするスカンジナビア三国とフィンランドについての概観、特徴的な文化を紹介し、北欧諸国への基礎知識を学びます。

2単位	1年	なし	なし
<b>NUC</b> 春学期 木曜5限			

■総合コース531「ヨーロッパを学ぶ」 共通

イギリス・フランス・ドイツなどの主要国だけでなく、ヨーロッパ各国および各国間の課題と現実を学び、ヨーロッパとは何かを理解することを目指します。またEUを形成する意味や日本にとってヨーロッパを学ぶ意義を考えます。

2単位	1年	150名	なし
<b>NUC</b> 秋学期			

62

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

63

世界市民へのステップアップ!



●国際関係・国際協力に関する知識を深めよう！

貧困、紛争、教育格差、環境問題など、地球規模で起こる問題解決に向かうために必要な基礎知識を養います。国際ボランティアプログラム（国連ユースボランティア／国際社会貢献活動）への参加を希望している学生は参加前後の学びを深めるために履修することを強くお勧めします。（※グローバルゼミBは上記プログラム修了者向けに開講する科目です。）

■世界市民論				
国際社会に横たわる課題とそれらの解決に貢献する事例を紹介し、実際に社会の中で活躍している関学OB/OGから経験談を提供します。4年間の学生生活を充実させることを目標に実際の計画立案を行います。				
2単位	1年	なし	なし	
NUC	春学期	水曜3限		
※総合コース513「さまざまな職業を通じた国際貢献」を修得済の学生は履修不可				

■国際環境論				
国際的な環境問題について、国際関係や経済発展との関連でとらえ、個人のライフスタイルの問題にまで踏み込んで、学生一人一人に自らの問題として、解決策の模索を促していくことを目的としています。				
2単位	2年	なし	なし	
NUC	春学期	木曜1限		

■国際平和構築論				
現代世界における紛争の多様性を踏まえ、またアフガニスタン等での事例を交えながら、様々な角度から平和構築についての多様な知見を得ることを目的としています。				
2単位	2年	なし	なし	
NUC	秋学期	木曜1限		

■プロジェクトマネジメントⅠ				
国際協力やビジネス界で必須のツールとなっているプロジェクト・サイクル・マネジメント手法を学習し、実際の事例を使って、プロジェクトの計画・立案を演習形式で学びます。				
2単位	1年	各24名	なし	
NUC	春学期集中	(8/28～31 9時から17時)		
NUC	秋学期集中	(2/19～22 9時から17時)		

■グローバルゼミA				
世界の現状、日本の現状について様々な報告書などから情報収集し、発表します。グローバル化する社会において求められる人材像、必要とされる知識・能力に関する理解を深めます。				
2単位	1年	各20名	なし	
NUC	春学期	水曜5限	秋学期	水曜5限、金曜5限
KSC	春学期	水曜5限	秋学期	木曜4限
※グローバルゼミⅠを修得済の学生は履修不可				

■Language and Communication / Culture and Society				
少人数のオールイングリッシュのクラスで、英語圏の文化や社会、そして英語によるコミュニケーションについての専門的なトピックを学びます。応用言語学など言語・心理に関するテーマや、異文化理解など社会・文化に関するテーマから、興味のあるものにチャレンジしてみよう!!				
2単位	1年	各12名	以下の英語要件あり	
NUC	NSC	KSC	春学期、秋学期	
※言語教育研究センター開講科目の詳細は、『Language Programs 2017』を参照				

■国際情報分析				
途上国を含めた世界情勢を理解するために、さまざまな情報を収集し、分析するメディア・リテラシー能力を育成します。				
2単位	1年	各24名	なし	
NUC	春学期	月曜1限	秋学期	火曜2限、金曜1限
KSC	春学期	木曜5限	秋学期	木曜5限

■教育開発論				
人間の生活にとって重要な「教育」。その世界の現状を、最先端の研究や実際の教育開発プロジェクトから学びます。				
2単位	2年	なし	なし	
NUC	秋学期集中	(2/13～2/16 9時から17時)		

■International Politics and Economy A				
毎年100か国近くの開発途上国から来日するJICA関西研究員に、自国の近現代史、政治、経済、文化や課題などを紹介してもらい、質疑応答・ディスカッションを通じて各国事情や異文化への理解を深めます。				
2単位	2年	なし	なし	
NUC	春学期集中	(土曜・初回は4/15)		

■プロジェクトマネジメントⅡ				
プロジェクト・サイクル・マネージメント手法を学習し、実際の事例を使って、プロジェクトの運営・モニタリング評価を演習形式で学びます。				
2単位	2年	各24名	先修科目あり	
NUC	秋学期集中	(2/19～22 9時から17時)		
※先修科目：プロジェクトマネジメントⅠ				

■グローバルゼミB				
海外での実践活動で得た知識や経験を改めて再分析・再検討するといったリフレクションを通して、自分の中で内在化させることをこの講義の第一義の目的としています。				
2単位	3年	なし	先修科目あり	
NUC	春学期集中	曜日・時限は初回授業にて調整（初回は4/22）		
KSC	秋学期集中	曜日・時限は初回授業にて調整（初回は9/16）		
※先修科目：「国連ユースボランティア実習」及び「国連ユースボランティア課題研究」または「国際社会貢献実習」及び「国際社会貢献課題研究」				
※グローバルゼミⅡを修得済の学生は履修不可				

■Project-based Seminar in English (Career English)				
将来希望する職種に関する調査や、その分野で活躍するプロフェッショナルへのインタビュー等、キャリア構築に関する課題に協働し取り組むことで、自らのキャリアプランを作成します。				
2単位	1年	各15名	以下の英語要件あり	
NUC	春学期、秋学期			
※言語教育研究センター開講科目の詳細は、『Language Programs 2017』を参照				

科目ごとの表の見方です。履修したい科目の詳細をチェック！

■科目名 【開講言語】			申込方法
単位数	履修基準年度	定員	履修要件
キャンパス、開講学期、曜日時限、履修条件、その他特記事項を記載しています。			

●外国人に日本語・日本文化を伝える力をつけよう！

国際教育・協力センターが提供する一部の留学プログラムには、日本文化紹介を含む現地ボランティアプログラムが含まれています。該当プログラムに興味がある方は、下記科目を履修し、留学前に日本についての知識を身に付けることをお勧めします。

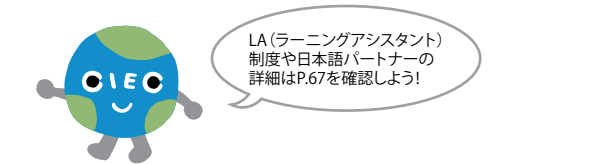
該当プログラム：英語研修カリフォルニア大学デビス、英語中期留学（マウント・アリソン大学、トロント大学、クイーンズ大学）および国際ボランティア等

■日本語教育基礎
申込A

講義形式で、日本語の特徴や外国語としての日本語教育の基礎的な概念・方法論を学びます。協定校から来る交換学生の日本語会話練習する「日本語パートナー」に興味がある人にもおすすめです。

2単位	1年	各40名	なし
NUC 春学期	月曜3限、火曜3限		
NUC 秋学期	火曜3限	KSC 秋学期	木曜4限

■日本語教育基礎演習				
「日本語教育基礎」で学んだことのステップアップとして、演習形式で教材分析やシラバスなど、具体的な事例を通して日本語教育の基礎的な概念や方法論の応用を目指します。				
2単位	1年	各20名	先修科目あり	
NUC	春学期	木曜3限、秋学期	木曜3限	
先修科目：日本語教育基礎				



3 帰国後も継続的に学ぼう

●英語で開講されている科目にチャレンジしよう。

履修にあたり、英語要件はありませんが、TOEIC®600点またはTOEFL®500点相当の英語力を有していることが望ましい授業となっています。

■Topics in Canadian Studies A				
テーマ：Canadian foreign policy and international order 担当者：トマス・キーティング アルバータ大学教授				
2単位	1年	なし		
NUC	秋学期	火曜3限		

■Topics in Canadian Studies C				
テーマ：Hot Topics in Aging Canada -- From Youth Opportunities to the Right to Die 担当者：ウィリアムス・ポール トロント大学教授				
2単位	1年	なし		
NUC	春学期	火曜3限		

■International Scholar's Topics A				
テーマ：Japanese Human Resource Management in a Comparative Perspective 担当者：イン・チュウ 南オーストラリア大学教授				
2単位	1年	なし		
NUC	春学期	月曜4限		

●Certificate Program(CP)に挑戦！

Cross-Cultural College (CCC) Certificate Program(CP)の選択必修科目として、下記の2科目を開講します。英語でグループディスカッションや発表などに取り組みながら多文化共生論、国際関係論を学びます。この2科目はCCC CP Key Courseという入門科目として位置づけられています。これらの科目を履修し、カナダの学生と協働して学ぶプログラムにも、ぜひ挑戦してください。CPについての詳細はP.25をご覧ください。

■CCC Introduction to Multicultural Studies				
多文化共生入門				
2単位	1年	春・秋各25名、秋集中100名	P.62英語要件あり	
NUC	春学期	金曜2限、秋学期	金曜2限、秋学期集中	(2月中旬の約1週間)
※日本語能力試験N1相当以上の日本語能力必須（春学期・秋学期開講分のみ）				

■CCC Introduction to International Relations				
国際関係入門				
2単位	1年	100名	P.62英語要件あり	
NUC	秋学期集中	(2月下旬の約1週間)		

●現代日本プログラム（総合日本学習科目）で交換学生と共に学ぼう！

本学に来日する交換学生を対象にしたプログラムです。授業はすべて英語で開講され、交換学生と机を並べ共に学びます。詳細はP.66をご覧ください。



# 5-2 世界に「日本」を伝えよう！

## — 日本語教育・日本理解のためのプログラム —

関西学院大学では、外国人に日本語を教えるための日本語教育に関する授業科目や、交換学生とともに英語で日本文化や社会、ビジネスなどについて英語で学ぶプログラムを提供しています。また、交換学生の日本語学習をサポートする「日本語パートナー」や「ラーニング・アシスタント」の制度もあり、学内で身近に留学生と交流する機会を持つことができます。

### 授業編

#### ■交換学生とキャンパスで共に学ぶ「現代日本プログラム (Contemporary Japan Program)」

世界中の協定校から本学へ留学中の交換学生と共に学ぶプログラムです。授業はすべて英語で開講され、日本の文化・ビジネス・社会・国際関係・言語の5つの領域から、興味・関心に応じて選択できます。学内で交換学生と机を並べ、海外の大学と同じ形式で講義に参加できるため、今後留学を目指す学生や、留学帰学後の学生に最適なプログラムです。授業の履修要件についてはP.62を確認してください。

現代日本プログラム 2017年度 開講科目 ★詳しい授業内容は各科目のシラバスを参照してください。

春 学 期			秋 学 期		
授業コード	科目名	教員名	授業コード	科目名	教員名
46206100	総合日本学習科目 (伝統芸能)	バツハ フェイス	46401000	総合日本学習科目 (伝統行事)	ウエスト ジェームス
46403000	総合日本学習科目 (比較文化論 B)	カーン ティモシー	46402000	総合日本学習科目 (比較文化論 A)	カーン ティモシー
46404000	総合日本学習科目 (現代日本と中国における映画と歴史記憶)	ツー ティモシー	46407000	総合日本学習科目 (美術 A)	ペイカー O. Y.
46408000	総合日本学習科目 (美術 B)	ペイカー O. Y.	46411000	総合日本学習科目 (日本のポップカルチャー)	ペイカー O. Y.
46410000	総合日本学習科目 (マンガ文化史)	ペイカー O. Y.	46412000	総合日本学習科目 (日本の食文化)	ツー ティモシー
46462000	総合日本学習科目 (日本企業におけるイノベーション)	鈴木 修	46414000	総合日本学習科目 (映画論 A)	ムニョス M.J.
46469000	総合日本学習科目 (日本のビジネス B)	ヘニングス M.	46460000	総合日本学習科目 (日本的ファイナンス入門)	油谷 博司
46502000	総合日本学習科目 (地理 B)	アーピング R.	46461000	総合日本学習科目 (日本市場におけるマーケティング・アプローチ)	アハマド ノーリア
46503000	総合日本学習科目 (現代日本の環境問題)	ツー ティモシー	46468000	総合日本学習科目 (日本のビジネス A)	ヘニングス M.
46505000	総合日本学習科目 (心理 B)	荻原 裕二	46501000	総合日本学習科目 (地理 A)	アーピング R.
46507000	総合日本学習科目 (歴史 B)	ヘアマンセン C.	46504000	総合日本学習科目 (心理 A)	荻原 裕二
46508000	総合日本学習科目 (宗教)	ヘアマンセン C.	46506000	総合日本学習科目 (歴史 A)	ヘアマンセン C.
46509000	総合日本学習科目 (法制度)	丸田 隆	46510000	総合日本学習科目 (社会)	キム ヴィクトリヤ
46511000	総合日本学習科目 (倫理)	ヘニングス M.	46560000	総合日本学習科目 (現代韓国研究 A)	李 恩子
46512000	総合日本学習科目 (現代日本社会における女性)	李 恩子	46562000	総合日本学習科目 (社会 : マイノリティ)	李 恩子
46561000	総合日本学習科目 (現代韓国研究 B)	李 恩子	46563000	総合日本学習科目 (政治経済)	北山 俊哉
46564000	総合日本学習科目 (外交)	竹内 俊隆	46566000	総合日本学習科目 (日中関係論)	ツー ティモシー
46565000	総合日本学習科目 (中国人移民)	ツー ティモシー	46567000	総合日本学習科目 (政治 A)	藤岡 由佳
46568000	総合日本学習科目 (政治 B)	藤岡 由佳	46570000	総合日本学習科目 (日中比較から見る中国文化と歴史)	方 紅
46600000	総合日本学習科目 (言語学 : 音声学・音韻論)	大高 博美	46601000	総合日本学習科目 (日本語言語学)	大高 博美
46602000	総合日本学習科目 (異文化コミュニケーション研究)	藤本 ドナ	46603000	総合日本学習科目 (日本における語用論と文化)	藤本 ドナ
46606000	総合日本学習科目 (言語と文化 B)	町田 奈々子	46605000	総合日本学習科目 (言語と文化 A)	町田 奈々子
46607000	総合日本学習科目 (日本の方言)	ヘファナン ケビン			
46661100	総合日本学習科目 (中国研究トピックス)	ラ・コクゼン			

#### ■日本語教育について学ぶ

日本語教育センターでは外国人に日本語を教えるための授業を開講しています。外国語として見た日本語とはどのようなものか、日本語を教えるとはどういうことか、という視点から日本語や日本語によるコミュニケーションについて考えることにより、受講者が日本語教育の基礎的な知識を得ることができます。科目概要、申込方法についてはP.65を確認してください。

#### ■L.A. (ラーニング・アシスタント)


L.A. (ラーニング・アシスタント) は、交換学生を対象とした日本語学習科目の授業補佐を担います。授業に参加し、ディベートやグループ活動などで授業担当者や交換学生のサポートを行います。業務報酬が支払われますが、単なるアルバイト業務ではなく、本学における教育活動の一環として位置付けられています。★募集時期・応募要件等は日本語教育センター (上ヶ原キャンパスG号館1階) まで問い合わせてください。

学生の声

木下 陽子 教育学部3年

私が大学1年生の時にインドネシアに行った際、現地の学生は、外国に行って困っていた私をいつも親切に助けてくれました。だからこそ、今度は私が少しでも留学生の役に立ち、サポートをしたいと考えました。さらには、私は教育学部で学んでおり、是非とも学部での学びを活かしたいという思いからL.A.に応募しました。L.A.の活動のなかで、留学生が楽しそうに授業での話し合いに参加してくれたことが、私がL.A.をしてよかった、と思える瞬間でした。ま

た、様々な国の留学生と話し合いを重ねていくなかで、お互いの国についての理解を深め合うことができたと同時に、私自身も日本についてもう一度考えるきっかけとなりました。授業を通して留学生と日本のことについて共に考え、学び合えたことが私にとって大きな経験となりました。



### 課外活動編

#### ■日本語パートナー


世界各国の協定校から本学に留学している交換学生の日本語能力の向上を手助けします。日本語会話の練習相手として、週1回程度学内でのセッションを行います。また、夏休み・冬休み期間に実施される日本語学習短期プログラムでは、短期プログラム受講者のために日本語授業の補助などを行います。英語運用能力は問わず、あくまで日本語で交換学生との交流を深めることを目的にしています。★募集時期・応募要件等は日本語教育センター (西宮上ヶ原キャンパスG号館1階) まで問い合わせてください。

学生の声

川畑 達寛 商学部4年


2016年度秋学期に交換学生の会話練習相手をつとめる日本語パートナーをしました。以前から留学生と関わるが多く、少しでも彼らの日本語学習の補助ができれば良いなと思い、初めて応募しました。私の韓国人のパートナーはとても日本語が上手で、様々な話題について話しました。その中でも特に日本と韓国についての話題が多く、お互いに相手の国に興味を持って、日本と韓国でここはどう違うのか、なぜ違うのかなど、話すことによって、日本とは違う文化を知るこ

とができてとても楽しかったです。時々、日本について聞かれた時に、自分があまり知らなかったことや、今まで考えたことがなかったこともあり、自分ももっと日本について知らないといけないなと思います。日本や韓国についての新たな発見もあって楽しかったですが、何より彼が日本で経験したことを楽しそうに話している姿を見ると、やっていてよかったと思いました。



Column ～図書館を利用する～

西宮上ヶ原キャンパス大学図書館3階の“Books on Japan”というコーナーには、日本経済、日本の歴史、古典芸能、さらに、アニメ・ファッションといったサブカルチャーなど、日本特有の文化や習慣について英語で書かれた本が集められています。このコーナーは留学生に日本文化を英語で知ってもらうことを目的としてできましたが、留学に行くみなさんも、留学先で日本を紹介するための資料として是非活用してください。



### 海外プログラム編

#### ■留学プログラム

カリフォルニア大学デビス校英語研修、英語中期留学マウント・アリソン大学、クイーンズ大学の参加者は、現地でボランティア活動を兼ねたプログラムに参加します。ボランティアプログラムは、留学先のクラスで学習し、修得した英語力を活かす良い機会となるだけでなく、現地の人々の生活により密着して触れ合うことで文化への理化学を深め、さらに日本文化を紹介する機会を得ることができます。

#### ■国際ボランティアプログラム

インドネシア、カンボジア、マレーシアの教育機関等で日本語教育の補助、日本文化に関するイベントの開催等を担います。具体的には、現地の日本語授業の中で派遣学生がネイティブとして日本語の発音練習をサポートしたり日本の歌やあそびなどを紹介するといった活動事例が挙げられます。(募集情報:P.50~ 参照)



5-3 外国語能力試験

1 英語

留学する場合、留学先が求める外国語能力の基準を満たす必要があります。外国語能力試験は、申込みからスコアの到着まで時間がかかります。締切日にスコアを取得できない学生が見受けられますので、留学を考えている場合は早めに受験し、常に有効期限を満たすスコアを保持できるように準備をしてください。

英語圏の大学では、TOEFL iBT®・TOEFL ITP®やIELTS (Academic Module) のスコアの提出が一般的です。TOEIC®や英検は、日本国内での就職活動等では広く用いられていますが、留学の際の外国語能力試験として認められていないケースが多いため注意してください。

	TOEFL iBT®	TOEFL ITP®	IELTS (Academic Module)	TOEIC®
概 要	米国をはじめ世界各国の大学等で英語能力の証明として利用されており、130を超える国々の大学・機関・団体等でTOEFL®スコアが受け付けられています。  TOEFL iBT® (internet-Based Test) は、インターネットを通して行われる英語力のテストで、英語圏の大学に留学する場合にそのスコアが必要になります。	団体受験用の非公式のTOEFL® (筆記テスト) で、過去のペーパー版TOEFL®テスト (TOEFL PBT®) で出題されたものを再利用しています。スコアは正式ではありません。	英国、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのほとんどの教育機関で受け入れられており、米国でも広がっています。Academic Module (大学や他の高等教育機関への出題のためのテスト) と General Training Module (一般的な生活・仕事や移住関係に関わる英語のテスト) の2種類があります。	英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。世界約120か国で実施され、世界各国の企業・学校・団体で様々な用途で活用されています。
スコア	0～120点	0～677点	1.0～9.0点	10～990点
試 験	年間30～40回実施	関学内で年間7回実施	関西圏では、大阪・京都・神戸で月1～2回実施	近畿2府4県で毎月実施
受験料	US\$230 (開催地や国によって異なる)	4,200円	25,380円	5,725円
Webサイト	http://www.ets.org/jp/toefl		http://www.eiken.or.jp/ielts/	http://www.toeic.or.jp/

◆学内で実施されるTOEFL ITP®テスト及び TOEIC® L&R IPテスト日程

実施日	場 所	主 催	対 象	受験料	申込み期間	受験手続方法	結果到達予定
3/21(火)	西宮上ヶ原キャンパス	関西学院 大学生協	全学部・研究科 在学生	4,200円 ※6/10(土) 学部生は無料	1/6 (金)～3/13 (月)	各キャンパス生協カウ ンターに受験料と共に 申込書を提出	4/7(金)
4/22(土)					3/1 (水)～4/14 (金)		5/11(木)
6/10(土)					4/17 (月)～6/2(金)		6/29(木)
8/1(火)					6/5 (月)～7/24 (月)		8/25(金)
9/2(土)					7/1 (土)～8/25 (金)		9/21(木)
10/28 (土)					9/1 (金)～10/20 (金)		11/16 (木)
11/11(土)					10/2 (月)～11/3 (金)		11/29(水)
12/16(土)					11/1 (水)～12/8 (金)		1/11(木)
3/20(火)					1/9 (火)～3/12 (月)		4/6(金)

TOEIC® L&R IPテスト

実施日	場 所	主 催	対 象	受験料	申込み期間	受験手続方法	結果到達予定
7/1 (土)	西宮上ヶ原キャンパス	エクステンション プログラム (教務機構 事務部)	全学部・研究科 在学生 (同じ月に2回受験する ことはできません)	4,300円	3/1 (水)～6/23 (金)	証明書発行機で申込書 を購入し、必要事項を記入 して教務機構事務部 カウンターに提出	7月中旬
7/2 (日)	大阪梅田キャンパス				7/3 (月)～12/8 (金)		12月下旬
12/16 (土)	西宮上ヶ原キャンパス						
12/17 (日)	大阪梅田キャンパス						

※日程等が変更される場合がありますので、必ず主催者発行の印刷物や掲示、ウェブサイト等で確認するようにしてください。

2 フランス語

	DELFDALF フランス国民教育省・フランス語資格試験	実用フランス語技能検定試験 (仏検)
概 要	1985年5月から行われているフランス国民教育省認定フランス語資格試験で、Commission nationale du DELF et du DALFの管理のもと世界160余ヶ国で実施されています。DELF (A1・A2・B1・B2)、DALF (C1・C2) の6つのレベルの試験があります。試験には、筆記試験 (聴解・読解・文書作成) と口頭表現試験があり、4つの能力が評価されます。合格するとディプロム (証書) が発行されます。DALF C1またはC2を取得すると、フランスの大学の学部に入學する際に義務付けられているフランス語能力評価試験が免除されます。	日本人学習者を対象として、文部科学省および在日フランス大使館文化部の後援を受けて実施されるフランス語の技能検定試験。学校で学ぶフランス語の学習成果の判定にもふさわしい客観性を備えた試験として、単位取得や編入学試験の資格認定の条件となるケースが年毎に増えています。5級・4級・3級・準2級・2級・準1級・1級とレベル別で試験を受けることができ、各レベルで単願/併願ができます。試験内容は、読む・書く・聞く・話す・文法知識で1次試験と2次試験 (準2級から) があります。
試 験	関西圏では、大阪・京都で春季と秋季に実施	関西圏では、大阪・京都・奈良で春季と秋季に実施
受験料	11,000円～15,000円 (受験するレベルによって異なる)	3,500円～17,000円 (受験するレベル、単願/併願によって異なる)
Webサイト	アンスティテュ・フランス関西西一大阪 http://delfdalf.jp/	公益財団法人フランス語教育振興協会 http://apefdapf.org/

5-4 TOEFL®、IELTS対策 (無料講座)

1 TOEFL®ポイント解説セミナー及び模擬試験

TOEFL iBT® (TOEFL® internet-Based Test) は米国をはじめ世界各国の大学等で英語能力の証明として利用されており、130を超える国々の大学・機関・団体等でTOEFL®スコアが受け付けられています。

多くの留学先大学の出願時にその掲示されたスコアが求められます。

「読む」「聞く」「話す」「書く」の4セクションで構成されており、英語をどれだけ「知っている」か、ではなく、「使える」かに焦点を当てた、より実生活に即したコミュニケーション能力を測定するテストです。また、全ての試験がコンピューター上で行われ、全体で約4-4.5時間を要します。

Reading	Listening	Speaking	Writing	Total
3～4パッケージ 各12-14問 60～80分	2-3会話 各5問 4-6講義 各6問 60～80分	Independent Tasks 2問 Integrated Tasks 4問 約20分	Independent Tasks 1問 20分 Integrated Tasks 1問 30分	4～4.5時間
スコア 0-30点	0-30点	0-30点	0-30点	0-120点

TOEFL iBT®は受験料が高額であり、練習で何度も受験することが難しいため、本番に近い環境で実施する過去問題を利用した無料の模擬試験を受けられる機会を作りました。模擬試験を受験し本番前にスコアをチェックして、目標設定をしていきましょう (試験結果は正式なスコアとしては使用不可)。

ポイント解説セミナーと模擬試験がセットになっており、事前学習をすることで、よりスコアアップを狙える講座となっています。

申込・問い合わせは、国際教育・協力センターで受け付けています。

●TOEFL®ポイント解説セミナー及び模擬試験実施スケジュール

	4月	5月	6月	8月	9月	10月	3月
募集期間	4月3日 (月)～7日 (金)	4月20日 (木)～26日 (水)	6月1日 (木)～7日 (水)	7月13日 (木)～19日 (水)	8月31日 (木)～9月6日 (水)	10月5日 (木)～11日 (水)	1月25日 (木)～31日 (水)
当選者発表	4月10日 (月)	4月28日 (金)	6月9日 (金)	7月21日 (金)	9月8日 (金)	10月13日 (金)	2月1日 (木)
ポイント解説セミナー	4月15日 (土)	5月6日 (土)	6月17日 (土)	7月31日 (月)	なし	10月21日 (土)	3月13日 (火)
模擬試験	4月29日 (土)	5月20日 (土)	6月24日 (土)	8月8日 (火)	9月12日 (火)	10月28日 (土)	なし

2 IELTS対策講座

International English Language Testing System (IELTS:アイエルツ) は、海外留学や研修のために英語力を証明する必要のある方およびイギリス、オーストラリア、カナダなどへの海外移住申請に使用されているテストです。イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのほぼ全ての高等教育機関で認められており、アメリカでもTOEFL®に代わる試験として入学審査の際に採用する教育機関が3,000を超え、世界中で受験者が増え続けています。試験は、Academic ModuleとGeneral Training Moduleの2種類があり、いずれも、Listening・Reading・Writing・Speakingの4つのテストで構成されています。テスト結果は、1.0から9.0のバンドスコアで示されます。留学プログラムに参加する場合、Academic Moduleの受験が必要です。

IELTSは、受験料が高額で練習で何度も受験することが難しいため、夏季・春季休暇期間中に効果的なスコアアップを目指すための対策講座を実施します。申込・問い合わせは、国際教育・協力センターで受け付けています。

●8月 IELTS夏季集中講座  
基礎クラス (目標スコア6.0まで)

募集期間	6月30日 (金)～7月12日 (水)
当選者発表	7月14日 (金)
対策講座	8月2日 (水) 3日 (木) 4日 (金) 9:30～12:30
本試験®	8月下旬～9月上旬

●9月 IELTS夏季集中講座  
アドバンス (目標スコア6.5以上)

募集期間	7月14日 (金)～24日 (月)
当選者発表	7月27日 (木)
対策講座	9月13日 (水) 14日 (木) 15日 (金) 9:30～12:30
本試験®	9月下旬～10月上旬

●10月IELTS本試験

募集期間	7月～9月 (決定次第、教学Webやメールマガジンなどでお知らせします)
本試験	10月28日 (土) 学内

※本試験の受験申込 (申込締切は通常本試験の約6週間前) は、別途各自で日程を確認して行ってください (有料)。

●2月 IELTS春季集中講座  
基礎クラス (目標スコア6.0まで)

募集期間	1月9日 (火)～15日 (月)
当選者発表	1月18日 (木)
対策講座	2月13日 (火) 14日 (水) 15日 (木) 9:30～12:30
本試験®	2月中旬～3月上旬

●3月 IELTS春季集中講座  
アドバンス (目標スコア6.5以上)

募集期間	1月18日 (木)～24日 (水)
当選者発表	1月26日 (金)
対策講座	3月14日 (水) 15日 (木) 16日 (金) 9:30～12:30
本試験®	3月中旬～下旬

①～②共通申込: 募集期間中に国際教育・協力センター (CIEC) のウェブサイトから、オンラインで申込をしてください。





5-5 奨学金

校内の留学奨学金制度は以下のとおりです。その他学外の留学奨学金制度については、国際教育・協力センター（CIEC）のウェブサイト参照してください。

全学部対象

全学部生を対象としている奨学金は下表のとおりです。内容は今後、変更になる場合があります。

●選考型

各プログラムへの参加が決定した後、希望者は以下の奨学金に申請することができます。詳細については、派遣留学推薦が決定した後、オリエンテーションや掲示等で案内します。

プログラム名	奨学金（選考型）	取扱窓口
交換留学	◆佐伯海外留学支援奨学金（2セメスター：100万円、1セメスター：50万円）	国際教育・協力センター
	◆交換留学奨学金（2セメスター：30万円、1セメスター：15万円）	
	◆日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）奨学金（月額6～10万円（派遣国・地域による）、上限12ヶ月）	
	◆その他、一部協定大学からの補助・奨学金	
認定留学	◆認定留学助成金（留学する大学に納入する学費の一部又は全額とし、関学に納入する授業料の半額を限度とする）	
ダブルディグリー留学	◆ダブルディグリー留学奨学金（月額10万円、ただし留学先大学と本学の学費が相殺される場合は一人月額3万円とする（大学院は月額7万円））	

※その他、日本学生支援機構（JASSO）第二種奨学金など貸与奨学金にも申請が可能です。詳細は学生活動支援機構（神戸三田キャンパスの学生は所属学部事務室）までお問合せください。

●参加者全員支給型

以下のプログラムに参加が決定し、所定の手続を行えば奨学金が支給されます。詳細については、プログラム提供部署に確認してください。

プログラム名	奨学金（全員支給型）	取扱窓口
夏季・春季外国語研修 CCC・海外フィールドワーク等 海外の協定大学へ派遣される短期プログラム （学部主催プログラムを含む）	◆短期留学奨学金 派遣先により異なる（アジア3万円、アジア以外5万円）	国際教育・協力センター またはプログラム提供部署
中期留学（英語・フランス語） 中期海外インターンシップ	◆中期留学奨学金（20万円）	
国連コースボランティア	◆費用（渡航費、滞在費、保険等）は国連ボランティア計画（UNV）の規定により支給される	国際教育・協力センター
国際社会貢献活動	◆国際社会貢献活動奨学金（30万円）、2017年度派遣は旅費（往復航空運賃）一部補助あり	

国際学部生対象

国際学部生のみを対象とした返還義務のない支給型の奨学金です。在学中に1回のみ受給可能です。国際教育・協力センターが募集する奨学金と国際学部留学奨励金・奨学金は1回の留学において重複受給できません（ただし、認定留学助成金や一部の学外奨学金との重複受給は可能です）。

プログラム名	国際学部留学奨励金（全員支給型）	留学奨学金（選考型）	取扱窓口
外国語研修	15万円		国際学部事務室
中期留学（英語・フランス語） 中期海外インターンシップ 国際学部生対象中期留学 （英語・中国語・朝鮮語） 国際ボランティア	40万円		
国際学部生対象中期プラス	60万円		
交換留学または認定留学 （2セメスター）	60万円	40万円	
交換留学または認定留学 （1セメスター）	30万円	20万円	

人間福祉学部社会起業学科生対象

人間福祉学部社会起業学科生のみを対象とした返還義務のない支給型の奨学金です。ただし、支給にあたっては一定の条件があります。

プログラム名	奨学金（金額）	取扱窓口
社会起業英語中期留学	人間福祉学部海外語学研修奨学金（20万円）	人間福祉学部事務室

海外大学院進学者対象

以下のいずれかのプログラムを修了し、本学学部または本学大学院から引き続き海外の大学院へ入学する方が対象となります。※2016年度入学生までが対象となります。

対象プログラム名	奨学金（金額）	取扱窓口
①実践型「世界市民」育成プログラム（グローバルリーダー/エキスパートコース）	関西学院大学グローバルリーダー育成 「海外大学院派遣奨学金」 （最大年額200万円）	国際教育・協力センター
②Cross-Cultural College(Certificate Program)/複数分野専攻制（MS）特別プログラム）		

※奨学金情報については、2017年2月現在の情報のため、今後変更になる場合があります。

5-6 トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム

トビタテ!留学JAPANとは？

このプログラムは、意欲と能力ある全ての日本の若者が、海外留学に自ら一歩を踏み出す気運を醸成することを目的として設置された文部科学省と民間企業との官民協働の留学促進プロジェクトです。民間企業からの寄付により、以下の4つのコースを対象として、あなたが計画した留学に奨学金が提供されます。なお、いずれのコースも海外大学等での学習だけでなく、インターンシップやボランティア等の実践活動を伴う留学計画である必要があります。

理系、複合・融合系人材コース（募集：220人）

新興国コース（募集：80人）

世界トップレベル大学等コース（募集：100人）

多様性人材コース（募集：100人）

支援内容

① 奨学金：月額6万円、12万円、16万円の何れかを支給 ※留学地域、世帯収入によって決定する  
② 留学準備金：留学地域別に次の何れかを定額支給 ・アジア地域：15万円 ・アジア以外の地域：25万円  
③ 授業料：支援対象となる留学期間別に次の何れかを定額支給※ ・支援期間が1年未満：30万円 ・支援期間が1年以上：60万円  
※大学・大学院を留学先機関とし、留学計画に沿った専門分野を学ぶことを目的とした授業の授業料が支援対象となる（語学のためのコース授業料は支援対象外）  
※交換留学制度等、留学先機関において授業料不徴収、全額免除となっている場合は支給対象外。  
※第7期募集時情報のため第8期以降については変更の可能性あり。

派遣留学生の主な要件

① 本制度で実施する事前・事後研修及び他の採択者ネットワークの諸活動に参加できる学生  
② 日本の在籍大学等が派遣を許可し、留学先機関が受入れを許可し、必要な査証を確実に取得し得る学生  
③ 留学終了後、日本の在籍大学等で学業を継続又は学位を取得する学生  
④ 平成29年4月1日現在の年齢が30歳以下である学生  
⑤ インターンシップ等での報酬や他団体等から留学のための奨学金を受ける場合は、その平均月額が、本制度による奨学金の支給月額を超えない学生  
※詳細は下記ウェブサイトを参照してください。  
○トビタテ：https://tobitate.jasso.go.jp/document/  
○KG：http://www.kwansei.ac.jp/c\_ciec/c\_ciec\_011283.html

学内選考

第8期（予定）  
●出願期間：9月25日（月）～27日（水）16：50  
●対象留学期間：2018年4月1日（日）～10月31日（水）に開始する留学計画  
※学内選考後、トビタテ!留学JAPAN事務局による書類選考、二次選考があります。

本学の合格実績

コース		第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	合計
理系、複合・融合系人材コース	採択数	0	0	0	0	0	0	0
	応募数	0	0	0	0	0	0	0
新興国コース	採択数	0	3	2	1	5	4	15
	応募数	3	3	2	2	9	7	26
世界トップレベル大学等コース	採択数	0	0	0	0	0	0	0
	応募数	3	3	1	0	0	2	9
多様性人材コース	採択数	0	1	3	1	2	1	8
	応募数	4	4	5	6	7	5	31
採択数 計		0	4	5	2	7	5	18
応募数 計		10	10	8	8	16	14	52


学生の声

長田 壮哉

商学部4年（採択時）  
参加コース：新興国コース  
派遣先：シンガポール国立大学（交換留学）

●留学の目的  
2050年には世界のGDPの半分を占めるにまで成長すると期待されているアジア。その中心であるシンガポールは2016年のビジネス環境ランキングでは世界1位、シンガポール国立大学（NUS）は世界大学ランキングでアジア1位です。したがって私の留学先はビジネスとアカデミックの双方においてアジア最高の環境であると言えます。そこへ世界中から集まって来る人達の中で自分がどんな存在なのかを確かめるために、卒業を1年延期して留学しました。具体的には、アジアの経済発展を過去から未来にかけて学問的に分析すると同時に、インターンシップを通して実際のビジネスとの融合を図っています。  
●トビタテ奨学金に応募してよかったこと  
日本から様々な個性を持った学生が一堂に集まり、世界中へ羽ばたいていくトビタテ生コミュニティに参加できたことです。学生の時は「環境」選びが重要です。どんな人と交流するかは良くも悪くも人生に大きな影響を与えます。普通に行っていると、どうしても関学や地元のコミュニティに偏ってしまいがちですが、

トビタテ生コミュニティでは普段会えないような人達と切磋琢磨できるのが最大の魅力です。応募のための計画作りに始まり、多様なトビタテ生のみならず支援企業の方々と交流はより自身の留学計画や夢をブラッシュアップしてくれます。他にも給付型留学奨学金はありますが、こんな魅力を兼ね備えているのはトビタテだけです。  
●後輩学生へメッセージ  
学生の内は借金をしてでも海外経験を積むべきです。そのための費用は未来の自分への「投資」であり、決して「消費」ではありません。場所や手段は何でもよく、できるだけ早い段階で海外へ飛び込み、「己の無力さ」「世界の広さ」「外から見た日本」を知ること、その費用は短期的にはマイナスでも、長期的には必ずプラスとなります。私達学生にはお金はありませんが、時間と体力、そして「可能性」があります。かつては金銭的理由で貴重な「可能性」を捨てざるを得なかった人が多かったですが、今ではトビタテがあなたに「投資」してくれます。最高の環境が整ってしまったこの時代に、まだ海外に行けない理由はないはずです。





## 2016年度派遣実績

【各学部・センター主催プログラム】

プログラム		派遣時期	派遣先	派遣国・地域	神	文	社	法	経	商	理	総	人	教	国	院生	合計
文学部	ドイツ語中期留学	春学期	レーゲンスブルク大学	ドイツ	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
社会学部	比較社会演習A	夏季	高雄第一科技大学	台湾	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
法学部	法学・政治学グローバル演習C	10月	ジャワハルラール・ネルー大学	インド	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	法学・政治学グローバル演習C	春季	中国人民大学法学院	中国	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	法学・政治学グローバル演習D	夏季	バヤップ大学	タイ	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
経済学部	ベトナムインターンシップ	春季	ホーチミン	ベトナム	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	13
	ダブルディグリー留学	秋学期・春学期	リール第1大学	フランス	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
商学部	ビジネスに活かせる海外短期研修プログラム	夏季	ビサヤ大学	フィリピン	0	1	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	9
		夏季	ダブリン・シティ大学	アイルランド	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		夏季	サンディエゴ州立大学	アメリカ	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
		夏季	カンタベリー大学	ニュージーランド	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		春季	サンディエゴ州立大学	アメリカ	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
		春季	西オーストラリア大学	オーストラリア	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
		春季	ビサヤ大学	フィリピン	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
理工学部	イントロダクション・トウ・サイエントフィック・ダイビング	夏季	ディボネゴロ大学	インドネシア	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
	English for Science and Technology	夏季	カリフォルニア大学デビス校	アメリカ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	フィールドトリップ&スタディ	春季	国立台湾師範大学	台湾	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	11
	臨海実験	春季	ウダヤナ大学	インドネシア	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6
	English for Science and Technology	春季	カリフォルニア大学デビス校	アメリカ	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
総合政策学部	英語研修&フィールドワーク	春季	ソノマ州立大学	アメリカ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
総合政策学部・理工学部	グローバル人材・企業体感プログラム in シリコンバレー	夏季	シリコンバレー	アメリカ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
人間福祉学部	社会起業英語中期留学	春学期	クイーンズ大学	カナダ	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	9
	社会起業インターンシップ	夏季	ノーザンブトン大学	イギリス	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	社会起業フィールドワーク	春季	アサンブション大学	タイ	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	16
教育学部	US*アシスタントティーチャー*ボランティア	春季	ロサンゼルス郊外の公立小学校	アメリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	13
国際学部	英語中期留学HWI（7ヶ月）	秋学期	ハワイ大学マノア校	アメリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
	中国語中期留学	秋学期	国立台湾師範大学	台湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	朝鮮語中期留学	秋学期	延世大学	韓国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	ASEAN PROJECT B	夏季	バジャジャラン大学、マラヤ大学、アサンブション大学、ベトナム商業大学	インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7
言語教育研究センター	フランス語海外研修	夏季	フランシュ・コンテ大学	フランス	0	12	0	0	3	1	0	0	0	0	2	0	18
	ドイツ語海外研修	夏季	IHKデュッセルドルフ校	ドイツ	0	8	2	1	2	2	0	0	0	0	0	0	15
	ドイツ語海外研修+フィールドワーク	夏季	IHKデュッセルドルフ校	ドイツ	0	4	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	6
経営戦略研究科	企業経営戦略特論H～ノースウェスタン大学マーケティング集中講義～	夏季	ノースウェスタン大学	アメリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
言語コミュニケーション文化研究科	ダブルディグリー留学	秋学期・春学期	スターリング大学	イギリス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
各学部・センター主催プログラム 総計					0	36	12	27	20	24	26	2	28	13	17	7	212



# 安全と危機管理・健康管理

## ～安全な留学と海外生活を送るために～

関西学院大学では、海外留学プログラムに参加する学生が年々増加しています。これに伴い、海外で犯罪やトラブルに巻き込まれるケースが少なからず発生しています。その中には、不注意によって起こったもの、または未然に防ぐことができたものも含まれています。有意義な海外生活を送るためにも、留学を計画する際は「安全は全てに優先する」との意識をもって準備を進めてください。留学の目的を忘れることなく、自らを律しつつ、充実した留学生活を送ってください。CIECは皆さんを応援しています。

### ① 事件・事故・トラブルの種類

留学先では、多種多様の事件・事故・トラブルが発生しています。留学先の国・地域は、日本と比べられないほど危険な場所もあります。海外留学中の様々なリスクについての理解を深めるとともに、予防策を立てるようにしてください。以下は過去に関西学院大学が留学先で実際に遭遇した事件・事故・トラブルです。

- 【事件・事故】置き引き、スリ、ひったくり、強盗、詐欺、スキミング（キャッシュカード）、交通事故
- 【ト ラ ブ ル】パスポート紛失、フライトキャンセル（悪天候）、滞在先備品破損、携行品破損・紛失、水没事故、喧嘩、いやがらせ
- 【災害・人災】自然災害、政変（暴動）
- 【病 気】歯痛、頭痛、発熱、風邪、腹痛、胃痛、感染症、骨折、メンタルヘルス不調

### ② 安全・危機管理対策

安全・危機管理面で万全を期すためには、多くの時間を要するため、早期に、また、計画的に渡航準備を進めていくことを心掛けてください。以下の各項目を確認のうえ、慎重に留学準備を進めてください。

#### 渡航前

- ☐健康診断を受診する
- ☐病気を治療する（歯科治療を含む）
- ☐予防接種を受ける
  - 厚生労働省検疫所（FORTH）ホームページを確認する
- ☐パスポート（ビザ）を取得する
- ☐危機管理研修に参加する
- ☐渡航先安全情報を収集する
  - 外務省ホームページ
  - 外務省海外安全ホームページ
  - 外務省海外安全虎の巻
  - 外務省海外旅行のテロ・誘拐対策 など
- ☐在留届／たびレジを登録する
- ☐海外旅行保険に加入する
- ☐緊急連絡先を作成する（現地大学の連絡先等）
- ☐危機管理サービスに加入する（必須）
- ☐渡航先の政治・社会・文化・宗教などを理解する

#### 渡航中

- ☐安否（所在）を明らかにする
- ☐心身の健康を管理する
- ☐所持品／貴重品を管理する
- ☐渡航先安全情報を継続的に収集する
- ☐緊急連絡先を常時携帯する
- ☐自動車／バイクは運転しない（厳禁）
- ☐単独行動を避ける
- ☐夜間や危険な地域を出歩くことは控える
- ☐その他リスクを伴う行動を自粛する
- ☐薬物（ドラッグ）に手を出さない

#### 渡航後

- ☐健康／体調を管理する（感染症等罹患の有無と経過観察）
- ☐大学に帰国報告する

### ③ 健康管理

各プログラムへの参加は、心身ともに健康状態が良好で、自ら責任をもって健康を管理できることが前提です。留学を検討する際、以下の項目について、確認しておいてください。

#### 渡航前

- ☐毎年4月に実施される大学の定期健康診断を受けてください（無料）。異常があれば、医療機関受診などの対応をしてください。定期健康診断を未受診の場合は、外部の医療機関で受け（有料）、結果を保健館に提出してください。（保健館HP「重要なお知らせ」[http://www.kwansei.ac.jp/f\\_health/](http://www.kwansei.ac.jp/f_health/)）
- ☐定期健康診断では、すべての異常を見つけることはできません。治療中の病気だけでなく、心や身体の健康面で心配なことがあれば、主治医等に留学が可能であることを確認し、指導を受けてください。なお、一般に海外旅行保険では、持病の治療や歯科治療はカバーされません。
- ☐参加決定後、「健康状態等申告書」を提出してください。
- ☐留学先によって必要な予防接種は、早めに受けてください（時間がかかります）。  
厚生労働省検疫所（FORTH）のHPが参考になります。（<http://www.forth.go.jp/useful/vaccination.html>）
- ☐留学に備えて注意すべきことについて、保健館HPも参照してください。（[http://www.kwansei.ac.jp/f\\_health/f\\_health\\_003737.html](http://www.kwansei.ac.jp/f_health/f_health_003737.html)）

#### 渡航中

- ☐治療に必要な医薬品や主治医の英文紹介状の持参、留学先での受診など、自らの責任で健康管理をおこなってください。
- ☐健康状態が悪化した場合は、すみやかに現地大学及び関学に報告し、その指導に沿うようにしてください。

### ④ 異文化理解と適応

異文化の中では、たくさんの発見があります。自分とは異なるものを尊重すること、自分だけの価値観（ものさし）で判断するのではなく広く大きな視点を持つことで新しい世界が広がります。一方、異文化にうまく適応できずに留学生活に苦しむ学生も少なからずいます。カルチャー・ショックを受けることは自然なことですので、焦らず、ゆっくり新しい文化に適応するよう努めてください。

### ⑤ 生活環境における問題

異国での生活は、貴重な留学経験の一部です。ホストファミリーやルームメイトとのコミュニケーションは、時には楽しく、時には難しいものです。生活をするなかで問題が生じた時は、自分一人で思い悩まないで、積極的に対話するようにしてください。どうしても自分で問題を解決できない時は、留学先大学の担当者等と相談するなどして、問題を放置することのないようにしてください。

#### 【ホームステイ】

ホームステイ先では「お客様」ではなく、家族の一員として生活することになりますので、その家のルールに従って生活する必要があります。例えば、水不足の地域では「シャワーは5分以内」という決まりがあります。また、食べ物の好みが違うかもしれません。いつでも、基本的なマナーとして、感謝の気持ちを言葉で伝えることを忘れないようにしましょう。

#### 【寮】

寮では学生が共同生活し、身の周りの世話は自らするのが基本です。気心の知れた友人関係を築くことができますが、性格や生活リズムの不一致等でルームメイトとうまくいかないケースも見られます。また、ホームステイと比べた場合、コミュニケーションをとる機会が少なくなりがちです。自ら積極的に行動しましょう。

### ⑥ 海外旅行傷害保険の加入（義務）

プログラムに参加する学生は、本学が指定する海外旅行傷害保険（一部のプログラムを除く）及び旅行事故対策費用保険※（全プログラム参加者対象）に加入します。留学先の大学によっては、これら保険に加入していても現地での健康保険や医療保険への加入を義務付けられることがあります。

※旅行事故対策費用保険とは：国際教育・協力プログラム参加者が、海外に滞在中に事故・病気等になり、事故対応費用や救済者費用の支出を余儀なくされた場合に補償する保険です。本学で一括加入手続きを行いますので、プログラム参加者が個人で加入手続きを行う必要はありません。

海外旅行傷害保険（例）	
〈補償内容〉	〈保険金額〉
傷害死亡	3,000万円
傷害後遺障害	3,000万円
治療・救済費用	3,000万円
個人賠償責任	1億円
携行品損害	10万円
航空機寄託手荷物遅延	10万円
航空機遅延	2万円
※補償内容は渡航期間等によって異なります。	

### ⑦ 危機管理サービスの加入（義務）

留学プログラムに参加する全ての学生に対し、本学が指定する危機管理サービスの加入が義務付けられています（一部のプログラムを除く）。危機管理サービス加入は、昨今の世界情勢を踏まえ、また、予期せぬ事態に備え、セーフティネットを重層化することを目的としています。事件・事故・トラブル発生の際には、本学と危機管理会社が緊密に連携・情報共有しながら、対応にあたります。また、急病の場合に医療機関受診や保険請求に関するアドバイスを受けることが可能です。海外での生活をサポートするために、24時間365日対応の緊急連絡先も設置しています。

### ⑧ 関西学院大学の危機管理の取り組み

本学では、留学プログラム実施にあたり、安全を最優先しています。学生を安全に海外に派遣するための主な危機管理の取り組みは以下のとおりです。

- ・留学参加者に対する危機管理研修の実施
- ・日常の安全情報収集と提供
- ・世界情勢を踏まえた留学プログラムの実施・中止・延期・継続・途中帰国の判断
- ・日本大使館等在外公館との緊密な連絡体制の構築
- ・危機管理会社を含む専門機関との連携
- ・緊急対策本部の設置（危機発生時に学長室のもとに設置）





# 学内でできる国際交流

関西学院大学では、留学プログラムだけでなく、学内でできる国際交流のイベントも数多くあります。留学前の練習として、また留学後に学んだことを活かして、学内の国際交流に積極的に参加してみてください。

## 日本語パートナー

世界各国の協定校から来る交換学生の日本語会話の練習相手として、日本語能力の向上を手助けしたり、短期プログラムの日本語授業の補助をしたりすることが日本語パートナーの役割です。日本にいながら異文化理解・多文化共生について学べる機会です。募集等に関する詳しい内容は、日本語教育センター（G号館1階）に問い合わせてください。

## L.A. (ラーニング・アシスタント)

日本語教育センターのL.A. (ラーニング・アシスタント) の役割は、留学生対象の授業に参加しディベートやグループ活動など、授業担当者や留学生のサポートをすることです。業務報酬が支払われますが単なるアルバイト業務ではなく、関学における教育活動の一環として位置づけられています。詳しくは日本語教育センターに問い合わせてください。

## G.S.Network

国際教育・協力センター公認の学生ピアサポート団体です。海外協定大学からの交換学生の来日時サポートや、留学生との交流を促すための様々な交流イベントの企画・運営をおこなっています。



## 留学生WEEK

留学生と一般学生の交流を深める目的で、留学生WEEKを毎年6月に開催しています。期間中は、日本の伝統文化体験や留学生によるCool Japanトークショー、日本語スピーチ発表会など、様々なイベントを企画しています。留学生との交流はもちろん、外国の文化や習慣、海外から見た日本の印象を学ぶ機会になりますので、是非参加してください。

## コーヒーアワー

海外から本学に着任している教授・講師・研究員、本学で学んでいる留学生を迎えて、お茶を飲みながら自由に話をして国際交流をするイベントです。世界各国の方々との出会い、お互いの理解を深めて楽しいひと時を過ごすことができます。関学生は誰でも無料で参加することができるので、是非参加してください。



## カナダ研究セミナー

本学では、1990年から毎年「カナダ研究セミナー」を開催しており、第27回目となった2016年度は「Immigrants in Canada: Lessons for Japan」をテーマに実施しました。英語力を磨くだけでなく、世界の多様な文化を深く理解する貴重な機会です。

## インテンシブ・プログラム

本学言語教育研究センターが提供する少人数制の言語学習プログラムです。英語インテンシブ・プログラムでは、TOEFL®スコアに応じたレベル別クラスで留学前の準備学習、帰国後の継続学習に取り組むことが可能です。また、副専攻プログラム「英語コミュニケーション文化」も言語科目の体系履修のためには最適です。(問い合わせ先: 教務機構事務部(言語教育研究センター担当))

## LANGUAGE EXCHANGE

留学生が講師となり言語を教える交流会です。言語は英語をはじめ、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語など様々です。外国語を学ぶだけでなく、友達づくりや、留学生と交流することができます。語学のレベルは問いません。西宮上ヶ原キャンパスG号館グローバルラウンジのGSカウンターで不定期実施中です。

各イベントの詳細については、随時、掲示板、教学Webサービス、メルマガおよび国際教育・協力センターウェブサイトなどでご案内します。



# FAQ

## ● 留学について

Q1

A1

とりあえず留学に行きたいと思っていますが、どのプログラムがいいですか？

まずは自分自身で、どのような目的で留学をしたいのかをはっきりとさせましょう。外国語能力を重点的に勉強したいのであれば、中期留学や外国語研修をお勧めします。交換留学では、現地の言葉または英語での授業を現地の学生と同じように履修します。外国語能力を伸ばした後に、国連ユースボランティア等にチャレンジする人もいます。自分の目的に沿った留学プランを立てましょう。

Q2

A2

留学に関する情報収集はどのように行えばいいですか？

この冊子を熟読した上で、興味のあるプログラムの説明会や留学フェアなどの留学イベントに参加してください。また、過去に参加した学生から直接経験談を聞くことができる報告会にも積極的に参加してください。留学先の大学についての情報は、大学のウェブサイトを確認すると同時に西宮上ヶ原キャンパスにあるG号館2階のフジタ・グローバルラウンジで海外協定校の資料を閲覧することができます。また、国際教育・協力センター事務室内及びウェブサイトで現在留学中もしくは過去に留学した先輩たちから送られた留学報告書を見ることができます。その他、CIECのウェブサイトやメールマガジン、Facebookからも、留学に関する様々な情報を配信しています。詳しくは、P.8で確認してください。

Q3

A3

留学についての相談はどこでできますか？

西宮上ヶ原キャンパス、神戸三田キャンパスにある国際教育・協力センターの留学アドバイザーやスタッフが相談に応じます。ただし、単位認定や履修に関することは所属学部によって異なる場合がありますので、各所属学部事務室への確認が必要です。特に、国際学部は外国語研修や中期留学等のプログラムについて履修科目、成績評価、奨学金等の制度が他の学部と異なりますので、ご注意ください。

Q4

A4

複数のプログラムに参加することはできますか？

原則可能です。ただし、プログラムによっては、参加できない場合がありますので、必ず事前に国際教育・協力センターおよび学部事務室に問い合わせをしてください。これまでも英語中期留学と交換留学の両方に参加した学生や、国連セミナーとインドネシア交流セミナー、そして国連ユースボランティアの3つのプログラムに参加した学生等が多数います。また、中期留学や交換留学等で得た学びをアウトプットする場として、Cross-Cultural Collegeへの参加もお勧めです。就職して社会人になってしまうと、長期の留学を経験することはなかなか難しいことです。貴重な大学生活を有意義に過ごし、世界的な視野を持つ人間として大きく成長できるように留学計画・履修計画をしっかり立て、国際教育・協力センターのプログラムを積極的に活用してください。

Q5

A5

交換留学と認定留学との違いはなんですか？

交換留学は休学することなく海外協定校に1学期または1年間の期間で留学できる制度です。本学へ納入した授業料が留学先大学の授業料に充てられることになり、本学と信頼関係のある協定校で比較的経済的に留学することができます。認定留学も休学することなく、協定大学を含む外国の大学に留学ができる制度です。学費については関学と留学先と二重に支払うこととなりますが、認定留学助成金の制度があります。交換留学では留学ができない大学で勉強できることがメリットです。いずれの場合も、留学先で取得した単位について帰国後に本学に申請し、審査の結果認められれば本学の単位としての認定を受けることができます。

## ● 留学について

Q6

A6

3年生の秋学期から留学に参加した場合、4年で卒業できますか？

原則として、4年で卒業が可能です。ただし、必修科目であるゼミなどの履修において特別措置が必要な場合もありますので、必ず所属学部事務室に確認をしてください。

Q7

A7

教職と留学を両立したいのですが、可能ですか？

両立は可能です。ただし、教職課程スケジュール上、留学のタイミングによっては4年間で卒業が難しい場合もありますので、教職教育研究センターで個別に相談してください。

Q8

A8

交換留学中の住居はどのような形式になりますか？

各留学先大学の居住環境によりますが、大半の学生は大学寮に滞在しています。その他、ホームステイやアパートメントを借りる学生もいます。なお、住居手配の保証がない大学もあり、その場合は各自で手配することになります。

## ● 英語力について

Q9

A9

どうやったらTOEFL®やIELTSの点数が伸ばせますか？

個人それぞれに適した方法がありますが、外国語能力試験のスコアを伸ばすために、テストの構成について理解し、問題集を解く、単語を覚えるなどの対策が必要です。その他の英語スキルについても、毎日英語に触れる、言語教育研究センターが実施する英語プログラムを履修するなど、個々の努力が欠かせません。国際教育・協力センターでは、TOEFL iBT®の模擬解説と模擬試験をセットにした講座およびIELTSの事前対策講座を無料で提供しています。プロの講師から効率的なスコアアップのコツを学べる絶好の機会ですので積極的に活用しましょう。詳しくは、P.69で確認してください。